

# 災害リスク情報クリアリングハウス

## システム設計書

Version 1.2

2015/01/15

独立行政法人 防災科学技術研究所

変更履歴

Version	日付	変更内容
1.0	2013/8/23	初版作成
1.1	2014/1/17	メタデータ初期値設定機能の追加およびメタデータ登録・編集画面の高度化改修、拡張検索機能の検索パラメータ追加による改訂
1.1.1	2014/6/13	拡張検索機能の検索パラメータ追加、XYZ タイルおよび TMS への対応、公開設定と useLimitation 連動機能追加に伴う改訂
1.2	2015/1/15	XYZ タイルおよび TMS に関するメタデータ仕様の変更およびアクセス制限管理機能の追加による改訂

# 目次

1.	はじめに	6
2.	動作環境	7
3.	機能	8
3.1.	機能一覧	8
3.2.	CSW 機能	9
3.3.	拡張検索機能	17
3.4.	新着データ取得機能	20
3.5.	データランキング取得機能	21
3.6.	おすすめデータ取得機能	22
3.7.	関連データ取得機能	23
3.8.	同時参照データ取得機能	24
3.9.	マイデータ取得機能	25
3.10.	メタデータ取得機能	26
3.11.	キーワードランキング取得機能	27
3.12.	関連度計算機能	28
3.13.	データ評価機能	29
3.14.	履歴管理機能	30
3.15.	問い合わせ機能	32
3.16.	認証機能	33
3.17.	メタデータ管理機能	34
3.18.	アカウント管理機能	44
3.19.	システム設定機能	51
3.20.	住所検索機能	54
3.21.	アクセス制限管理機能	55
4.	ユーザインタフェース	57
4.1.	ページ構成	57
4.2.	共通インタフェース	58
4.3.	トップページ	62
4.4.	一覧表示内容	66
4.5.	検索結果一覧ページ	69
4.6.	新着データ一覧ページ	72
4.7.	データランキング一覧ページ	74
4.8.	おすすめデータ一覧ページ	76
4.9.	マイデータ一覧ページ	77
4.10.	メタデータ詳細ページ	78
4.11.	地図表示ページ	82
4.12.	キーワードランキングページ	86

4.13.	ログインサブページ.....	88
4.14.	ログアウトサブページ.....	88
4.15.	アカウント情報サブページ.....	89
4.16.	メタデータ登録・更新・削除サブページ.....	92
4.17.	問い合わせサブページ.....	98
4.18.	アカウント管理サブページ.....	101
4.19.	システム設定サブページ.....	111
4.20.	メタデータ管理サブページ.....	116
4.21.	アクセス制限管理サブページ.....	120
5.	メタデータデータベース.....	123
5.1.	メタデータテーブル.....	123
5.2.	メタデータ公開設定テーブル.....	125
5.3.	キーワードテーブル.....	126
5.4.	データ関連度テーブル.....	127
5.5.	メタデータアクセス履歴テーブル.....	128
5.6.	メタデータアクセス履歴集計テーブル.....	129
5.7.	メタデータアクセス履歴集計(日毎)テーブル.....	130
5.8.	キーワード指定履歴テーブル.....	131
5.9.	データ評価テーブル.....	132
5.10.	ロックテーブル.....	133
5.11.	メタデータ定型情報テーブル.....	133
5.12.	メタデータ同時アクセス履歴集計テーブル.....	135
5.13.	アクセス制限管理テーブル.....	136
5.14.	許可ホスト管理テーブル.....	137
6.	アカウントデータベース.....	138
6.1.	アカウントテーブル.....	138
6.2.	アカウントプロフィールテーブル.....	139
6.3.	ユーザグループテーブル.....	140
6.4.	ユーザグループリンクテーブル.....	141
6.5.	アカウント権限テーブル.....	142
6.6.	メタデータ権限テーブル.....	143
7.	住所データベース.....	144
7.1.	住所テーブル.....	144
8.	システム設定ファイル.....	145
8.1.	メタデータデータベース情報設定ファイル.....	145
8.2.	住所データベース情報設定ファイル.....	145
8.3.	ヘッダ・フッタ情報設定ファイル.....	146
8.4.	リンク情報設定ファイル.....	148
8.5.	問い合わせメール設定ファイル.....	148

8.6.	分散検索サーバ設定ファイル .....	149
8.7.	ゲートウェイ画面設定ファイル.....	150
9.	コード定義 .....	152
9.1.	災害区分コード.....	152
9.2.	公開モードコード.....	152
9.3.	参照タイプコード.....	152
9.4.	条件区分コード.....	153
9.5.	評価コード.....	153
9.6.	サービス区分コード .....	153
10.	メタデータスキーマ定義.....	154
10.1.	名前空間.....	154
10.2.	スキーマ定義 .....	154

## 1. はじめに

本設計書は、災害リスク情報クリアリングハウスシステムの機能、ユーザインタフェース、データベースおよびコンフィグレーションについて記述、定義したものである。

災害リスク情報クリアリングハウスシステムは本設計書に基づいて実装されている。

## 2. 動作環境

災害リスク情報クリアリングハウスシステムは以下のソフトウェア環境で動作することを想定する。

表 2-1 動作するソフトウェア環境

名称	ソフトウェア詳細
OS	Red Hat Enterprise Linux ES 6 (推奨) CentOS 6 (推奨) Red Hat Enterprise Linux ES 5 CentOS 5 (※64bitOS 推奨)
HTTP サーバ	Apache 2.2 以降
DB サーバ	PostgreSQL 9.2 以降
Java 実行環境	Oracle Java JDK7 以降
Servlet 実行環境	Apache tomcat 7.0 以降

### 3. 機能

#### 3.1. 機能一覧

以下に災害リスク情報クリアリングハウスの機能一覧を示す。

表 3.1-1 機能一覧

機能名	説明
CSW 機能	OpenGIS Catalogue Services Specification 2.0.2 に準拠した機能
拡張検索機能	CSW GetRecords 相当の検索を REST 形式で行う機能。加えて災害リスク情報クリアリングハウス固有の情報に対する検索も可能とする。
新着データ取得機能	新たに作成されたメタデータを取得する機能
データランキング取得機能	過去の参照履歴を元に参照回数の多いメタデータを取得する機能
おすすめデータ取得機能	過去の参照履歴や評価を元にユーザに対してふさわしいメタデータを取得する機能
関連データ取得機能	1つのメタデータに対して内容の関連性が高い他のメタデータを取得する機能
同時参照データ取得機能	1つのメタデータに対して過去の参照履歴を元に同一セッション内で参照されることの多いメタデータを取得する機能。
マイデータ取得機能	ログイン中のユーザが登録したメタデータのみを取得する機能
キーワードランキング取得機能	過去の検索履歴を元に検索に指定された回数のキーワードを取得する機能
関連度計算機能	メタデータ間の関連度を計算し保存する機能
データ評価機能	利用者からのデータに対する評価を保存する機能
履歴管理機能	メタデータの検索、取得履歴をメタデータごとに保存する機能
問い合わせ機能	ユーザからの問い合わせを運営者宛にメール送信する機能
認証機能	ユーザ ID およびパスワードで認証を行う機能。
メタデータ管理機能	メタデータの登録・変更・削除を行う機能
アカウント管理機能	アカウントの登録・更新・削除を行う機能
システム設定機能	システムの各種設定を行う機能
住所検索機能	キーワードを元に住所を検索する機能
アクセス制限管理機能	アクセス元のホスト・リファラによるメタデータのアクセス制限を設定する機能



## 3.2. CSW 機能

CSW 機能は OpenGIS Catalogue Services Specification 2.0.2

(<http://www.opengeospatial.org/standards/specifications/catalog>) に準拠した機能を実装する。

### (1) CSW オペレーション

本システムで実装する CSW オペレーションを以下に示す。

表 3.2-1 CSW オペレーション

No	Operation	概要	方式	実装
1	GetCapabilities	システムの構成情報や格納データのスキーマなどのメタ情報を提供	KVP(GET)	○
			XML(POST)	○
2	DescribeRecord	カタログデータのリソースの形式情報を取得する。	XML(POST)	○
3	GetDomain	プロパティ情報のフィールド値の上限と下限情報の取得を行う。	KVP(GET)	×
			XML(POST)	×
4	GetRecords	カタログデータの検索を行う。	XML(POST)	○
5	GetRecordById	ID 指定によるカタログデータの取得を行う	KVP(GET)	○
			XML(POST)	○

(2) CSW GetCapabilities リクエストパラメータ

本システムの CSW GetCapabilities オペレーションが受け付けるリクエストパラメータを以下に示す。

表 3.2-2 CSW GetCapabilities リクエストパラメータ

No	パラメータ	データ型	値	デフォルト値	OGC 規定	実装
1	SERVICE	CharacterString	(固定値)CSW	-	必須	○
2	REQUEST	CharacterString	(固定値)GetCapabilities	-	必須	○

(3) CSW DescribeRecord リクエストパラメータ

本システムの CSW DescribeRecord オペレーションが受け付けるリクエストパラメータを以下に示す。

表 3.2-3 CSW DescribeRecord リクエストパラメータ

No	パラメータ	データ型	値	デフォルト値	OGC 規定	実装
1	REQUEST	CharacterString	(固定値)DescribeRecord	-	必須	○
2	SERVICE	CharacterString	(固定値)CSW	-	必須	○
3	VERSION	CharacterString	(固定値)2.0.2	-	必須	○
4	NAMESPACE	カンマ区切り Character String のリスト	名前空間とその修飾子 (prefix) を指定するために用いる。 書式は xmlns([prefix=]namespace-url) 修飾子 (prefix) が指定されない場合は、デフォルトの名前空間 となる。 ISO メタデータプロファイルでは“gmd:MD_Metadata”をサポートし なければならない。	-	任意	○
5	TYPENAME	カンマ区切り Character String のリスト	カタログで定義されている 1 つ以上の正式な型名	指定がない場合は、サーバにあ るすべての型	任意	○
6	OUTPUTFORMAT	CharacterString	Capabilities ドキュメントで定義された出力されるドキュメントの 形式を示す MIME タイプ	application/xml	任意	○
7	SCHEMALANGUAGE	CharacterString	Capabilities ドキュメントで定義された指定したスキーマ言語を 使用したい場合に指定。 ISO メタデータプロファイルでは XMLSCHEMA のみ。	XMLSCHEMA	任意	×

(4) CSW GetRecords リクエストパラメータ

本システムの CSW GetRecords オペレーションが受け付けるリクエストパラメータを以下表 3.2-4 エラー! 参照元が見つかりません。に示す。

表 3.2-4 CSW GetRecords リクエストパラメータ

No	パラメータ	データ型	値	デフォルト値	OGC 規定	実装
1	REQUEST	CharacterString	(固定値)GetRecords	-	必須	○
2	SERVICE	CharacterString	(固定値)CSW	-	必須	○
3	VERSION	CharacterString	(固定値)2.0.2	-	必須	○
4	NAMESPACE	カンマ区切り Character String のリスト	名前空間とその修飾子 (prefix) を指定するために用いる。 書式は xmlns([prefix=]namespace-url) 修飾子 (prefix) が指定されない場合は、デフォルトの名前 空間となる。 ISO メタデータプロファイルでは“gmd:MD_Metadata”をサポート しなければならない。	-	任意	○
5	RESULTTYPE	コードリスト	下記の何れか hits results validate	hits	任意	○
6	REQUESTID	URI	非同期処理を行う時にリクエストを識別するために使用。	-	任意	×
7	OUTPUTFORMAT	CharacterString	Capabilities ドキュメントで定義された出力されるドキュメント の形式を示す MIME タイプ	application/xml	任意	○

No	パラメータ	データ型	値	デフォルト値	OGC 規定	実装
8	OUTPUTSCHEMA	任意の URI	応答を生成するために用いられるスキーマ ISO メタデータプロファイルでは“http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2”と “http://www.isotc211.org/2005/gmd”をサポートしなければならない。	http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	任意	○
9	STARTPOSITION	正数	出力の生成を開始するレコード位置	1	任意	○
10	MAXRECORDS	正数	クエリの結果セットから返されるレコードの最大値	10	任意	○
11	TYPENAMES	カンマ区切り Character String のリスト	カタログで定義されている 1 つ以上の正式な型名 ISO メタデータプロファイルでは“csw:Record”か “gmd:MD_Metadata”の 1 つをサポートしなければならない。	csw:Record	必須	○
12	ELEMENTSETNAME or ELEMENTNAME	Character String のリスト	応答内の各レコードに OUTPUTSCHEMA の属性を含めるかどうかを指定。下記の何れか brief summary full	summary	任意	○
13	CONSTRAINTLANGUAGE	CodeList	CONSTRAINT と一緒に指定。下記の何れか CQL_TEXT FILTER	-	任意	○ (FILTER)
14	CONSTRAINT_LANGUAGE_VERSION	String	CONSTRAINT がどのバージョンに準拠するかを指定。	-	必須	○
15	CONSTRAINT	String	CONSTRAINTLANGUAGE で指定された言語で記述された検索条件	指定がない場合は制約のないクエリが実行される	任意	○

No	パラメータ	データ型	値	デフォルト値	OGC 規定	実装
16	SORTBY	カンマ区切り Character String のリスト	応答をソートするために使用するメタデータ要素の名前の順序付きリスト。	指定がない場合は抽出順に返される	任意	○
17	DISTRIBUTEDSEARCH	Boolean	分散検索を行うかどうか。	FALSE	任意	○
18	HOPCOUNT	Integer	DISTRIBUTEDSEARCH が指定されたときだけ。	2	任意	○
19	RESPONSEHANDLER	任意のURI	非同期処理を行う場合のハンドラ。 ISO メタデータプロファイルでは非同期はサポートされない。	指定がない場合は同期	任意	×

本システムでは CONSTRAINTLANGUAGE は OGC Filter (<http://www.opengeospatial.org/standards/filter>) のみサポートする。

GetRecords リクエストで取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

(5) CSW GetRecordById リクエストパラメータ

本システムの CSW GetRecordById オペレーションが受け付けるリクエストパラメータを以下に示す。

表 3.2-5 CSW GetRecordById リクエストパラメータ

No	パラメータ	データ型	値	デフォルト値	OGC 規定	実装
1	REQUEST	Character String	(固定値)GetRecordById	-	必須	○
2	SERVICE	Character String	(固定値)CSW	-	必須	○
3	VERSION	Character String	(固定値)2.0.2	-	必須	○
4	ELEMENTSETNAME	CodeList	応答内の各レコードにどの要素を含めるかどうかを指定。下記の何れか brief summary full	summary	任意	○
4	ID	カンマ区切りの任意の URI	識別子		必須	○
5	OUTPUTFORMAT	Character String	下記の何れかのみをサポート application/xml text/xml text/html text/plain	application/xml	任意	○
6	OUTPUTSCHEMA	URI	応答を生成するために用いられるスキーマ ISO メタデータプロファイルでは“http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2”と “http://www.isotc211.org/2005/gmd”をサポートしなければならない。	http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	任意	○

GetRecordById リクエストで取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

(6) カタログ検索キー

GetRecords の検索項目とメタデータの対象項目との対応を以下に示す。

表 3.2-6 カタログ検索キー

検索項目	検索項目名	メタデータの対象項目 (XPath)
タイトル	Title	/MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/citation/title
要約	Abstract	/MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/abstract
キーワード	AnyText	/MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/descriptiveKeywords/MD_Keywords/jmp:keyword および /MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/abstract
メタデータ更新日	Modified	/MD_Metadata/dateStamp
ID	Identifier	/MD_Metadata/fileIdentifier
範囲	BoundingBox	以下の4つの要素で構成される緯度経度矩形との交差 /MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/extent/geographicElement/EX_GeographicBoundingBox/westBoundLongitude  /MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/extent/geographicElement/EX_GeographicBoundingBox/southBoundLongitude  /MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/extent/geographicElement/EX_GeographicBoundingBox/eastBoundLongitude  /MD_Metadata/identificationInfo/MD_DataIdentification/extent/geographicElement/EX_GeographicBoundingBox/northBoundLongitude



### 3.3. 拡張検索機能

拡張検索機能は、REST 形式(HTTP GET)での検索リクエストを行うための機能である。

拡張検索機能は、パラメータで指定された検索条件でメタデータテーブルに対する検索を行い、結果をパラメータで指定された形式で返す。

拡張検索機能では CSW GetRecords で可能な検索に加えて以下の検索を行なうことができる。

- 災害区分を条件とした検索
- キーワードによるあいまい検索
- 評価による検索
- データ提供サービス(WMS,WFS,WFS 等)の種類による検索

あいまい検索が指定された場合は、キーワードテーブルから検索した類似キーワードを検索条件に追加する。

また、拡張検索機能による検索結果は以下の順序でのソートができる。

- 検索条件との関連度
- 更新日付
- アクセス数
- 評価
- ID 昇順
- ID 降順

以下に拡張検索機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.3-1 拡張検索機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecords	固定	○
resultType	results	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	http://www.opengis.net/csw/2.0.2	固定	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summay/full のいずれか	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値:1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値:10、最大値:100	

DISASTERTYPE	以下のいずれかの番号 1:地震 2:津波・高潮 3:火山 4:風水 5:土砂 6:氷雪 7:その他	災害区分、カンマ区切りで複数指定可能	
KEYWORD	文字列	AND キーワード、スペース区切りで複数指定可能。部分一致。	
KEYWORDOR	文字列	OR キーワード、スペース区切りで複数指定可能。部分一致。	
KEYWORDNOT	文字列	NOT キーワード、スペース区切りで複数指定可能。部分一致。	
FUZZYSEARCH	true(する)/ false(しない)	あいまい検索制御	
CONTACTNAME	文字列	問い合わせ先の名称に対する検索条件。部分一致。空白文字で区切って複数指定可能。複数指定した場合は全ての文字列に部分一致するものを検索する。	
CONTACTCITY	文字列	問い合わせ先の市区町村名に対する検索条件。部分一致。空白文字で区切って複数指定可能。複数指定した場合は全ての文字列に部分一致するものを検索する。	
CONTACTADMINAREA	文字列	問い合わせ先の都道府県名に対する。部分一致。空白文字で区切って複数指定可能。複数指定した場合は全ての文字列に部分一致するものを検索する。	
USELIMITATION	文字列	利用上の制約に対する検索条件。部分一致。空白文字で区切って複数指定可能。複数指定した場合は全ての文字列に部分一致するものを検索する。 但し、コード(001 等3桁の数字)が指定された場合は完全一致。	
BBOX	西側経度,南側緯度,東側経度,北側緯度	地理範囲条件、度単位	
TERMTYPE	以下のいずれかの番号 1:作成日 2:刊行日 3:改訂日	期間条件の対象、カンマ区切りで複数指定可能	

TERM	開始日付,終了日付 yyyy/mm/dd	期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限	
DATATERM	開始日付,終了日付 yyyy/mm/dd	データの期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限	
RATING	最低値,最高値	評価条件、最低値と最高値のカンマ区切り、値は 0~5、一方を省略可能、省略すると片側無制限	
RESOURCEURL	文字列	データアクセス URL に対する検索条件。部分一致。空白文字で区切って複数指定可能。複数指定した場合は全ての文字列に部分一致するものを検索する。	
APPLICATIONPROFILE	WMS,WFS,WCS のいずれかを指定	データ提供サービスの種類を条件として検索、カンマ区切りで複数指定可能	
INCLUDEPLANNED	以下のいずれかを1つ指定する。 TRUE: 予定メタデータを含む全て FALSE: 予定メタデータを含まない ONLY: 予定メタデータのみ	検索対象に予定メタデータを含むかどうかを指定する。	
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 5:検索条件との関連度 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値:10	
enc	文字エンコーディング	値の文字エンコーディングを指定 デフォルトは EUC-JP	

拡張検索機能で検索できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

### 3.4. 新着データ取得機能

新着データ取得機能は、REST 形式(HTTP GET)での検索リクエストを行うための機能である。

新着データ取得機能はパラメータで指定された期間内に作成されたメタデータをメタデータテーブルから検索し、結果をパラメータで指定された形式で返す。

以下に新着データ取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.4-1 新着データ取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecords	固定	○
resultType	results	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	http://www.opengis.net/cat /csw/2.0.2	固定	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summay/full のいずれか	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値:1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値:10、最大値:100	
SEARCHMODE	LATEST	固定	○
TERM	開始日付,終了日付 yyyy/mm/dd	新着とする期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限	
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値:1	
enc	文字エンコーディング	値の文字エンコーディングを指定 デフォルトは EUC-JP	

新着データ取得機能で取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

### 3.5. データランキング取得機能

データランキング取得機能は、REST 形式 (HTTP GET) での検索リクエストを行うための機能である。

データランキング取得機能はパラメータで指定された期間内に参照されたメタデータをメタデータテーブルおよびメタデータアクセス履歴テーブルから検索し、結果をパラメータで指定された形式で返す。

以下にデータランキング取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.5-1 データランキング取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecords	固定	○
resultType	results	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	固定	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summay/full のいずれか	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値: 1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値: 10、最大値: 100	
SEARCHMODE	ACCESSRANK	固定	○
TERM	開始日付, 終了日付 yyyy/mm/dd	ランキングを取得する期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限	
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値: 2	
enc	文字エンコーディング	値の文字エンコーディングを指定 デフォルトは EUC-JP	

データランキング取得機能で取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

### 3.6. おすすめデータ取得機能

おすすめデータ取得機能は、REST 形式 (HTTP GET) での検索リクエストを行うための機能である。

おすすめデータ取得機能は現在のユーザが過去 1 週間以内に参照したメタデータと関連度の高いメタデータのうち、評価の高いものをメタデータテーブル、メタデータアクセス履歴テーブル、データ関連度テーブルから検索し、結果をパラメータで指定された形式で返す。

以下におすすめデータ取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.6-1 おすすめデータ取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecords	固定	○
resultType	results	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	固定	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summay/full のいずれか	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値: 1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値: 10、最大値: 100	
SEARCHMODE	RECOMMEND	固定	○
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 6:おすすめ度 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値: 6	
enc	文字エンコーディング	値の文字エンコーディングを指定 デフォルトは EUC-JP	

おすすめデータ取得機能で取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

### 3.7. 関連データ取得機能

関連データ取得機能は、REST 形式 (HTTP GET) での検索リクエストを行うための機能である。

関連データ取得機能はパラメータで指定されたメタデータと関連性の高いメタデータをメタデータテーブルおよびデータ関連度テーブルから検索し、結果をパラメータで指定された形式で返す。

以下に関連データ取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.7-1 関連データ取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecords	固定	○
resultType	results	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	固定	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summay/full のいずれか	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値: 1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値: 10、最大値: 100	
SEARCHMODE	RELEVANCY	固定	○
RELEVANTID	メタデータの ID	関連データを取得する対象のメタデータ ID	○
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 4:関連度 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値: 4	
enc	文字エンコーディング	値の文字エンコーディングを指定 デフォルトは EUC-JP	

関連データ取得機能で取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

### 3.8. 同時参照データ取得機能

同時参照データ取得機能は、REST 形式 (HTTP GET) での検索リクエストを行うための機能である。

同時参照データ取得機能はパラメータで指定されたメタデータと指定期間内に同一セッション内で参照されたメタデータをメタデータテーブルおよびメタデータアクセス履歴テーブルから検索し、結果をパラメータで指定された形式で返す。

以下に同時参照データ取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.8-1 同時参照データ取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecords	固定	○
resultType	results	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	固定	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summay/full のいずれか	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値: 1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値: 10、最大値: 100	
SEARCHMODE	RELEVANCY	固定	○
RELEVANTID	メタデータの ID	同時参照のメタデータを取得する対象のメタデータの ID	○
TERM	開始日付,終了日付 yyyy/mm/dd	同時参照のメタデータを探す期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限	
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 7:同時参照された回数 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値: 7	
enc	文字エンコーディング	値の文字エンコーディングを指定 デフォルトは EUC-JP	

同時参照データ取得機能で取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。



### 3.9. マイデータ取得機能

マイデータ取得機能は、REST 形式 (HTTP GET) での検索リクエストを行うための機能である。

マイデータ取得機能は現在ログイン中のユーザが登録したメタデータをメタデータテーブルから検索し、結果をパラメータで指定された形式で返す。

登録したメタデータの情報はセッションのログイン情報を参照する。

以下にマイデータ取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.9-1 関連データ取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecords	固定	○
resultType	results	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	固定	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summay/full のいずれか	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値: 1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値: 10、最大値: 100	
SEARCHMODE	MYDATA	固定	○
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値: 11	
enc	文字エンコーディング	値の文字エンコーディングを指定 デフォルトは EUC-JP	

### 3.10. メタデータ取得機能

メタデータ取得機能は CWS GetRecordById リクエストを REST 形式 (HTTP GET) で行うための機能である。

以下にメタデータ取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.10-1 メタデータ取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetRecordById	固定	○
outputFormat	application/xml	固定	○
outputSchema	出力スキーマの URI	http://schemas.info-bosai.jp/ch/jmpex または http://www.opengis.net/cat/csw/2.0.2	○
ElementSetName	結果セットの形式	brief/summary/full のいずれか	○
Id	メタデータのファイル識別子	メタデータの fileIdentifier 要素の値	○

メタデータ取得機能で取得できるメタデータは、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能なメタデータのみとする。

### 3.11. キーワードランキング取得機能

キーワードランキング取得機能はパラメータで指定された期間内に参照されたキーワードをキーワードテーブルおよびメ  
キーワード指定履歴テーブルから検索し、結果をリクエストの属性に格納する。

キーワードランキング取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

キーワードランキング取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はし  
ない。

以下にキーワードランキング取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.11-1 データランキング取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetKeywords	固定	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値:1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値:10、最大値:100	
SEARCHMODE	ACCESSRANK	固定	○
TERM	開始日付,終了日付 yyyy/mm/dd	ランキングを取得する期間条件、開始日と終 了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略 すると片側無制限	
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:最後に条件に指定された日付 2:アクセス数	並べ替え方法、デフォルト値:2	
REDIRECTURL	URL	リクエスト実行後にフォワードする URL	○

### 3.12. 関連度計算機能

関連度計算機能は、登録または更新されたメタデータの内容と登録済みの他のメタデータの内容との関連度(内容の類似性)を数値化する。

関連度計算機能は、メタデータの登録・更新時にシステム内部で自動的に実行される機能である。

関連度を数値化する対象のメタデータ項目および数値化基準は以下の通りとする。

- 地理境界ボックス  
2つの地理境界ボックスの交差部分がそれぞれと地理境界ボックスに占める割合で加算  
交差部分がない場合は減算
- 主題分類  
主題分類の一致1件ごとに加算  
他方に含まれない主題分類1件ごとに減算
- 問い合わせ先  
組織名が一致する場合加算  
役割が一致する場合加算
- キーワード  
一致するものがある場合に加算
- 災害区分(メタデータ外の情報)  
一致する場合に加算

関連度計算機能は複数実行した場合に内容の不整合や無駄な処理が実行される可能性があるため、ロックテーブルを利用して排他制御を行う。

### 3.13. データ評価機能

データ評価機能はパラメータで指定されたメタデータ ID のメタデータの評価を指定された値でデータ評価テーブルに保存する。

データ評価機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

データ評価機能はメタデータ詳細ページにおける評価インタフェースでのみの利用を想定し、外部 API として公開はしない。

以下にデータ評価機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.13-1 データランキング取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetKeywords	固定	○
ID	メタデータ ID	評価を行うメタデータの ID	○
RATING	以下のいずれかの値 5: とても役に立つ 4: 役に立つ 3: 普通 2: あまり役に立たない 1: 役に立たない 0: 不要	メタデータに対する評価	○

メタデータ評価機能は、ログインの有無、ログインユーザの権限および対象メタデータの公開状態から判断して参照可能はメタデータに対してのみ実行することができる。

### 3.14. 履歴管理機能

履歴管理機能は、メタデータ検索機能またはメタデータ取得機能により検索または取得されたメタデータの ID を履歴としてメタデータアクセス履歴テーブルに保存する。

また、メタデータ検索機能で指定されたキーワードを履歴としてキーワード指定履歴テーブルに保存する。

#### (1) メタデータアクセス履歴管理

対象機能は以下の通り。

- CSW 機能 (GetRecords, GetRecordById)
- 拡張検索機能
- 新着データ取得機能
- データランキング取得機能
- おすすめデータ取得機能
- 関連データ取得機能
- 同時参照データ取得機能
- マイデータ取得機能

上記の機能で検索・取得されたメタデータがあった場合、以下をメタデータアクセス履歴テーブル保存する。

- メタデータの ID
- アクセスしたユーザの ID
- アクセスしたリモートホスト名またはアドレス
- 参照タイプコード
- アクセスした日時
- アクセス時のセッション ID
- アクセス元のリファラ

#### (2) キーワード指定履歴管理

対象機能は以下の通り

- CSW 機能 (GetRecords)
- 拡張検索機能

上記の機能でキーワードを指定した検索が行われ、検索結果が得られた場合に、以下をキーワード指定履歴テーブルに保存する。

- 検索リクエストを識別する ID
- 指定されたキーワード ID
- 検索を行ったユーザの ID
- 検索を行ったりリモートホスト名またはアドレス
- 条件区分コード
- 検索されたデータの件数
- 検索を行った日時

- 検索リクエストに指定されたクエリ(拡張検索機能の場合)
- 検索時のセッション ID
- 検索元のリファラ

指定されたキーワードがキーワードテーブルに存在しない場合は、履歴の保存に先立ってキーワードテーブルに新たに登録を行なう。

### 3.15. 問い合わせ機能

問い合わせ機能はパラメータで指定された問い合わせ内容をシステムに設定された運営者のメールアドレス宛に送信する。

問い合わせ機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

問い合わせ機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下に問い合わせ機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.15-1 問い合わせ機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ModifyQuestionComplete	固定	○
EMAIL_2	メールアドレス	問い合わせ者のメールアドレス	○
USERNAME	名前	問い合わせ者の名前	○
TEL	電話番号	問い合わせ者の電話番号	○
QUESTION	問い合わせ内容	自由記述	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

問い合わせメールの送信先メールアドレス、送信用メールサーバは「8.5 問い合わせメール設定ファイル」から取得する。



### 3.16. 認証機能

認証機能はパラメータで指定されたユーザ ID およびパスワードで認証を行う。

問い合わせ機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供し API として外部公開する。

以下に認証機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.16-1 認証機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	AuthAccount	固定	○
LOGINNAME	ユーザ ID	登録済みのユーザ ID	○
PASSWORD	パスワード	登録済みのパスワード	○
RESPONSE	forward または json	認証処理の結果を返す方法。 json の場合は以下の文字列を返す。 { "code": ログイン結果 } ログイン結果 0: ログイン成功 0 以外: ログイン失敗	○
URL	URL	RESPONSE=forward の場合のフォワード先の URL	△

認証処理はパラメータで指定されたユーザ ID およびパスワードでアカウントデータベースに対する照合を行い、一致するアカウントが存在する場合はログイン成功とする。

認証が成功した場合は現在のセッションの属性にログイン中のアカウントに関する以下の内容を保存する。

- アカウント情報
- ユーザの所属するグループ情報
- メタデータ登録権限の有無
- メタデータ管理者権限の有無
- アカウント管理者権限の有無
- ユーザが登録した全てのメタデータの ID

各機能はセッション属性に保存された内容でログイン状態を識別する。

認証を解除 (ログアウト) する場合は、認証解除リクエストを送信する。

以下に認証解除のリクエストパラメータを示す。

表 3.16-2 認証解除リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	Logout	固定	○
RESPONSE	forward または json	認証処理の結果を返す方法。 json の場合は以下の文字列を返す。 { "code": ログアウト結果 } ログアウト結果は常に 0 である	○
URL	URL	RESPONSE=forward の場合のフォワード先の URL	△

### 3.17. メタデータ管理機能

メタデータ管理機能はメタデータの一覧取得・登録・更新・削除を行う。

#### (1) メタデータ一覧取得機能

メタデータ一覧取得機能は登録されている全てのメタデータを取得する。

メタデータ一覧取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

メタデータ一覧取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にメタデータ一覧取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.17-1 メタデータ一覧取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	ListMetadata	固定	○
startPosition	取得レコード先頭位置	デフォルト値:1	
maxRecords	最大取得レコード数	デフォルト値:10、最大値:100	
KEYWORD	文字列	絞り込み条件 指定された文字列がメタデータのタイトルまたは要約に部分一致するメタデータのみを取得する。	
CONTACTNAME	文字列	絞り込み条件 指定された文字列がメタデータの問い合わせ先組織名に部分一致するメタデータのみを取得する。	
OPENMODE	以下の何れかから1つ以上 0:常に公開 1:ログインユーザにのみ公開 2:指定ユーザグループのユーザのみ公開 -1:非公開	絞込条件。 指定された公開モードに一致するメタデータのみを取得する。 複数指定する場合はカンマで区切って指定する。	
ORDERBY	以下のいずれかの番号1つ 1:更新日付 2:アクセス数 3:評価 10:ID 昇順 11:ID 降順	並べ替え方法、デフォルト値:11	
REDIRECTURL	URL	リクエスト実行後にフォワードする URL	○

メタデータ一覧取得機能は、メタデータ管理者でログイン中の場合は全てのメタデータを取得する。  
 メタデータ管理者以外でログイン中の場合はそのユーザが登録したメタデータのみを取得する。  
 上記以外はメタデータを取得しない。

(2) メタデータ登録機能(ファイルアップロード形式)

メタデータ登録機能(ファイルアップロード形式)は、アップロードされたメタデータファイル(XML テキスト)をメタデータデータベースに登録する。  
 メタデータ登録機能(ファイルアップロード形式)は application/multipart 形式(HTTP POST)のインタフェースで提供する。

以下にメタデータ登録機能(ファイルアップロード形式)のリクエストパラメータを示す。

表 3.17-2 メタデータ登録機能(ファイルアップロード形式)リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	UploadMetadata	固定	○
METADATAFILE	メタデータファイル	登録するメタデータファイル(XML テキスト)	○
OVERVIEWFILE	サムネイル画像ファイル	サムネイルとして表示する画像ファイル(gif,png,jpeg) 指定された場合、画像ファイルをサーバ上の所定の場所に保存し、保存したファイルを参照する URL をメタデータの概要の図示-ファイル名に設定する。 このとき、設定済みのファイル名があれば上書きする。	
DISASTERTYPE	災害区分	登録するメタデータの災害区分 以下のいずれか。 1:地震 2:津波・高潮 3:火山 4:風水 5:土砂 6:氷雪 7:その他 省略時のデフォルトは0(災害区分なし)	
OPENMODE	公開モード	登録するメタデータの公開モード 省略時のデフォルトは0(常に公開)	
OPENMODEGRP	ユーザグループ ID	ユーザグループに公開する場合のグループの ID 複数のグループに公開する場合はカンマで区切って指定する。 公開モード=2(グループに公開)の場合は必須	△

REDIRECTURL	リダイレクト先 URL	<p>登録後に REDIRECT するページの URL を指定する。 この URL には、パラメータ FILEIDENTIFIER が渡される。</p> <p>パラメータの値は以下の通り。</p> <p>登録成功 — 登録したメタデータのファイル識別子 登録失敗 — 空</p> <p>省略した場合は空のドキュメントを返す。</p>	
-------------	-------------	--	--

データ登録機能(ファイルアップロード形式)は、メタデータ管理者またはメタデータ登録権限を持つユーザでログイン中のみ実行することができる。

(3) メタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)

メタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)は、パラメータで指定された外部 URL から取得したメタデータファイル(XML テキスト)をメタデータデータベースに登録する。

メタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)は REST 形式(HTTP GET)のインターフェースで提供する。

以下にメタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)のリクエストパラメータを示す。

表 3.17-3 メタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	UploadMetadata	固定	○
METADATAURL	メタデータの URL	外部メタデータ(XML ファイル)の URL	○
DISASTERTYPE	災害区分	登録するメタデータの災害区分 以下のいずれか。 1:地震 2:津波・高潮 3:火山 4:風水 5:土砂 6:氷雪 7:その他 省略時のデフォルトは0(災害区分なし)	
OPENMODE	公開モード	登録するメタデータの公開モード 省略時のデフォルトは0(常に公開)	
OPENMODEGRP	ユーザグループ ID	ユーザグループに公開する場合のグループの ID 複数のグループに公開する場合はカンマで区切って指定する。 公開モード=2(グループに公開)の場合は必須	△
REDIRECTURL	リダイレクト先 URL	登録後に REDIRECT するページの URL を指定する。 この URL には、パラメータ FILEIDENTIFIER が渡される。 パラメータの値は以下の通り。 登録成功 — 登録したメタデータのファイル識別子 登録失敗 — 空 省略した場合は空のドキュメントを返す。	

メタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)は、メタデータ管理者またはメタデータ登録権限を持つユーザでログイン中のみ実行することができる。

(4) メタデータ登録機能(パラメータポスト形式)

メタデータ登録機能(パラメータポスト形式)は、パラメータで指定されたメタデータの各項目の値から組み立てられたメタデータ(XML テキスト)をメタデータデータベースに登録する。

メタデータ登録機能(パラメータポスト形式)は application/multipart 形式(HTTP POST)のインタフェースで提供する。

メタデータ登録機能(パラメータポスト形式)はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にメタデータ登録機能(パラメータポスト形式)のリクエストパラメータを示す。

表 3.17-4 メタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	AddMetadata	固定	○
メタデータ項目に対応するパラメータ名	メタデータ項目の値	メタデータの各項目に対応するパラメータ名およびその値を指定する。	○
DISASTERTYPE	災害区分	登録するメタデータの災害区分 省略時のデフォルトは0(災害区分なし)	
OPENMODE	公開モード	登録するメタデータの公開モード 以下のいずれか。 1:地震 2:津波・高潮 3:火山 4:風水 5:土砂 6:氷雪 7:その他 省略時のデフォルトは0(常に公開)	
OPENMODEGRP	ユーザグループ ID	ユーザグループに公開する場合のグループの ID 複数のグループに公開する場合はカンマで区切って指定する。 公開モード=2(グループに公開)の場合は必須	△
OVERVIEWFILE	サムネイル画像ファイル	サムネイルとして表示する画像ファイル(.gif,.png,.jpeg) 指定された場合、画像ファイルをサーバ上の所定の場所に保存し、保存したファイルを参照する URL をメタデータの「概要の図示-ファイル名」に設定する。 このとき、設定済みのファイル名があれば上書きする。	

MAPDATAFILE	地図データファイル	Shape 等の地図データファイル。 指定された場合、地図データファイルをサーバ上の所定の場所に保存し、保存したファイルを参照する URL をメタデータの「配布情報-オンライン-リンク」に設定する。 このときすでに設定済みのリンクがあれば上書きする。	
REDIRECTURL	リダイレクト先 URL	登録後に REDIRECT するページの URL を指定する。	○

データ登録機能(パラメータポスト形式)は、メタデータ管理者またはメタデータ登録権限を持つユーザでログイン中のみ実行することができる。

(5) メタデータ更新機能(ファイルアップロード形式)

メタデータ更新機能(ファイルアップロード形式)は、アップロードされたメタデータファイル(XML テキスト)でメタデータのファイル識別子が一致する登録済みのメタデータを更新する。

メタデータ更新機能(ファイルアップロード形式)は application/multipart 形式(HTTP POST)のインターフェースで提供する。

メタデータ更新機能(ファイルアップロード形式)のリクエストパラメータはメタデータ登録機能(ファイルアップロード形式)と同一である。

つまり、

- アップロードされたメタデータのファイル識別子と同一のメタデータがデータベースに登録されている場合は更新
- 登録されていない場合は登録

となる。

データ更新機能(外部メタデータの参照形式)は、メタデータ管理者または更新対象メタデータの登録ユーザでログイン中のみ実行することができる。

(6) メタデータ更新機能(外部メタデータの参照形式)

メタデータ更新機能(外部メタデータの参照形式)は、パラメータで指定された外部 URL から取得したメタデータファイル(XML テキスト)でメタデータのファイル識別子が一致する登録済みのメタデータを更新する。

メタデータ更新機能(外部メタデータの参照形式)は REST 形式(HTTP GET)のインターフェースで提供する。

メタデータ更新機能(外部メタデータの参照形式)のリクエストパラメータはメタデータ登録機能(外部メタデータの参照形式)と同一である。

つまり、

- 外部 URL から取得したメタデータのファイル識別子と同一のメタデータがデータベースに登録されている場合は更新
- 登録されていない場合は登録

となる。

データ更新機能(外部メタデータの参照形式)は、メタデータ管理者または更新対象メタデータの登録ユーザでログイン中のみ実行することができる。



(7) メタデータ更新機能(パラメータポスト形式)

メタデータ更新機能(パラメータポスト形式)は、パラメータで指定された ID のメタデータをパラメータで指定されたメタデータの各項目の値から組み立てられたメタデータで更新する。

メタデータ更新機能(パラメータポスト形式)は application/multipart 形式(HTTP POST)のインタフェースで提供する。

メタデータ更新機能(パラメータポスト形式)はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にメタデータ更新機能(パラメータポスト形式)のリクエストパラメータを示す。

表 3.17-5 メタデータ更新機能(外部メタデータの参照形式)リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	UpdateMetadata	固定	○
MD_ID	メタデータ ID	更新対象のメタデータの ID	
メタデータ項目に対応するパラメータ名	メタデータ項目の値	メタデータの各項目に対応するパラメータ名およびその値を指定する。	○
DISASTERTYPE	災害区分	登録するメタデータの災害区分 以下のいずれか。 1:地震 2:津波・高潮 3:火山 4:風水 5:土砂 6:氷雪 7:その他 省略時のデフォルトは0(災害区分なし)	
OPENMODE	公開モード	登録するメタデータの公開モード 省略時のデフォルトは0(常に公開)	
OPENMODEGRP	ユーザグループ ID	ユーザグループに公開する場合のグループの ID 複数のグループに公開する場合はカンマで区切って指定する。 公開モード=2(グループに公開)の場合は必須	△
OVERVIEWFILE	サムネイル画像ファイル	サムネイルとして表示する画像ファイル(gif,png,jpeg) 指定された場合、画像ファイルをサーバ上の所定の場所に保存し、保存したファイルを参照する URL をメタデータの「概要の図示-ファイル名」に設定する。 このとき、設定済みのファイル名があれば上書きする。	

MAPDATAFILE	地図データファイル	Shape 等の地図データファイル。 指定された場合、地図データファイルをサーバ上の所定の場所に保存し、保存したファイルを参照する URL をメタデータの「配布情報-オンライン-リンク」に設定する。 このときすでに設定済みのリンクがあれば上書きする。	
REDIRECTURL	リダイレクト先 URL	登録後に REDIRECT するページの URL を指定する。	○

データ更新機能(パラメータポスト形式)は、メタデータ管理者または更新対象メタデータの登録ユーザでログイン中のみ実行することができる。

(8) メタデータ削除機能

メタデータ削除機能はパラメータで指定された ID のメタデータをデータベースから削除する。

メタデータ削除機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

以下にメタデータ更新機能 (パラメータポスト形式) のリクエストパラメータを示す。

表 3.17-6 メタデータ削除機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	DeleteMetadata	固定	○
METADATAID	メタデータの ID	削除するメタデータの ID FILEIDENTIFIER といずれか必須	△
FILEIDENTIFIER	ファイル識別子	削除するメタデータのファイル識別子。 (メタデータ項目 fileIdentifier の値) METADATAID といずれか必須	△
REDIRECTURL	リダイレクト先 URL	登録後に REDIRECT するページの URL を指定する。 省略した場合は空のドキュメントを返す。	

メタデータ削除機能は、メタデータ管理者または削除対象メタデータの登録ユーザでログイン中のみ実行することができる。

### 3.18. アカウント管理機能

アカウント管理機能はアカウント情報の一覧取得・取得・登録・更新・削除およびユーザグループ情報の一覧取得・取得・登録・更新・削除を行う。

#### (1) アカウント情報一覧取得機能

アカウント情報一覧取得機能はアカウントデータベースに登録されている全てのアカウント情報を取得する。

アカウント情報一覧取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

アカウント情報一覧取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にアカウント情報一覧取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-1 アカウント情報一覧取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ListAccount	固定	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

#### (2) アカウント情報取得機能

アカウント情報取得機能はパラメータで指定されたユーザ ID のアカウント情報をアカウントデータベースから取得する。

アカウント情報取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

アカウント情報取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にアカウント情報取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-2 アカウント情報取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	SelectAccount	固定	○
ID	アカウント ID	アカウント情報を取得するアカウントの ID	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者または取得対象ユーザでログインしている場合のみ実行できる。

#### (3) アカウント情報登録機能

アカウント情報登録機能はパラメータで指定されたアカウント情報を新しいアカウントとしてアカウントデータベースに登録する。

アカウント情報登録機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

アカウント情報登録機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にアカウント情報登録機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-3 アカウント情報登録機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	RegistAccountComplete	固定	○
LOGINNAME	文字列	ログイン時に指定するユーザ ID	○
PASSWORD	文字列	ログイン時に指定するパスワード	○
USERNAME	文字列	ユーザの氏名、名称	○
OCCUPATION	文字列	ユーザの業種	○
ADDRESS	住所	ユーザの住所、所在地	○
TEL	電話番号	ユーザの問い合わせ先電話番号	○
EMAIL	メールアドレス	ユーザのメールアドレス	○
DESCRIPTION	文字列	アカウントの説明	○
ACCOUNTGROUP	ユーザグループの ID	所属するユーザグループの ID。 カンマ区切りで複数指定できる。	○
PERMISSION_ACCOUNT_ADMIN	true/false	アカウント管理者権限	○
PERMISSION_METADATA_ADMIN	true/false	メタデータ管理者権限	○
PERMISSION_METADATA_INSERT	true/false	メタデータ登録権限	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

#### (4) アカウント情報更新機能

アカウント情報更新機能はパラメータで指定されたアカウント情報でパラメータで指定された ID のアカウントデータベース上のアカウント情報を更新する。

アカウント情報更新機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

アカウント情報更新機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にアカウント情報更新機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-4 アカウント情報更新機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ModifyAccountComplete	固定	○
ID	アカウント ID	更新対象のアカウントの ID	○
LOGINNAME	文字列	ログイン時に指定するユーザ ID	○
PASSWORD	文字列	ログイン時に指定するパスワード	○
USERNAME	文字列	ユーザの氏名、名称	○
OCCUPATION	文字列	ユーザの業種	○
ADDRESS	文字列	ユーザの住所、所在地	○
TEL	電話番号	ユーザの問い合わせ先電話番号	○
EMAIL	メールアドレス	ユーザのメールアドレス	○
DESCRIPTION	文字列	アカウントの説明	○
ACCOUNTGROUP	ユーザグループの ID	所属するユーザグループの ID。 カンマ区切りで複数指定できる。	○
PERMISSION_ACCOUNT_ADMIN	true/false	アカウント管理者権限	○
PERMISSION_METADATA_ADMIN	true/false	メタデータ管理者権限	○
PERMISSION_METADATA_INSERT	true/false	メタデータ登録権限	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者または更新対象ユーザでログインしている場合のみ実行できる。

(5) アカウント情報削除機能

アカウント情報削除機能はパラメータで指定された ID のアカウントをアカウントデータベースから削除する。

アカウント情報削除機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

アカウント情報削除機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にアカウント情報削除機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-5 アカウント情報削除機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	DeleteAccount	固定	○
IDS	アカウント ID	削除対象のアカウントの ID カンマ区切りで複数指定可能とする	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

(6) ユーザグループ情報一覧取得機能

ユーザグループ情報一覧取得機能はアカウントデータベースに登録されている全てのユーザグループ情報を取得する。  
ユーザグループ情報一覧取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。  
ユーザグループ情報一覧取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にユーザグループ情報一覧取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-6 ユーザグループ情報一覧取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ListAccountGroup	固定	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

(7) ユーザグループ情報取得機能

ユーザグループ情報取得機能はパラメータで指定されたグループ ID のユーザグループ情報をアカウントデータベースから取得する。  
ユーザグループ情報取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。  
ユーザグループ情報取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にユーザグループ情報取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-7 ユーザグループ情報取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	SelectAccountGroup	固定	○
ID	ユーザグループ ID	取得するユーザグループの ID	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

(8) ユーザグループ情報登録機能

ユーザグループ情報登録機能はパラメータで指定されたユーザグループ情報を新しいユーザグループとしてアカウントデータベースに登録する。  
ユーザグループ情報登録機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

ユーザグループ情報登録機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にユーザグループ情報登録機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-8 ユーザグループ情報登録機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	RegistAccountGroupComplete	固定	○
NAME	文字列	ユーザグループの名称	○
DESCRIPTION	文字列	ユーザグループの説明	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

#### (9) ユーザグループ情報更新機能

ユーザグループ情報更新機能はパラメータで指定されたユーザグループ情報でパラメータで指定された ID のアカウントデータベース情報ユーザグループ情報を更新する。

ユーザグループ情報更新機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

ユーザグループ情報更新機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にユーザグループ情報更新機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-9 ユーザグループ情報更新機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ModifyAccountGroupComplete	固定	○
ID	ユーザグループ ID	更新するユーザグループの ID	○
NAME	文字列	ユーザグループの名称	○
DESCRIPTION	文字列	ユーザグループの説明	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

#### (10) ユーザグループ情報削除機能

ユーザグループ情報削除機能はパラメータで指定された ID のユーザグループをアカウントデータベースから削除する。

ユーザグループ情報削除機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

ユーザグループ情報削除機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。



ない。

以下にユーザグループ情報削除機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.18-10 ユーザグループ情報削除機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	DeleteAccountGroup	固定	○
IDS	ユーザグループ ID	削除対象のユーザグループの ID カンマ区切りで複数指定可能とする	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

#### (11) メタデータ定型情報取得機能

メタデータ定型情報取得機能は、現在ログイン中のユーザのメタデータ定型情報をメタデータデータベースから取得する。

メタデータ定型情報取得機能は、REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

メタデータ定型情報取得機能は、リクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

表 3.18-11 メタデータ定型情報取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	GetUserMDTemp	固定	○
REDIRECTURL	フォワード先 URL	取得後に FOWARD するページの URL を指定する。	○

本機能は、メタデータ登録権限を持つアカウントでログインしている場合のみ実行できる。

#### (12) メタデータ定型情報保存機能

メタデータ定型情報保存機能は、現在ログイン中のユーザのメタデータ定型情報をメタデータデータベースに保存する。

メタデータ定型情報の形式は、メタデータ (JMP2.0) と同一の XML テキストとする。

メタデータ定型情報保存機能は、REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

メタデータ定型情報保存機能は、リクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

表 3.18-12 メタデータ定型情報保存機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
-------	---	----	----

REQUEST	UpdateUserMDTemp	固定	○
メタデータ項目に対応するパラメータ名	メタデータ項目の値	メタデータの各項目に対応するパラメータ名およびその値を指定する。	○
REDIRECTURL	リダイレクト先 URL	登録後に REDIRECT するページの URL を指定する。	○

本機能は、メタデータ登録権限を持つアカウントでログインしている場合のみ実行できる。

### 3.19. システム設定機能

システム設定機能は、

- ユーザインタフェースのヘッダ・フッタ情報の取得
- ユーザインタフェースのヘッダ・フッタ情報の更新
- ユーザインタフェースのヘッダ部に表示する外部リンクの取得
- ユーザインタフェースのヘッダ部に表示する外部リンクの更新を行う。

#### (1) ヘッダ・フッタ情報取得機能

ヘッダ・フッタ情報取得機能は「8.3 ヘッダ・フッタ情報設定ファイル」からユーザインタフェースに表示するヘッダ情報およびフッタ情報を取得する。

機能は REST 形式 (HTTP GET) のインタフェースで提供する。

機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にヘッダ・フッタ情報取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.19-1 ヘッダ・フッタ情報取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	GetHeaderFooter	固定	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

(2) ヘッダ・フッタ情報更新機能

ヘッダ・フッタ情報更新機能はパラメータで指定されたヘッダ情報およびフッタ情報を「8.3 ヘッダ・フッタ情報設定ファイル」に保存する。

機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にヘッダ・フッタ情報更新機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.19-2 ヘッダ・フッタ情報更新機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ModifyHeaderFooterComplete	固定	○
HEADER_TITLE	タイトル	ヘッダ部のタイトル	○
FOOTER_CONTACT_NAME	名称	フッタ部の運営者名	○
FOOTER_CONTACT_ADDRESS	住所	フッタ部の運営者住所	○
FOOTER_CONTACT_TELNO	電話番号	フッタ部の運営者電話番号	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

(3) 外部リンク取得機能

外部リンク取得機能は「8.4 リンク情報設定ファイル」からユーザインタフェースのヘッダ部に表示する外部リンクの情報を取得する。

外部リンク取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

外部リンク取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下に外部リンク取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.19-3 外部リンク取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ListLink	固定	○
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

#### (4) 外部リンク更新

外部リンク更新機能はパラメータで指定された外部リンク情報を「8.4 リンク情報設定ファイル」に保存する。

外部リンク更新機能は REST 形式(HTTP GET)のインタフェースで提供する。

外部リンク更新機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下に外部リンク更新機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.19-4 外部リンク更新機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
REQUEST	ModifyLinkComplete	固定	○
LINK_NAME_1	リンクのタイトル	1番目のリンクのタイトル	
LINK_URL_1	リンクの URL	1番目のリンクの URL	
LINK_NAME_2	リンクのタイトル	2番目のリンクのタイトル	
LINK_URL_2	リンクの URL	2番目のリンクの URL	
LINK_NAME_3	リンクのタイトル	3番目のリンクのタイトル	
LINK_URL_3	リンクの URL	3番目のリンクの URL	
LINK_NAME_4	リンクのタイトル	4番目のリンクのタイトル	
LINK_URL_4	リンクの URL	4番目のリンクの URL	
LINK_NAME_5	リンクのタイトル	5番目のリンクのタイトル	
LINK_URL_5	リンクの URL	5番目のリンクの URL	
RESPONSE	forward	固定	○
URL	URL	フォワード先の URL	○

本機能は、アカウント管理者でログインしている場合のみ実行できる。

### 3.20. 住所検索機能

住所検索機能はパラメータで指定された文字列を含む住所データを住所テーブルから検索し、結果を JSON 形式で返す。

住所検索機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

住所検索機能は詳細検索インターフェースの住所検索での利用を想定し、外部 API として公開はしない。

以下に住所検索機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.20-1 データランキング取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
v	文字列	住所検索を行う文字列	○

### 3.21. アクセス制限管理機能

アクセス制限管理機能はメタデータのアクセス制限の設定およびアクセスを許可するホスト・リファラの設定を行う。

#### (1) メタデータアクセス制限設定機能

メタデータアクセス制限設定機能はメタデータごとのアクセス制限の有無を設定する。

メタデータアクセス制限設定機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

メタデータアクセス制限設定機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下にメタデータアクセス制限設定機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.21-1 メタデータアクセス制限設定機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	UpdateMetadataRestriction	固定	○
METADATAID	メタデータ ID	複数指定可能	○
RESTRICTMODE	1/0	1: 制限あり 0: 制限なし METADATAID パラメータと同数だけ指定する	○
REDIRECTURL	フォワード先 URL	取得後に FOWARD するページの URL を指定する。	○

本機能は、メタデータ管理者でログインしている場合のみ実行できる。

#### (2) 許可ホスト取得機能

許可ホスト取得機能は制限されたメタデータへのアクセスを許可されたホスト・リファラを取得する。

許可ホスト取得機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。

許可ホスト取得機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下に許可ホスト取得機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.21-2 許可ホスト取得機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	GetAllowHosts	固定	○
REDIRECTURL	フォワード先 URL	取得後に FOWARD するページの URL を指定する。	○

本機能は、メタデータ管理者でログインしている場合のみ実行できる。

#### (3) 許可ホスト設定機能

許可ホスト設定機能は制限されたメタデータへのアクセスを許可されたホスト・リファラを設定する。  
 許可ホスト設定機能は REST 形式 (HTTP GET) のインターフェースで提供する。  
 許可ホスト設定機能はリクエストフォワードによるサーバサイドでの利用のみ可能で、外部 API として公開はしない。

以下に許可ホスト設定機能のリクエストパラメータを示す。

表 3.21-3 許可ホスト設定機能リクエストパラメータ

パラメータ	値	説明	必須
SERVICE	CSW	固定	○
VERSION	2.0.2	固定	○
REQUEST	UpdateAllowHosts	固定	○
HOSTNAME	ホスト名または IP アドレス	複数指定可能 REFERER とどちらか一方が空文字でもよい。	○
REFERER	リファラ URL	HOSTNAME パラメータと同数指定すること。 REFERER とどちらか一方が空文字でもよい。	○
COMMENT	文字列	設定ホスト名やリファラに関する任意のコメント HOSTNAME パラメータと同数指定すること。 空文字でもよい。	○
REDIRECTURL	フォワード先 URL	取得後に FOWARD するページの URL を指定する。	○

本機能は、メタデータ管理者でログインしている場合のみ実行できる。



## 4. ユーザインタフェース

災害リスク情報システムのユーザインタフェースの詳細を以降に定義する。

### 4.1. ページ構成

ユーザインタフェースは、以下のページで構成される。

いずれのページとも共通インタフェース(ヘッダ部およびフッタ部)を持つものとする。

- トップページ
- 検索結果一覧ページ
- メタデータ詳細ページ
- 地図表示ページ
- 新着データ一覧ページ
- データランキング一覧ページ
- おすすめデータ一覧ページ
- キーワードランキングページ
- マイデータページ

また、各ページから常時利用可能な機能のインタフェースとして以下のサブページがある。

サブページは一部を除き前述の各ページ上にポップアップ表示される。

- ログインサブページ
- アカウント情報サブページ
- メタデータ登録・更新・削除サブページ
- 問い合わせサブページ
- アカウント管理サブページ
- システム設定サブページ
- メタデータ管理サブページ
- アクセス制限管理サブページ

以降で各ページの詳細について定義する。

## 4.2. 共通インターフェース

共通インターフェースはページ上部と下部に分かれて存在し、上部をヘッダ部、下部をフッタ部と呼ぶ。



ページごとのコンテンツを表示



図 4.2-1 共通インターフェース

### (1) ヘッダ部

ヘッダ部には、以下の内容を表示またはインターフェースを用意する。

- システム設定機能で設定されたシステムのタイトル
- トップページへのリンク(タイトルをトップページへのリンクとする)
- 簡易検索インターフェース
- 詳細検索インターフェースを呼び出すためのリンク
- ログイン中の場合は現在ログインしているユーザ名
- 未ログインの場合はログインのためのリンク
- ログイン中の場合は権限に応じて利用可能な機能へのリンクおよびログアウトのリンク
- サイトに関する問い合わせを行うリンク
- システム設定機能で設定された外部リンク

ログイン中のアカウントの権限に応じたリンクは以下の通りとする。

- 権限なし
  - アカウント情報
- メタデータ登録権限あり
  - アカウント情報
  - マイデータ
- メタデータ管理者権限あり
  - アカウント情報
  - マイデータ
  - メタデータ管理

- アクセス制限管理
- アカウント管理者権限あり
  - アカウント管理
  - 設定

(2) フッタ部

フッタ部には、システム設定機能で設定された運営者情報を表示する。

(3) 簡易検索インターフェース

簡易検索インターフェースは、利用者が常に簡単な操作でメタデータを行うための以下の項目を用意する。

- キーワード
  - 利用者が自由にキーワードを入力できるテキストボックス。
  - 拡張検索機能の KEYWORD パラメータに指定する値。
- 災害区分
  - 定義済みの災害区分コードから1つ選択するコンボボックス。
  - 拡張検索機能の DISASTERTYPE パラメータに指定する値。
- 検索ボタン
  - 拡張検索機能を呼出し結果を表示するために検索結果一覧ページに遷移する。

#### (4) 詳細検索インターフェース

詳細検索インターフェースはページ表示直後は非表示とし、「高度な検索」リンクのクリックでページ内に表示される。

図 4.2-2 詳細検索インターフェース

この画面では以下の検索条件を指定できる。

- キーワード(すべて含む)  
拡張検索機能の KEYWORD パラメータに指定する値。
- キーワード(いずれかを含む)  
拡張検索機能の KEYWORDOR パラメータに指定する値。
- キーワード(含まない)  
拡張検索機能の KEYWORDNOT パラメータに指定する値。
- 地域指定  
拡張検索機能の BBOX パラメータに指定する値。  
利用者が地図上で矩形を指定する。  
地図の表示には OpenLayers (<http://openlayers.org/>) を使用する。
- 災害区分  
拡張検索機能の DISASTERTYPE パラメータに指定する値。  
複数選択可能とする。
- 予定メタデータ  
拡張検索機能の INCLUDEPLANNED パラメータの指定する値。
- 期間(作成日、更新日)  
拡張検索機能の TERMTYPE および TERM パラメータに指定する値。

- 期間(データが対象とする期間)  
拡張検索機能の DATATERM パラメータに指定する値。
- その他(評価で絞り込む)  
拡張検索機能の RATING パラメータに指定する値。
- 住所検索  
検索条件ではなく、入力した値に一致する住所検索の結果から選択した住所(県、市区町村、字町名)の範囲矩形を地図上で自動選択するためのインターフェース。  
入力された文字に対して住所検索機能呼び出して得られた結果を一覧表示し、ユーザに選択させる。
- 検索ボタン  
拡張検索機能を出し結果を表示するために検索結果一覧ページに遷移する。

### 4.3. トップページ

トップページは災害リスク情報クリアリングハウスを起動して最初に表示されるページである。

トップページには以下のコンテンツを表示する。

- 新着データ
- 注目のデータ
- おすすめ
- 注目のキーワード

また、メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合は以下のコンテンツも表示する。

- マイデータ

以下にトップページの表示例を示す。

新着データ	もっと見る	注目のキーワード 詳細なランキング
 <p><b>土地利用方針図(綾里地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。</p>	<p>評価: なし 参照回数: 773 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局</p>	<p>地震 水害 土砂 愛知県 65歳以上 人口 津波 噴火 鉄ヶ島市 つくば市 迅速 小学校 静岡県推定 静岡県 気象</p>
 <p><b>土地利用方針図(末崎地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。</p>	<p>評価: なし 参照回数: 2917 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局</p>	
注目のデータ	詳細なランキング	
 <p><b>吉良町地震防災ハザードマップ</b> 「地震防災ハザードマップ」は、防災施設や災害危険箇所などの災害情報を地図上に表示したものです。</p>	<p>評価: なし 参照回数: 1 (グラフ) 更新日: 2006-03-01 作成者: 吉良町</p>	
 <p><b>土地利用方針図(末崎地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。</p>	<p>評価: なし 参照回数: 1 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局</p>	
おすすめ	もっと見る	
 <p><b>蕨市洪水ハザードマップ</b> この地図は、境川、引地川、目九尻川、小出川が大雨によって増水し、堤防の決壊などにより水があふれた場合に想定される浸水区域とその程度、避難場所等を示した地図です。</p>	<p>評価: 5.0 参照回数: 17306 (グラフ) 更新日: 2009-06-30 作成者:</p>	
 <p><b>愛知県震度ハザードマップ</b> このハザードマップは、愛知県に最も大きな被害を与えると想定される東海・東南海地震連動時における震度の予測値を表示したマップです。東海・東南海地震連動は、渥美・知多半島の多くで震度6強以上、東三河、濃尾平野で6弱以上の揺れが想定されています。</p>	<p>評価: 5.0 参照回数: 78181 (グラフ) 更新日: 2008-04-07 作成者: 愛知県防災局</p>	

図 4.3-1 トップページ

(1) 新着データ

新着データは、新着データ取得機能により取得した、過去1週間以内に更新されたメタデータを新しい順に最大5件表示する。

タイトル部「もっと見る」リンクにより新着データ一覧ページに遷移する。

(2) 注目のデータ

注目のデータは、データランキング取得機能により取得した、過去1週間以内の参照回数の多いメタデータを回数順に最大5件表示する。

タイトル部「詳細なランキング」リンクによりデータランキング一覧ページに遷移する。

(3) おすすめ

おすすめは、おすすめデータ取得機能により取得した、お勧めのメタデータを最大5件表示する。

タイトル部「もっと見る」リンクによりおすすめデータ一覧ページに遷移する。

(4) 注目のキーワード

注目のキーワードは、キーワードランキング取得機能で取得した、過去1週間以内に検索条件として指定された回数の多いキーワードをタグクラウド形式で最大50件表示する。

タグクラウドに表示される順序は、最後に検索条件に指定された日時降順とし、タグの文字の大きさは検索条件に指定された回数に応じて変える。

表示されている各キーワードは、そのキーワードを条件(KEYWORD)として拡張検索機能を呼び出すリンクとなっている。

タイトル部「詳細なランキング」リンクによりキーワードランキングページに遷移する。

(5) マイデータ

マイデータは、メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合のみ表示する。

マイデータには、マイデータ取得機能で取得した、現在ログイン中のユーザが登録したメタデータを最大 5 件表示する。

タイトル部「全て見る」リンクによりマイデータ一覧ページに遷移する。

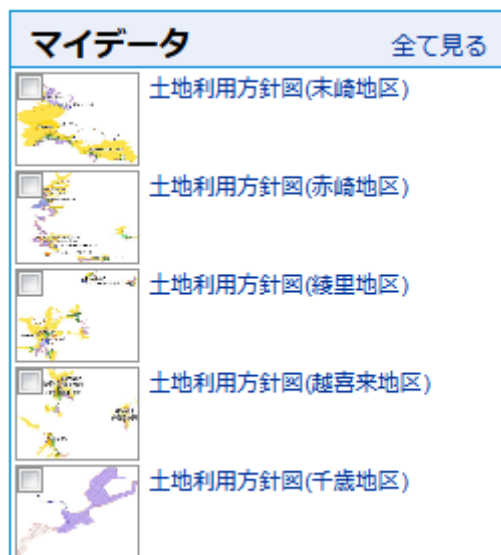


図 4.3-2 マイデータ(データあり)

メタデータをまだ登録していない場合は、タイトル部「すべて見る」リンクの代わりに「新規登録」リンクを表示する。

「新規登録」リンクによりマイデータ一覧ページに遷移し、メタデータ登録サブページを表示する。

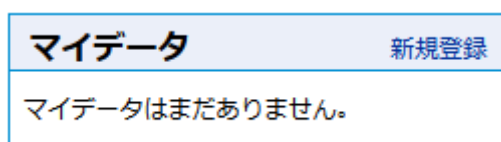


図 4.3-3 マイデータ(データなし)



(6) クイックリスト

利用者がデータ一覧から選択したメタデータがある場合はクイックリストとしてページ右側に常に一覧表示する。

選択メタデータが無い場合は何も表示しない。

クイックリストの内容はブラウザを終了するまで保持する。

以下にクイックリストの例を示す。

クイックリスト		地図で見る
	全ての地震の地震動予測地図(確率の分布,震度5弱)	X
	あめりすく浸水予測(2004年10月9日)	X
	あめりすく総合危険度予測(2004年10月9日)	X

図 4.3-4 クイックリスト

クイックリストにはデータのサムネイルおよびタイトルを表示する。

サムネイルおよびタイトルは、クリックすることでデータ詳細ページにする。

リスト末尾の「x」ボタンにより一覧から削除する。

タイトル部「地図で見る」から地図表示ページに遷移する。

#### 4.4. 一覧表示内容

災害リスク情報クリアリングハウスで表示するメタデータ一覧

- トップページ(新着データ、注目のデータ、おすすめ)
- 検索結果一覧
- 新着データ一覧
- データランキング一覧
- おすすめデータ一覧
- マイデータ一覧

には、以下の内容を表示する。

- メタデータに記述されているデータのサムネイルのイメージ
- メタデータに記述されているデータのタイトル
- メタデータに記述されているデータの要約
- メタデータの評価の平均
- メタデータの参照回数
- メタデータに記述されているデータの更新日(データ識別の作成日、刊行日、改訂日のいずれか新しいもの)
- メタデータの状態(完成、予定メタデータ等)
- メタデータに記述されているデータの問い合わせ先機関名

上記のうち、サムネイル画像およびタイトルは当該データのデータ詳細ページを表示するためのリンクとなっていて、クリックすることでデータ詳細ページに遷移する。

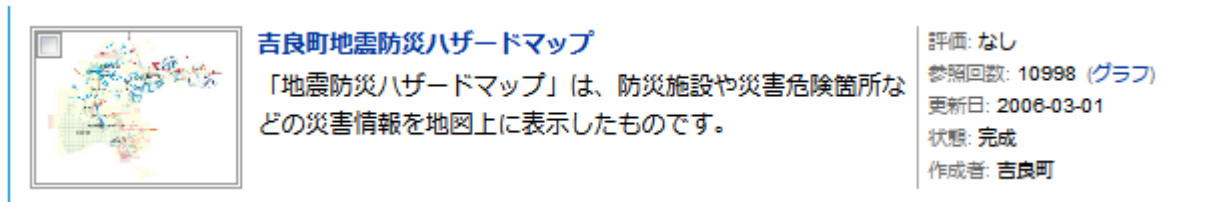


図 4.4-1 一覧表示内容

また、以下のページで表示される簡略版のメタデータ一覧

- トップページ他(マイデータ)
- 詳細ページ(関連データ、こんなデータも見られています)
- 地図表示ページ(関連データ、こんなデータも見られています)

には、以下の内容を表示する。

- メタデータに記述されているデータのサムネイルのイメージ
- メタデータに記述されているデータのタイトル
- 上記のうち、サムネイル画像およびタイトルは当該データのデータ詳細ページを表示するためのリンクとなっていて、クリックすることでデータ詳細ページに遷移する。

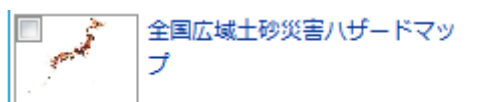


図 4.4-2 簡略一覧表示内容

サムネイル上にはメタデータを選択しクイックリストに追加するためのチェックボックスを用意する。

選択済みのメタデータのサムネイルにはチェックボックスを表示せず、また選択済みであることが分かるように「選択済」と表示する。

以下に選択済みのメタデータの表示例を示す。


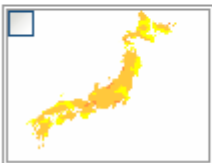
	<b>あめりすく総合危険度予測(2004年10月9日)</b> あめりすくによる2004年10月9日の総合危険度予測図です。	評価: 3.0 参照回数: 49 更新日: 2009-02-09 作成者: 防災科学研究所
<input type="checkbox"/> 	<b>主要活断層帯以外の活断層に発生する地震の全ての地震動予測地図(確率の分布,震度5弱)</b> 主要活断層帯以外の活断層に発生する地震の全てを考慮した震度5弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(確率、平均ケース、期間30年、基準日2005年1月1日)	評価: 4.6 参照回数: 12 更新日: 2005-01-01 作成者: 防災科学技術研究所

図 4.4-3 選択済みのデータ

メタデータの登録権限を持つユーザでログイン中に、一覧にユーザが登録したメタデータを表示する場合は、それが分かるように「マイデータ」と表示する。

以下にマイデータの表示例を示す。



<input type="checkbox"/> 	<b>土地利用方針図(赤崎地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 610 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局
<input type="checkbox"/> 	<b>土地利用方針図(吉浜地区)</b>	

図 4.4-4 マイデータの表示

権限の有無に関わらず、ログイン中に一覧表示されるメタデータの公開状態を表示する。

表示される公開状態は以下のいずれか。

この表示によりマイデータの公開状態を確認することも可能となる。

「一般公開」

「ログイン公開」

「グループ公開」

「非公開」

ログインしていない場合は、表示されるメタデータは全て一般公開されているため、公開状態の表示は行わない。



#### 土地利用方針図(越喜来地区)

復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組めます。

評価: なし  
参照回数: 1432 (グラフ)  
更新日:  
状態: 計画済み  
作成者: 大船渡市役所 災害復興局



#### 土地利用方針図(千歳地区)

図 4.4-5 公開状態の表示

#### 4.5. 検索結果一覧ページ

検索結果表示ページ一覧ページには、簡易検索または詳細検索インタフェース等から拡張検索機能を呼び出した結果のメタデータ一覧を表示する。

検索結果表示ページには以下の内容を表示する。

- ページのタイトル
- データ一覧の表示されている順序と順序を並び替えるためのインタフェース
- 検索されたデータの総数と現在表示されているデータの件数
- 検索されたデータの一覧
- 検索された結果が20件を超える場合はページを切り替えるためのインタフェース
- 関連検索キーワード
- メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合はマイデータ一覧(簡易一覧)

検索条件に該当するメタデータが得られなかった場合は、データ一覧の代わりにデータが得られなかった旨のメッセージを表示する。

以下に検索結果表示ページの表示例を示す。

関連検索: [洪水 浸水](#)

"洪水" の検索結果		並び替え: 関連度 ▼	1-20件目 / 69件
	<p><b>延岡市洪水ハザードマップ</b></p> <p>この地図は、北川・祝子川・五ヶ瀬川・大瀬川が大雨によって増水し、堤防が決壊したと仮定した場合と過去の浸水実績に基づいて、浸水する範囲とその程度および各地区の避難施設を示した地図です。</p>	<p>評価: なし            参照回数: 483 (グラフ)            更新日: 2007-03-31            作成者: 延岡市</p>	
	<p><b>関市堤防が決壊してからの洪水到達時間図</b></p> <p>この図は、長良川の堤防が決壊したり、越水してから洪水が到達するまでの時間を示しています。大部分の区域は、1時間以内または、1～2時間以内に洪水が到達します。このため早めの避難が必要になります。</p>	<p>評価: なし            参照回数: 1333 (グラフ)            更新日: 2002-10-01            作成者:</p>	
	<p><b>津市洪水ハザードマップ(相川・天神川流域)</b></p> <p>このハザードマップは、相川及び天神川が大雨によって洪水になった場合の浸水予測結果(三重県作成)に基づいて、流域で予想される浸水範囲とその程度や、各地域の避難所等を示したものです。</p>	<p>評価: なし            参照回数: 0 (グラフ)            更新日: 2008-07-01            作成者: 津市</p>	
～ 中略 ～			
	<p><b>関市長良川洪水ハザードマップ</b></p> <p>このマップは、長良川が大雨によって増水し、堤防が決壊したり、越水したりした場合の浸水の広がる範囲、浸水深、浸水到達時間などを予測し、避難の必要な地域や避難場所などを示したものです。この浸水想定区域図は、長良川の整備目標である既往最大洪水(昭和35年8月の洪水実績)の再来により、長良川が氾濫した場合、浸水が想定される区域ならびに浸水深などを示したものです。</p>	<p>評価: なし            参照回数: 4 (グラフ)            更新日: 2002-10-01            作成者:</p>	

1 2 3 4 次へ

図 4.5-1 検索結果一覧ページ

(1) ページ切り替え

検索結果の件数にかかわらず、一覧ページには最大 20 件のメタデータを表す。

20 件を超える検索結果が得られた場合はページ切り替えのためのインターフェースを表示する。

以下にページ切り替えインターフェースの例を示す。



図 4.5-2 ページ切り替えインターフェース

検索結果の先頭から20件を表示するページを1ページ目とし、以下順に2ページ目、3ページ目として、ページ切り替えインターフェースには、現在表示中のページと、その前後合わせて10ページ程度のページに該当する検索結果の一覧を表示するためのリンクを用意する。

同時に、現在表示中のページの前後のページを表示するためのリンクを用意する。

(2) データの並び替え

検索結果が最初に表示される際には、一覧の表示順序は検索条件とメタデータの関連度の大きいものから表示する。

加えて以下の順序で並び替えを行うインターフェースを用意する。

- 検索条件とデータの関連度降順
- データの参照回数降順
- データの更新日降順
- データの評価降順

以下に並び替えインターフェースの例を示す。

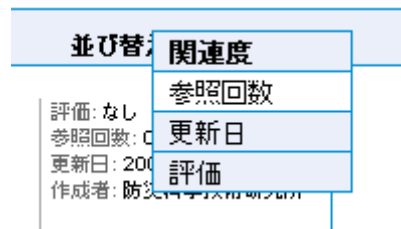


図 4.5-3 並び替えインターフェース

並び替えが行われた場合は、並び替えた結果による先頭の20件を表示する。

### (3) 関連検索キーワード

以下に該当する場合に関連検索キーワードを表示する。

- 検索条件にキーワード(AND 条件)が1つだけ指定された。
- 検索結果が1件以上得られた
- 過去 1 週間以内に指定されたキーワードと AND 条件で組み合わせて検索されたキーワードがある

以下に関連検索キーワードの表示例を示す。

関連検索: 地震動予測 東海地震 地震動予測 地表の歪度の分布 地震動予測 確率の分布

図 4.5-4 関連検索キーワード

各キーワードは、その組み合わせをキーワード条件として指定した条件検索を行い検索結果一覧ページへ遷移する。キーワードの組み合わせのうち、現在の検索のキーワードとして指定されているものは太字で表示する。

### (4) 検索条件の保存

検索結果一覧ページの簡易検索および詳細検索インタフェースには、現在の検索結果となった条件をあらかじめ設定しておく。

#### 4.6. 新着データ一覧ページ

新着データ一覧ページは、トップページの新着データのタイトル部「もっと見る」リンクのクリックから遷移する。

新着データ一覧ページは、新着データ機能により取得した、指定期間内に作成または更新されたメタデータの一覧を表示する。

新着データ一覧ページには、ヘッダ部フッタ部を除き以下の内容を表示する。

- ページのタイトル
- 新着の期間を変更するためのリンク
- 新着データの一覧
- 取得された結果が20件を超える場合はページを切り替えるためのインターフェース
- メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合はマイデータ一覧（簡易一覧）

指定期間に作成または更新されたデータが存在しない場合は、一覧の代わりにデータが得られなかった旨のメッセージを表示すること。

以下に新着データ一覧ページの表示例を示す。

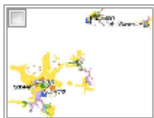
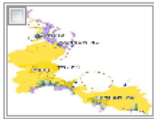
新着データ		1週間以内	1ヶ月以内	1年以内
	<b>土地利用方針図(綾里地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 773 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局		
	<b>土地利用方針図(未崎地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 2917 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局		

図 4.6-1 新着データ一覧ページ



(1) ページ切り替え

新着データの件数にかかわらず、一覧ページには最大 20 件のメタデータを表す。

20 件を超える検索結果が得られた場合は「4.5(1)ページ切り替え」と同様のページ切り替えのためのインターフェースを表示する。

(2) 期間の変更

最初に新着データ一覧ページが表示された際には、過去一週間以内のデータを表示する。

加えて新着の期間を変更するためのインターフェースを用意する。

新着の期間は、以下のいずれかから選択する。

- 現在の日付を基準として、過去1週間以内
- 同、過去1ヶ月以内
- 同、一年以内

以下に期間の変更を行うインターフェースの例を示す。

この例では、現在表示している期間を太字で表示し、変更可能な期間を変更を行うためのリンクとして表示している。



図 4.6-2 期間変更インターフェース

期間の変更が行われた場合は、先頭の20件を表示する。

#### 4.7. データランキング一覧ページ

データランキング一覧ページは、トップページの注目のデータのタイトル部「詳細なランキング」リンクのクリックから遷移する。

データランキング一覧ページは、データランキング取得機能により取得した、指定期間内に参照されたメタデータを参照回数の多い順に一覧表示する。

データランキング一覧ページには、ヘッダ部フッタ部を除き以下の内容を表示する。

- ページのタイトル
- 一覧を表示する期間を変更するためのリンク
- メタデータの一覧
- 取得された結果が20件を超える場合はページを切り替えるためのインターフェース
- メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合はマイデータ一覧(簡易一覧)

指定期間に参照されたデータが存在しない場合は、データ一覧の代わりにデータが得られなかった旨のメッセージを表示する。

以下にデータランキングページの表示例を示す。

データランキング		1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	全て
	<p><b>静岡県推定液状化危険度図 (東海地震)</b></p> <p>本図は、想定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される地盤の液状化危険度を4階級に区分したものである。</p>	評価: なし 参照回数: 31 (グラフ) 更新日: 2001-01-01 作成者: 静岡県			
	<p><b>見附市災害ハザードマップ</b></p> <p>この災害ハザードマップは平成16年7月13日豪雨 (1日間の流域平均総雨量 399.1mm) の再現により刈谷田川が破壊・氾濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションし、浸水範囲とその深さおよび、各地区の避難所施設的位置等を表示しています。</p>	評価: なし 参照回数: 17 (グラフ) 更新日: 2006-01-01 作成者: 見附市			
	<p><b>吉良町地震防災ハザードマップ</b></p> <p>「地震防災ハザードマップ」は、防災施設や災害危険箇所などの災害情報を地図上に表示したものです。</p>	評価: なし 参照回数: 1 (グラフ) 更新日: 2006-03-01 作成者: 吉良町			
	<p><b>確率論的地震動予測地図 (2005年度版)</b></p> <p>30年以内に地震に見舞われる確率を地図にしたもの。データは1km (3次) メッシュ。</p>	評価: なし 参照回数: 1 (グラフ) 更新日: 2005-01-01 作成者: 独立行政法人防災科学技術研究所防災システム研			
	<p><b>確率論的地震動予測地図 (2006年度版)</b></p> <p>30年以内に地震に見舞われる確率を地図にしたもの。データは1km (3次) メッシュ。</p>	評価: なし 参照回数: 1 (グラフ) 更新日: 2006-01-01 作成者: 独立行政法人防災科学技術研究所防災システム研			
	<p><b>土地利用方針図 (末崎地区)</b></p> <p>復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。</p>	評価: なし 参照回数: 1 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局			

図 4.7-1 データランキング一覧ページ

(1) ページ切り替え

取得したデータの件数にかかわらず、一覧ページには最大 20 件のメタデータを表す。

20 件を超える結果が得られた場合は「4.5(1)ページ切り替え」と同様のページ切り替えのためのインターフェースを表示する。

(2) 期間の変更

最初にデータランキング一覧ページが表示された際には、過去一週間以内に参照されたメタデータを表示する。

加えてランキングの期間を変更するためのインターフェースを用意する。

ランキングの期間は、以下のいずれかから選択する。

- 現在の日付を基準として、過去1週間以内
- 同、過去1ヶ月以内
- 同、一年以内
- 全て(本システムが稼動してからの全期間)

以下に期間の変更を行うインターフェースの例を示す。

この例では、現在表示している期間を太字で表示し、変更可能な期間を、変更を行うためのリンクとして表示している。

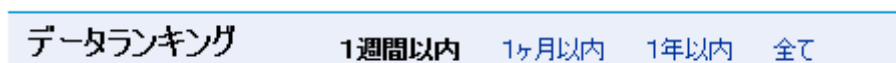


図 4.7-2 期間変更インターフェース

期間の変更が行われた場合は、先頭の20件を表示する。

#### 4.8. おすすめデータ一覧ページ

おすすめデータ一覧ページは、トップページのおすすめのタイトル部「もっと見る」リンクのクリックから遷移する。  
おすすめデータ一覧ページは、おすすめデータ取得機能により取得したおすすめデータの一覧を表示する。  
おすすめデータ一覧ページには、ヘッダ部フッタ部を除き以下の内容を表示する。

- ページのタイトル
- メタデータの一覧
- 取得された結果が20件を超える場合はページを切り替えるためのインターフェース
- メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合はマイデータ一覧(簡易一覧)

おすすめデータが存在しない場合は、データ一覧の代わりにデータが得られなかった旨のメッセージを表示する。  
以下におすすめデータ一覧ページの表示例を示す。

おすすめデータ		
	<b>あめリスク総合危険度予測 (2004年10月9日)</b> あめリスクによる2004年10月9日の総合危険度予測図です。	評価: 5.0 参照回数: 8 (グラフ) 更新日: 2009-02-04 作成者: 防災科学研究所
	<b>全ての地震の地震動予測地図 (確率の分布, 震度5強)</b> 全ての地震を考慮した震度5強以上の揺れに見舞われる確率の分布図 (確率、最大ケース、期間30年、基準日2009年1月1日)	評価: 5.0 参照回数: 6325 (グラフ) 更新日: 2009-01-01 作成者: 防災科学技術研究所
	<b>藤沢市洪水ハザードマップ</b> この地図は、境川、引地川、目九尻川、小出川が大雨によって増水し、堤防の決壊などにより水があふれた場合に想定される浸水区域とその程度、避難場所等を示した地図です。	評価: 5.0 参照回数: 17306 (グラフ) 更新日: 2009-06-30 作成者:
	<b>愛知県震度ハザードマップ</b> このハザードマップは、愛知県に最も大きな被害を与えると想定される東海・東南海地震運動時における震度の予測値を表示したマップです。東海・東南海地震運動は、渥美・知多半島の多くで震度6強以上、東三河、濃尾平野で6弱以上の揺れが想定されています。	評価: 5.0 参照回数: 76171 (グラフ) 更新日: 2008-04-07 作成者: 愛知県防災局

図 4.8-1 おすすめデータ一覧ページ

##### (1) ページ切り替え

取得したデータの件数にかかわらず、一覧ページには最大 20 件のメタデータを表す。

20 件を超える結果が得られた場合は「4.5(1)ページ切り替え」と同様のページ切り替えのためのインターフェースを表示する。

#### 4.9. マイデータ一覧ページ

マイデータ一覧ページは、メタデータ登録権限を持つユーザでログインした場合にトップページ等に表示されるマイデータのタイトル部「全て見る」リンクのクリックから遷移する。

マイデータ一覧ページは、ユーザが登録したメタデータの一覧を表示する。

おすすめデータ一覧ページには、ヘッダ部フッタ部を除き以下の内容を表示する。

- ページのタイトル
- メタデータの一覧
- 取得された結果が20件を超える場合はページを切り替えるためのインターフェース
- 新規にメタデータの登録を開始するためのリンク

登録済みのメタデータが存在しない場合は、一覧の代わりに登録データが無い旨のメッセージを表示する。

以下にマイデータ一覧ページの表示例を示す。

### マイデータ

	<b>マイデータ</b> <b>土地利用方針図(末崎地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 2917 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局
	<b>マイデータ</b> <b>土地利用方針図(赤崎地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 610 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局
	<b>マイデータ</b> <b>土地利用方針図(綾里地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 773 (グラフ) 更新日: 2013-8-10 作成者: 大船渡市役所 災害復興局
	<b>マイデータ</b> <b>土地利用方針図(越喜来地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 690 (グラフ) 更新日: 作成者: 大船渡市役所 災害復興局
	<b>マイデータ</b> <b>土地利用方針図(千歳地区)</b> 復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	評価: なし 参照回数: 735 (グラフ) 更新日: 作成者: 大船渡市役所 災害復興局

新規登録...

1 2 次へ

図 4.9-1 マイデータ一覧ページ

##### (1) ページ切り替え

取得したデータの件数にかかわらず、一覧ページには最大 20 件のメタデータを表す。

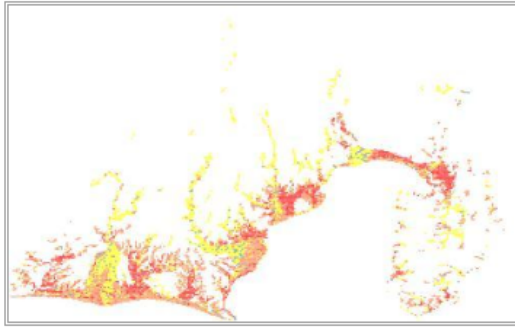
20 件を超える結果が得られた場合は「4.5(1)ページ切り替え」と同様のページ切り替えのためのインターフェースを表示する。

#### 4.10. メタデータ詳細ページ

メタデータ詳細ページは、メタデータ一覧または簡易メタデータ一覧のサムネイルまたはタイトルのクリックから遷移する。メタデータ詳細ページには、CSW 機能 (GetRecordById リクエスト) により取得したメタデータの内容を表示する。メタ詳細ページには、ヘッダ部フッタ部を除き以下の内容を表示する。

- メタデータのタイトルや概要を表す図、要約、作成者等メタデータの内容の抜粋
- マイデータおよび公開状態 (一般公開、ログイン公開、グループ公開、非公開)
- メタデータの評価および利用者が評価を与えるためのインタフェース
- メタデータのこれまでの参照回数
- メタデータの災害区分
- 完成、予定メタデータ等の状態
- 表示中のメタデータと関連度の高いメタデータの一覧 (関連データ)
- 表示中のメタデータと合わせて参照されることの多いメタデータの一覧 (こんなデータも見られています)
- さらに詳細な XML 形式に合わせたメタデータの詳細を表示するためのリンク
- メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合で表示中のメタデータがユーザが登録したメタデータである場合は、メタデータの編集を開始するためのリンク
- 地図で表示可能なデータの場合は地図表示ページへ遷移するためのリンク
- クイックリストに追加するためのリンク
- メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合はマイデータ一覧 (簡易一覧)

以下にデータ詳細ページの表示例を示す。



地図で見る  
クリックリストに追加

本図は、想定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される地盤の液状化危険度を4階級に区分したものである。

評価: なし このデータを評価:   
 これまでの参照回数: 15707 (グラフ表示)

作成者: 静岡県  
 データ更新日: 2001-01-01  
 メタデータ更新日: 2001-01-01  
 システム登録日時: 2010-06-17 00:00:00

災害区分: 指定なし

このデータが作成された目的:  
 静岡県内の沖積平野で収集した既存の地質ボーリング柱状図資料(約17,000本)を基に、「道路橋指方書・同解説V耐震設計編(平成8年12月)」の液状化判定式(FL法)による判定を行い、地域毎の平均値を求めた。地質ボーリング柱状図資料の無い地域については表層地盤区分を基に判定した。

データの状態: 完成

関連リンク:  
<http://bousai-shizuoka.jp/assist2/damageSimulation/DamageSimulationMap.do?selectedMenuItemID=500087>

関連キーワード:  
 中部地方, 静岡県地震, 静岡県推定液状化危険度図（東海地震）, 液状化危険度図, 液状化危険度

データアクセスURL:  
 (WMS)  
[http://114.160.74.30/tosihisa\\_nied/servlet/NIEDProxyService?ID=159033&SERVICE=wms](http://114.160.74.30/tosihisa_nied/servlet/NIEDProxyService?ID=159033&SERVICE=wms)

関連データ

- 愛知県液状化危険度ハザードマップ
- 静岡県推定火災延焼危険度図
- 静岡県山・崖崩れによる推定建物被害率図（東海地震）
- 静岡県推定津波浸水域図
- 静岡市防災ハザードマップ
- 浜松市防災マップ
- 狩野川流域治水地形分類図
- 愛知県震度ハザードマップ
- 岐阜県液状化危険度分布図（東南海地震）
- 岐阜県建物被害図（東海地震・揺れの強さの幅を見込んだ場合）

こんなデータも見られています

- 数値地図25000(土地条件)
- 確率論的地震動予測地図（2005年度版）
- 土地利用方針図(未崎地区)

図 4.10-1 メタデータ詳細ページ

### (1) メタデータの内容の表示

メタデータに記述された内容のうち、以下のものを表示する。

- タイトルをページのタイトルとして表示する
- 概要の図示をデータの概要を表す図として、可能な限り大きく表示する
- 要約をデータの概要を説明する文として表示する
- データの問い合わせ先の機関名を作成者として表示する
- データの作成日、刊行日、改訂日のいずれか新しいものを更新日として表示する
- 状態をデータの状態として表示する
- データの問い合わせ先のオンライン情報源のリンクがもしあれば、関連リンクとして表示する
- 記述的キーワードを関連キーワードとして表示する

### (2) データの評価

利用者が詳細を表示しているデータの評価を与えるためのインターフェースを用意する。

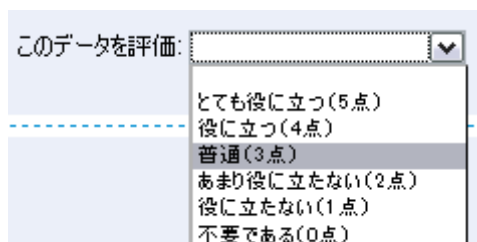


図 4.10-2 データ評価インターフェースの例

利用者が評価を選択後、データ評価機能呼び出して評価を保存し、評価結果(評価の平均)を表示する。

### (3) 関連データ

詳細表示中のメタデータと関連度の高いメタデータを、関連データ取得機能により取得し、簡易一覧として表示する。

一覧は関連度の大きい順に表示する。

### (4) こんなデータも見られています

詳細表示中のメタデータと合わせて参照されることの多いメタデータを、同時参照データ取得機能により取得し、簡易一覧として表示する。

一覧は同時参照回数が多い順に表示する。



(5) メタデータの詳細

メタデータの全項目をメタデータの詳細として、現在のページに重ね合わせて表示する。

表示内容は、メタデータの構造に合わせた形式とする。

以下にメタデータの詳細の表示例を示す。

メタデータの詳細		閉じる
<b>言語</b>		
言語コード	jpn	
文字集合	EUC_JP(024)	
<b>問合せ先</b>		
組織名	防災科学技術研究所	
<b>問い合わせ情報</b>		
<b>オンライン情報源</b>		
リンク	<a href="http://www.bosai.go.jp/">http://www.bosai.go.jp/</a>	
役割	問い合わせ先(007)	
メタデータ規格の名称	JMP	
メタデータ規格の版	2.0	
<b>識別情報</b>		
<b>データ識別</b>		
<b>引用</b>		
タイトル	主要活断層帯以外の活断層に発生する地震の全ての地震動予測地図(確率の分布,震度6弱)	
<b>日付</b>		
日付	2005-01-01	
日付型	作成日(001)	
<b>日付</b>		
日付	2005-01-01	
日付型	改訂日(003)	
要約	主要活断層帯以外の活断層に発生する地震の全てを考慮した震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(確率、平均ケース、期間30年、基準日2005年1月1日)	
<b>問合せ先</b>		
組織名	防災科学技術研究所	
<b>問い合わせ情報</b>		
<b>オンライン情報源</b>		
リンク	<a href="http://www.j-shis.bosai.go.jp/">http://www.j-shis.bosai.go.jp/</a>	
役割	刊行者(010)	
<b>概要の図示</b>		
<b>閲覧図</b>		
ファイル名	<a href="http://info-bosai.jp/CatalogueService/upload/2004_P_AVR-MAP_T30-ELS_ASP_GR1_TOTAL_I55_PS.png">http://info-bosai.jp/CatalogueService/upload/2004_P_AVR-MAP_T30-ELS_ASP_GR1_TOTAL_I55_PS.png</a>	
<b>記述的キーワード</b>		
<b>キーワード</b>		
キーワード	地震動予測	
キーワード	平均ケース	
キーワード	30年	
型	主題(005)	
空間表現型	グリッド(002)	
主題分類	気象(004)	
主題分類	環境(007)	
主題分類	地球科学の情報(008)	
<b>範囲</b>		
<b>地理境界ボックス</b>		
<b>地理境界ボックス</b>		
<b>範囲参照系</b>		
符号	WGS84(B,L)	
西側境界経度	122.0	
東側境界経度	154.0	
南側境界緯度	22.0	
北側境界緯度	46.0	

図 4.10-3 メタデータの詳細表示例

#### 4.11. 地図表示ページ

地図表示ページは、メタデータ詳細ページの「地図で見る」リンクまたはクリックリストの「地図で見る」リンクのクリックから遷移する。

地図表示ページは、ユーザが選択したメタデータを CWS 機能 (GetRecordById) 機能を利用して取得し、メタデータに記述されている地図サービスの URL (WMS) を用いて地図上表示する。

地図の表示には OpenLayers (<http://openlayers.org/>) を使用する。

地図表示ページには、ヘッダ部フッタ部を除き以下の内容を表示する。

- ページのタイトル
- 地図に表示しているメタデータの一覧
- 地図
- 一覧で選択しているメタデータの詳細 (マイデータおよび公開状態の表示を含む)
- 一覧で選択しているメタデータと関連度の高いメタデータ一覧 (関連データ)
- 一覧で選択しているメタデータと合わせて参照されることの多いメタデータの一覧 (こんなデータも見られています)
- メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中の場合はマイデータ一覧 (簡易一覧)

以下に、マップビューページの内容のうち、タイトル、地図表示データ一覧、地図部分の例を示す。

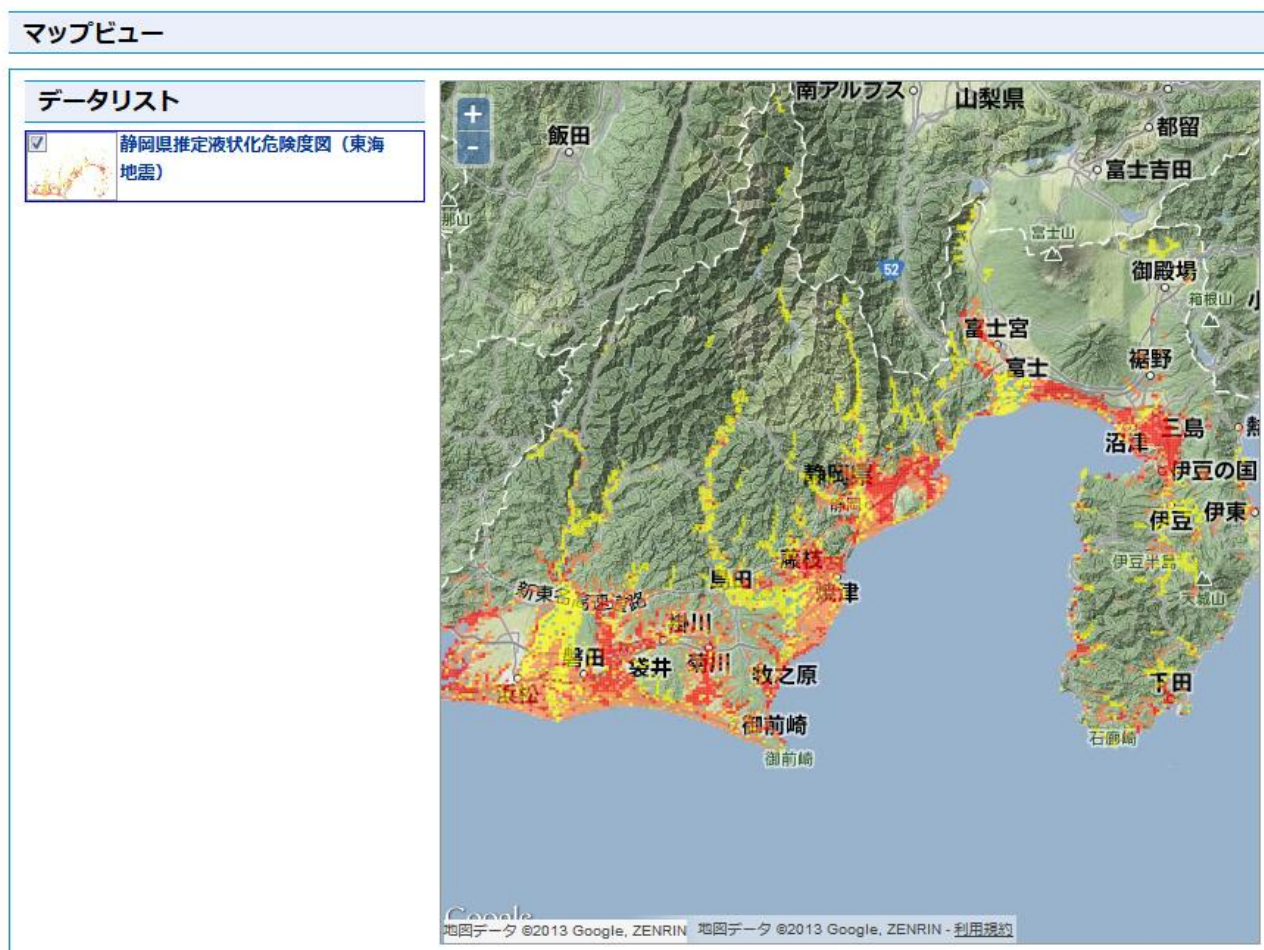


図 4.11-1 地図表示ページ(1/2)

## (1) 地図表示データ一覧

地図表示データ一覧は、利用者が選択したデータを選択した順に一覧表示したものである。

一覧にはデータのサムネイルおよびタイトルを表示する。

サムネイル上には該当データの地図上への表示 ON/OFF を切り替えるためのチェックボックスを用意する。

すべてのデータは初期状態では表示 ON となっている。

一覧の各データには利用者がデータを選択できる、また選択していることが判別できるインターフェースを用意し、データを選択すると、選択データの詳細および関連データの一覧、こんなデータも見られていますが表示されること。

初期状態では一覧の先頭のデータが選択された状態となっている。

後述する関連データ一覧から利用者が選択したデータを一覧の末尾に追加できる。

追加されたデータは初期データと同様に扱う。

追加されたデータは利用者がいつでも一覧から削除できるようなインターフェースを用意する。

## (2) 地図

地図には、あらかじめ決められた基本地図の上に、利用者が選択したデータを重ね合わせ表示する。

地図の表示および機能は以下の通りとする。

- 選択したデータの地図上の重ね合わせ順序は、一覧の表示順序の通りとする（一覧先頭のデータが一番上に表示される）
- 地図表示データ一覧で表示 ON/OFF が切り替えられた場合は、直ちに地図の表示を更新する。
- 地図は利用者が指定する任意の大きさに拡大縮小できる。
- 地図は利用者が指定する任意の位置にスクロールできる。

続いて、地図表示ページの内容のうち、データの詳細、関連データ、こんなデータも見られていますの例を以下に示す。

### データの詳細

**静岡県推定液状化危険度図（東海地震）**



本図は、想定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される地盤の液状化危険度を4階級に区分したものである。

---

評価: なし このデータを評価:

これまでの参照回数: 15709

作成者: 静岡県

データ更新日: 2001-01-01

メタデータ更新日: 2001-01-01

システム登録日時: 2010-06-17 00:00:00

---

災害区分: 指定なし

---

このデータが作成された目的:

静岡県内の沖積平野で収集した既存の地質ボーリング柱状図資料(約17,000本)を基に、「道路橋指方書・同解説Ⅴ耐震設計編(平成8年12月)」の液状化判定式(FL法)による判定を行い、地域毎の平均値を求めた。地質ボーリング柱状図資料の無い地域については表層地盤区分を基に判定した。

---

データの状態: 完成

### 関連データ

- 愛知県液状化危険度ハザードマップ
- 静岡県推定火災延焼危険度図
- 静岡県山・崖崩れによる推定建物被害率図（東海地震）
- 静岡県推定津波浸水域図
- 静岡市防災ハザードマップ

### こんなデータも見られています

- 数値地図25000(土地条件)
- 確率論的地震動予測地図（2005年度版）
- 土地利用方針図(末崎地区)

図 4.11-2 地図表示ページ(2/2)

(3) データの詳細

データの詳細は、地図表示データ一覧の中から利用者が選択したメタデータの詳細を表示する。

データの詳細には、「メタデータ詳細ページ」と同等の内容を表示するが、ページサイズを考慮してより簡略化された内容を表示する。

(4) 関連データ

一覧で選択中のメタデータと関連度の高いメタデータを、関連データ取得機能により取得し、簡易一覧として表示する。

一覧は関連度の大きい順に表示する。

(5) こんなデータも見られています

一覧で選択中のメタデータと合わせて参照されることの多いメタデータを、同時参照データ取得機能により取得し、簡易一覧として表示する。

一覧は同時参照回数の多い順に表示する。

#### 4.12. キーワードランキングページ

キーワードランキングページは、トップページの注目のキーワードのタイトル部「詳細なランキング」リンクのクリックから遷移する。

キーワードランキング一覧ページは、キーワードランキング取得機能により取得した、指定期間内に検索条件に指定されたキーワードを指定された回数の多い順に一覧表示する。

データランキング一覧ページには、ヘッダ部フッタ部を除き以下の内容を表示すること。

- ページのタイトル
- 一覧を表示する期間を変更するためのリンク
- キーワードの一覧
- 取得された結果が20件を超える場合はページを切り替えるためのインターフェース

指定期間に検索条件に指定されたキーワードが存在しない場合は、キーワード一覧の代わりにキーワードが得られなかった旨のメッセージを表示すること。

以下にキーワードランキングページの表示例を示す。

キーワードランキング <small>グラフ表示</small>		1週間以内	1ヶ月以内	1年以内	全て
<b>地震</b>	よくある検索: <a href="#">愛知県 地震</a> <a href="#">つくば市 地震</a> <a href="#">鶴ヶ島市 地震</a> <a href="#">静岡県 地震</a>	検索回数: 68 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/12 9:34:43		
<b>水害</b>	よくある検索: <a href="#">愛知県 水害</a> <a href="#">静岡県 水害</a>	検索回数: 64 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/12 9:34:43		
<b>土砂</b>	よくある検索: <a href="#">土砂 愛知県</a> <a href="#">土砂 静岡県</a>	検索回数: 63 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/12 11:05:22		
<b>愛知県</b>	よくある検索: <a href="#">愛知県 水害</a> <a href="#">愛知県 地震</a> <a href="#">土砂 愛知県</a>	検索回数: 56 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/12 9:34:36		
<b>津波</b>	よくある検索: <a href="#">愛知県 地震</a> <a href="#">つくば市 地震</a> <a href="#">鶴ヶ島市 地震</a> <a href="#">静岡県 地震</a>	検索回数: 23 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/10 14:32:54		
<b>噴火</b>		検索回数: 12 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/10 14:32:51		
<b>人口</b>		検索回数: 4 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/11 10:24:35		
<b>つくば市</b>	よくある検索: <a href="#">つくば市 地震</a>	検索回数: 3 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/10 14:31:13		
<b>静岡県</b>	よくある検索: <a href="#">土砂 静岡県</a> <a href="#">静岡県 地震</a> <a href="#">静岡県 水害</a>	検索回数: 3 <small>(グラフ)</small>	最終検索日時: 2013/08/06 16:09:28		

図 4.12-1 キーワードランキングページ

## (1) キーワード一覧

一覧にキーワードごとに表示する内容は以下の通りとする。

- キーワード名
- キーワードが指定期間に検索条件として指定された回数
- 最後にキーワードが検索条件として指定された日時
- キーワードとの組み合わせで検索条件として指定されることの多いキーワードの組み合わせ

キーワード名はそのキーワードを指定して条件検索を行い、「検索結果表示ページ」へ遷移するためのリンクとする。

キーワードの組み合わせは、一覧のキーワードと同時指定して検索されることの多いキーワードとの組み合わせを表示する。

キーワードの組み合わせの表示は最大3件とする。

キーワードの組み合わせは、組み合わせごとにそのキーワードを検索条件 (AND 条件) として条件検索を行い、「検索結果表示ページ」へ遷移するためのリンクとする。

## (2) 期間の変更

最初にキーワードランキングページが表示された際には、過去一週間以内に参照されたキーワードを表示する。

加えてランキングの期間を変更するためのインタフェースを用意する。

ランキングの期間は、以下のいずれかから選択する。

- 現在の日付を基準として、過去1週間以内
- 同、過去1ヶ月以内
- 同、一年以内
- 全て(本システムが稼動してからの全期間)

以下に期間の変更を行うインタフェースの例を示す。

この例では、現在表示している期間を太字で表示し、変更可能な期間を、変更を行うためのリンクとして表示している。

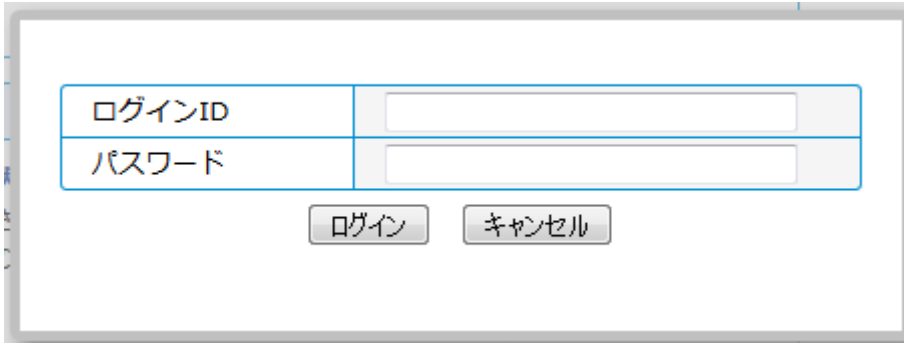


図 4.12-2 期間変更インタフェース

#### 4.13. ログインサブページ

ログインサブページは、共通インタフェースのヘッダ部に未ログイン時に表示される「ログイン」リンクをクリックして表示する。

ログインサブページでは、ユーザが入力したユーザ ID およびパスワードで認証機能呼び出して認証を行う。ログインサブページは現在のページ上にポップアップ表示し、表示中は元のページは操作できないものとする。以下にログインサブページの例を示す。



ログインID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>

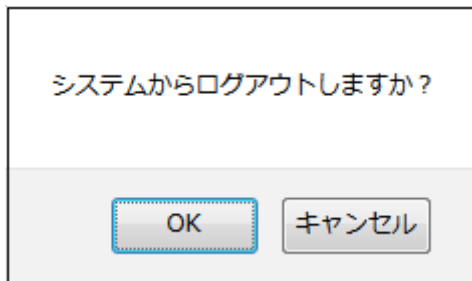
図 4.13-1 ログインサブページ

「ログイン」ボタンクリックで入力されたログイン ID およびパスワードで認証機能呼び出して認証を行う。認証に成功した場合はログインサブページを閉じてヘッダのメニュー項目を更新する。認証に失敗した場合はその旨のメッセージを表示し、ログインサブページはそのままとする。「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずにログインサブページを閉じる。

#### 4.14. ログアウトサブページ

ログアウトサブページは、共通インタフェースのヘッダ部にログイン中に表示される「ログアウト」リンクをクリックして表示する。

ログアウトサブページは、ログイン中のユーザに対してログアウトの実行可否を確認する。ログアウトサブページは現在のページ上にポップアップ表示し、表示中は元のページは操作できないものとする。以下にログアウトサブページの例を示す。



システムからログアウトしますか?

図 4.14-1 ログアウトサブページ

「OK」ボタンをクリックすると認証機能呼び出してログアウトを行う。ログアウト後はログアウトサブページを閉じてヘッダのメニュー項目を更新する。「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずにログアウトサブページを閉じる。



#### 4.15. アカウント情報サブページ

アカウント情報サブページは、共通インタフェースのヘッダ部にログイン中に表示される「アカウント」リンクをクリックして表示する。

アカウント情報サブページは、現在ログイン中のユーザのアカウント情報の表示および変更を行う。

また、メタデータ定型情報（メタデータ新規登録時に初期値として自動的に設定される情報）の設定もここから行う。

アカウント情報サブページは現在のページ上にポップアップ表示し、表示中は元のページは操作できないものとする。

以下にアカウント情報サブページの例を示す。

### アカウント情報編集

ログインID	test_edit
パスワード (確認用)	<input type="password"/> <input type="password"/>
ユーザ名*	メタデータ編集者
業種	<input type="text"/>
住所	茨城県つくば市天王台
電話番号	000-111-222
メールアドレス	test_edit @ example.com
補足	<input type="text"/>
所属グループ	所属なし
アカウント管理権限	無し ※ アカウントの登録・更新・削除ができる権限です（管理者権限）。
メタデータ管理権限	無し ※ 全てのメタデータの更新・削除ができる権限です（管理者権限）。
メタデータ登録権限	有り ※ メタデータの登録および登録したメタデータの更新・削除ができる権限です。

図 4.15-1 アカウント情報サブページ

ユーザはこの画面で以下の項目を変更可能とする。

- パスワード
- ユーザ名
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- 補足

所属グループ、アカウント管理権限、メタデータ管理権限、メタデータ登録権限は、アカウント管理者によって設定される項目なので、この画面では変更することはできない。

「変更確認」ボタンをクリックすると変更内容確認画面へ遷移する。

「リセット」ボタンをクリックすると変更前の内容に戻す。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずにアカウント情報サブページを閉じる。

「メタデータ初期値設定」ボタンをクリックするとメタデータ初期値設定画面へ遷移する。

#### (1) 変更内容確認画面

変更内容確認画面ではユーザが入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下に変更内容確認画面の例を示す。

### アカウント情報編集（確認）

ログインID*	test_view
ユーザ名*	一般利用者
業種	
住所	茨城県つくば市天王台3-1
電話番号	029-851-1611
メールアドレス	user1@example.com
補足	

図 4.15-2 変更内容確認画面

「更新」ボタンをクリックするとアカウント管理機能呼び出して、入力された内容でアカウント情報を変更し、変更結果表示画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックすると前のページに戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずにアカウント情報サブページを閉じる。

#### (2) 変更結果表示画面

変更結果表示画面ではアカウント情報の変更結果を表示する。

以下に、変更結果表示画面の例を示す。

### アカウント情報編集（完了）

アカウント情報の更新に成功しました。

図 4.15-3 変更内容確認画面

「閉じる」ボタンをクリックするとアカウント情報サブページを閉じる。

### (3) メタデータ初期値設定画面

メタデータ初期値設定画面では、メタデータの新規登録時に初期値として設定するメタデータの定型情報を設定する。

現状ではメタデータの問い合わせ先情報のみ設定できるものとする。

以下に、メタデータ初期値設定画面の例を示す。

## メタデータ初期値設定

\* は入力必須項目です。

※ ここで設定した情報はメタデータ登録時に問い合わせ先として自動設定されます

問い合わせ先の名称*	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
都道府県名	<input type="text"/>
市区町村名	<input type="text"/>
町名、番地、ビル名等	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
電子メールアドレス	<input type="text"/>
問い合わせ先のHP等のURL	<input type="text"/>

図 4.15-4 メタデータ初期値画面

「保存」ボタンをクリックすると、メタデータ定型情報保存機能呼び出して、入力された値でメタデータ初期値を保存し、アカウント編集画面に戻る。

「アカウント情報編集に戻る」ボタンをクリックすると、何もせずにアカウント編集画面に戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずにアカウント情報サブページを閉じる。

#### 4.16. メタデータ登録・更新・削除サブページ

メタデータ登録・更新・削除サブページは、メタデータ登録権限を持つユーザでログイン中のみ表示できる。

メタデータ登録・更新・削除サブページは、マイデータ一覧の「新規登録」リンクまたはメタデータ詳細画面の「メタデータ編集」リンクをクリックして表示する。

メタデータ登録・更新・削除サブページは、新たなメタデータの登録または登録済みのメタデータの編集を行うための画面を表示する。

メタデータ登録・更新・削除サブページは現在のページ上にポップアップ表示し、表示中は元のページは操作できないものとする。

以下にメタデータ登録・更新・削除サブページの例を示す。

\* は入力必須項目です

### メタデータ登録

メタデータに関する情報	
メタデータを公開する対象	常に公開 ※ 「ログインユーザのみ公開」を選択した場合「地図データ利用上の制限について」に001（防災関係機関共有）が自動的に設定されます。 ※ 「常に公開」を選択した場合「地図データ利用上の制限について」に002（一般公開）が自動的に設定されます。 ※ 但し「地図データ利用上の制限について」に001または002を明示的に入力した場合は自動設定しません。
対象となる災害区分	指定なし
メタデータの作成日付 *	2014-06-18 ※ クリックするとカレンダーから選択できます
一意なファイル識別子 *	DRIGW_20140618181808305
メタデータに関する問い合わせ先情報	
問い合わせ先の名称 *	<input type="text"/>
郵便番号 *	<input type="text"/>
都道府県名 *	<input type="text"/>
市区町村名 *	<input type="text"/>
町名、番地、ビル名等 *	<input type="text"/>
電話番号 *	<input type="text"/>
電子メールアドレス *	<input type="text"/>
問い合わせ先のHP等のURL *	<input type="text"/>
地図データに関する情報 <span style="float: right;">任意入力の項目を表示</span>	
地図データのタイトル *	<input type="text"/>
地図データの日付 *	地図データの作成日: <input type="text"/> 地図データの公表日: <input type="text"/> 地図データの改定日: <input type="text"/> ※ クリックするとカレンダーから選択できます ※ 上記のうち、少なくとも1つは必ず入力してください
地図データの作成状況 *	完成 ▼ ※ 予定メタデータは災害リスク情報クリアリングハウス限定です
地図データの内容の要約 *	<input type="text"/>
地図のサムネイルのURL *	<input checked="" type="radio"/> URLを入力 <input type="radio"/> 画像ファイルをアップロード URL: <input type="text"/> ※ サムネイルには地図の凡例画像や地図画像のサンプルを使用します。

地図データに関する問い合わせ先情報		個別に設定														
※項目が非表示の場合、メタデータの問い合わせ先と同じ値が設定されます																
地図データの地理範囲に関する情報																
西側境界経度 *	<input type="text"/>	<input type="button" value="地図上で範囲を指定する"/>														
東側境界経度 *	<input type="text"/>															
南側境界緯度 *	<input type="text"/>															
北側境界緯度 *	<input type="text"/>															
地図データの時間範囲に関する情報		設定を表示														
※航空写真の撮影日など、時間に関する情報があれば設定します																
地図データのアクセスに関する情報																
アクセス先URL *	<input checked="" type="radio"/> URLを入力 <input type="radio"/> 地図データファイルをアップロード															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類:</th> <th>URL</th> <th>オプション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WMS:</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>WFS:</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>WCS:</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>その他 ▼:</td> <td colspan="2"><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 上記のうち、少なくとも1つは必ず入力してください。</p> <p>※ WMS,WFS,WCSは各サービスのURLまたはCapabilitiesを取得するURLを指定します。</p> <p>※ WMS,WFS,WCSはオプションを指定しません。サービス固有のパラメータはURLに含めて指定します。</p> <p>※ XYZタイルは、タイル地図を配信するURL (x,y,zを含むURL) を指定します。 例) <code>http://sample-xyz.net/xyz/{z}/{x}/{y}.png</code></p> <p>※ XYZタイルのオプションには、ズームレベル等の情報をJSON形式で指定します。(必須) 例) <code>{maxZoomLevel:10,minZoomLevel:18,zoomOffset:0}</code></p> <p>※ TMS (Tile Map Service) はタイルマップURL (レイヤ名の前までのURL) を指定します。</p> <p>※ TMSのオプションには、レイヤ名、ズームレベル等の情報をJSON形式で指定します。(必須) 例) <code>{layername:'layer1',maxZoomLevel:10,minZoomLevel:18,zoomOffset:0,serviceVersion:'1.0',type:'png',tileOrigin:{lon:136.0,lat:36.0}}</code></p> <p>※ JSON,KML,その他のURLおよびオプションの形式は任意です。</p>		種類:	URL	オプション	WMS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	WFS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	WCS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	その他 ▼:	<input type="text"/>
種類:	URL	オプション														
WMS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>														
WFS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>														
WCS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>														
その他 ▼:	<input type="text"/>															
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="キャンセル"/>																

図 4.16-1 メタデータ登録画面

\* は入力必須項目です

## メタデータ編集

メタデータに関する情報	
メタデータを公開する対象	常に公開 <input type="button" value="▼"/>
対象となる災害区分	地震 <input type="button" value="▼"/>
メタデータの作成日付 *	2013-8-12 <input type="button" value="▼"/> ※ クリックするとカレンダーから選択できます
一意なファイル識別子 *	http://hazardmap.service-section.com/geoserver/hazardmap/metadata/h03203_003.xml <input type="text"/>
メタデータに関する問い合わせ先情報	
問い合わせ先の名称 *	大船渡市役所 災害復興局 <input type="text"/>
郵便番号 *	022-8501 <input type="text"/>
都道府県名 *	岩手県 <input type="text"/>
市区町村名 *	大船渡市 <input type="text"/>
町名、番地、ビル名等 *	盛町字津野沢15 <input type="text"/>
電話番号 *	0192-27-8111 <input type="text"/>
電子メールアドレス *	<input type="text"/>
問い合わせ先のHP等のURL *	http://www.city.ofunato.iwate.jp/www/contents/1309418254331/index.html <input type="text"/>
地図データに関する情報	
地図データのタイトル *	土地利用方針図(末崎地区) <input type="text"/>
地図データの日付 *	地図データの作成日: <input type="text"/> 地図データの公表日: <input type="text"/> 地図データの改定日: 2013-8-10 <input type="text"/> ※ クリックするとカレンダーから選択できます ※ 上記のうち、少なくとも1つは必ず入力してください
地図データの作成状況 *	計画済み <input type="button" value="▼"/> ※ 予定メタデータは災害リスク情報クリアリングハウス限定です
地図データの内容の要約 *	復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組めます。
地図データが作成された目的	○津波からの安全性が確保されるまちづくり ○山側への安全な避難路の確保 ○道路機能の強化、安全な道路ネットワークの確保 ○適切な土地の誘導 ○産業ゾーン形成による水産業の振興

地図データ利用上の制限について	
地図のサムネイルのURL *	<input checked="" type="radio"/> URLを入力 <input type="radio"/> 画像ファイルをアップロード URL : <input type="text" value="http://hazardmap.service-section.com/gserver/preview/h03203_003.jpeg"/> ※ サムネイルには地図の凡例画像や地図画像のサンプルを使用します。
地図データに関するキーワード	h03203_003.土地利用方針図(末崎地区) キーワードの種類: <input type="text" value="主題"/> ※ 複数指定する場合は半角カンマで区切ります
地図データに関するキーワード	住居系土地利用.漁港水産系土地利用.公園・緑地.浸水想定区域.防潮堤想定位置.移転検討候補地 キーワードの種類: <input type="text" value="主題"/> ※ 複数指定する場合は半角カンマで区切ります
地図データが扱う主題	<input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 生物相 <input type="checkbox"/> 境界 <input type="checkbox"/> 気象 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 高さ <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 地球科学の情報 <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> 全地球基本地図画像 <input type="checkbox"/> 軍事情報 <input checked="" type="checkbox"/> 陸水 <input checked="" type="checkbox"/> 位置 <input type="checkbox"/> 大洋 <input type="checkbox"/> 土地台帳計画 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 構造物 <input type="checkbox"/> 運輸 <input type="checkbox"/> 公共事業・通信
<b>地図データに関する問い合わせ先情報</b>	
問い合わせ先の名称 *	<input type="text" value="大船渡市役所 災害復興局"/>
郵便番号 *	<input type="text" value="022-8501"/>
都道府県名 *	<input type="text" value="岩手県"/>
市区町村名 *	<input type="text" value="大船渡市"/>
町名、番地、ビル名等 *	<input type="text" value="盛町字津野沢15"/>
電話番号 *	<input type="text" value="0192-27-3111"/>
電子メールアドレス *	<input type="text"/>
問い合わせ先のHP等のURL *	<input type="text" value="http://www.city.ofunato.iwate.jp/www/contents/1309418254331/index.html"/>

<b>地図データの地理範囲に関する情報</b>	
西側境界経度 *	<input type="text" value="135.93759199999995096"/> <input type="button" value="地図上で範囲を指定する"/>
東側境界経度 *	<input type="text" value="141.474701000000010253"/>
南側境界緯度 *	<input type="text" value="32.9917110000000022296"/>
北側境界緯度 *	<input type="text" value="38.704600999999967021"/>

<b>地図データの時間範囲に関する情報</b>	
時間範囲に関する情報	<input checked="" type="radio"/> 期間を設定 <input type="radio"/> 瞬間を設定 開始日時: <input type="text"/> 終了日時: <input type="text"/>

<b>地図データのアクセスに関する情報</b>																			
アクセス先URL *	<input checked="" type="radio"/> URLを入力 <input type="radio"/> 地図データファイルをアップロード <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>種類:</th> <th>URL</th> <th>オプション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WMS:</td> <td><input type="text" value="http://maptest-200.d-lab.net/map/wms?mid=31&amp;REQUEST"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>WFS:</td> <td><input type="text" value="http://maptest-200.d-lab.net/map/wfs?mid=31&amp;REQUEST"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>WCS:</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>XYZ</td> <td><input type="text" value="http://opendata.e-plat.jp/xyz/19640721c-wide-niigata-eq"/></td> <td><input type="text" value="{minZoomLevel:'5',maxZoomLevel:'18',z"/></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 上記のうち、少なくとも1つは必ず入力してください。          ※ WMS,WFS,WCSは各サービスのURLまたはCapabilitiesを取得するURLを指定します。          ※ WMS,WFS,WCSはオプションを指定しません。サービス固有のパラメータはURLに含めて指定します。          ※ XYZタイルは、タイル地図を配信するURL (x,y,zを含むURL) を指定します。          例) http://sample-xyz.net/xyz/{z}/{x}/{y}.png          ※ XYZタイルのオプションには、ズームレベル等の情報をJSON形式で指定します。(必須)          例) {maxZoomLevel:10,minZoomLevel:18,zoomOffset:0}          ※ TMS (Tile Map Service) はタイルマップURL (レイヤ名の前までのURL) を指定します。          ※ TMSのオプションには、レイヤ名、ズームレベル等の情報をJSON形式で指定します。(必須)          例)          {layername:'layer1',maxZoomLevel:10,minZoomLevel:18,zoomOffset:0,serviceVersion:'1.0',type:'png',tileOrigin:          {lon:136.0,lat:36.0}}          ※ JSON,KML,その他のURLおよびオプションの形式は任意です。</p>	種類:	URL	オプション	WMS:	<input type="text" value="http://maptest-200.d-lab.net/map/wms?mid=31&amp;REQUEST"/>	<input type="text"/>	WFS:	<input type="text" value="http://maptest-200.d-lab.net/map/wfs?mid=31&amp;REQUEST"/>	<input type="text"/>	WCS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	XYZ	<input type="text" value="http://opendata.e-plat.jp/xyz/19640721c-wide-niigata-eq"/>	<input type="text" value="{minZoomLevel:'5',maxZoomLevel:'18',z"/>	その他	<input type="text"/>	<input type="text"/>
種類:	URL	オプション																	
WMS:	<input type="text" value="http://maptest-200.d-lab.net/map/wms?mid=31&amp;REQUEST"/>	<input type="text"/>																	
WFS:	<input type="text" value="http://maptest-200.d-lab.net/map/wfs?mid=31&amp;REQUEST"/>	<input type="text"/>																	
WCS:	<input type="text"/>	<input type="text"/>																	
XYZ	<input type="text" value="http://opendata.e-plat.jp/xyz/19640721c-wide-niigata-eq"/>	<input type="text" value="{minZoomLevel:'5',maxZoomLevel:'18',z"/>																	
その他	<input type="text"/>	<input type="text"/>																	

更新日時を変更しない

図 4.16-2 メタデータ更新・削除画面

編集可能な項目はシステムで最低限必要な項目のみとする。

新規登録の場合、ログイン中の利用者によりメタデータ定型情報が設定されている場合は、設定されている初期値を自動的に設定しておく。

また、設定ファイル(drigw.properties)にファイル識別子接頭語(FID\_PREFIX)が設定されている場合、設定された値と現在日時を利用して以下の形式のファイル識別子を自動生成し、一意なファイル識別子の値として設定する。

● [接頭語]yyyyMMddHHmmssSSS

yyyy	4桁の西暦年
MM	2桁の月(01-12)
dd	2桁の日付(01-31)
HH	2桁の時(00-23)
mm	2桁の分(00-59)
ss	2桁の秒(00-59)
SSS	3桁のミリ秒(000-999)

また、新規登録の場合は、以下の項目を初期状態で非表示とし、任意に表示・非表示の切り替えができるようにする。

- 地図データに関する情報のうち、必須項目でない「地図データが作成された目的」「地図データ利用上の制限について」「地図データに関するキーワード」「地図データが扱う主題」の4項目
- 地図データに関する問い合わせ先情報の項目全て
- 地図データの時間範囲に関する情報の項目全て

新規登録および更新画面において、登録者の作業軽減のため、以下の項目は特別な入力インターフェースを用意する。

- 日付項目における、カレンダーからの日付選択による値入力
- 地理範囲における、地図上範囲選択により値入力

登録済みのメタデータを更新する場合はCSW機能(GetRecordByIdリクエスト)により取得したメタデータの内容を表示する。

## (1) 新規登録

「登録」ボタンをクリックすると、メタデータ管理機能を出し、入力された内容で新たにメタデータを登録する。

登録完了後はメタデータ登録・更新・削除サブページは閉じられ、マイデータ一覧に直ちに登録したメタデータを表示する。

このとき、地図データに関する問い合わせ先情報の項目が非表示の場合は、メタデータに関する問い合わせ先情報に入力されている値を地図データに関する問い合わせ先情報の同一項目にコピーする。

「キャンセル」ボタンをクリックした場合は何もせずにメタデータ登録・更新・削除サブページを閉じる。

## (2) 更新

「更新」ボタンをクリックすると、更新の実行可否の確認を行うダイアログを表示する。

更新を実行する場合はメタデータ管理機能を出し、入力された内容でメタデータの内容を更新する。

このとき、画面に表示されない項目の値は変更しない。

更新完了後はメタデータ登録・更新・削除サブページは閉じられ、メタデータ詳細ページの内容は直ちに更新したメタデータの内容を表示する。



「キャンセル」ボタンをクリックした場合は何もせずにメタデータ登録・更新・削除サブページを閉じる。

(3) 削除

「更新」ボタンをクリックすると、削除の実行可否の確認を行うダイアログを表示する。

削除を実行する場合はメタデータ管理機能を呼出し、表示中のメタデータを削除する。

更新完了後はメタデータ登録・更新・削除サブページは閉じられ、メタデータ詳細ページからマイデータ一覧ページに遷移する。

#### 4.17. 問い合わせサブページ

問い合わせサブページは、共通インタフェースのヘッダ部に表示される「サイトに関するお問い合わせ」リンクをクリックして表示する。

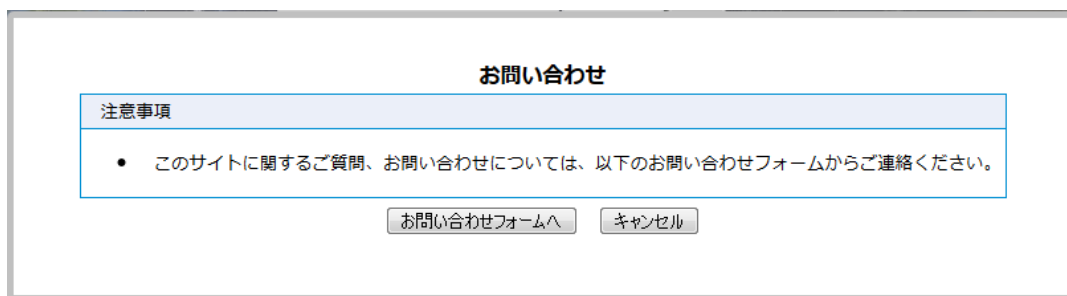
問い合わせサブページではユーザがシステム運営者に対して各種問合せを行うための画面を表示する。

問い合わせサブページは現在のページ上にポップアップ表示し、表示中は元のページは操作できないものとする。

##### (1) 注意事項画面

問い合わせサブページは、はじめに問い合わせに関する注意事項を表示する。

以下に注意事項画面の例を示す。



The screenshot shows a modal window titled "お問い合わせ" (Inquiry). Inside, there is a section titled "注意事項" (Notice) with a blue header. Below the header, a list item states: "このサイトに関するご質問、お問い合わせについては、以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。" (For questions and inquiries about this site, please contact us from the inquiry form below). At the bottom of the modal, there are two buttons: "お問い合わせフォームへ" (To inquiry form) and "キャンセル" (Cancel).

図 4.17-1 注意事項画面

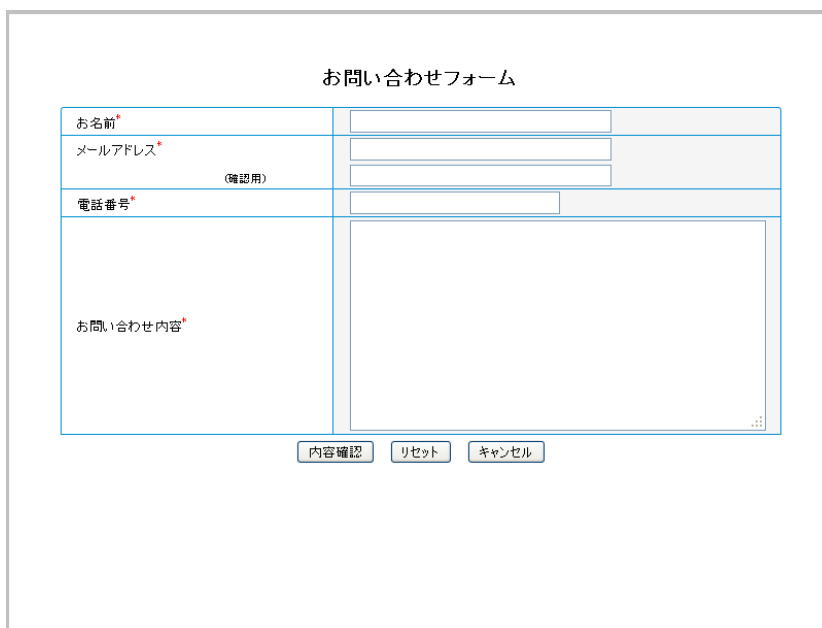
「お問い合わせフォームへ」ボタンをクリックするとお問い合わせフォーム画面に遷移する。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何もせずに問い合わせサブページを閉じる。

##### (2) 問い合わせフォーム画面

問い合わせフォーム画面ではユーザが問い合わせ内容を入力するためのフォームを表示する。

以下に注意事項画面の例を示す。



The screenshot shows a modal window titled "お問い合わせフォーム" (Inquiry Form). It contains a form with the following fields: "お名前\*" (Name), "メールアドレス\*" (Email address), "(確認用)" (Confirmation), "電話番号\*" (Phone number), and "お問い合わせ内容\*" (Inquiry content). Below the form, there are three buttons: "内容確認" (Check content), "リセット" (Reset), and "キャンセル" (Cancel).

図 4.17-2 問い合わせフォーム画面

ユーザは以下の項目を入力して問い合わせを行うものとする。

- 名前  
ユーザの名前
- メールアドレス  
ユーザのメールアドレス
- 電話番号  
ユーザの電話番号
- 問い合わせ内容  
システムやデータに関する問い合わせ内容。自由記述

「内容確認」ボタンをクリックすると問い合わせ変更内容確認画面へ遷移する。

「リセット」ボタンをクリックすると入力した値をクリアする。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずに問い合わせサブページを閉じる。

### (3) 問い合わせ内容確認画面

問い合わせ内容確認画面ではユーザが入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下に問い合わせ内容確認画面の例を示す。

お問い合わせ (確認)	
お名前	山田 太郎
メールアドレス	yamada@aaa.com
電話番号	000-111-222
お問い合わせ内容	メタデータの検索方法について 検索条件の設定方法をおしてください。

送信 戻る キャンセル

図 4.17-3 問い合わせ内容確認画面

「送信」ボタンをクリックすると問い合わせ機能呼び出して、入力された内容でシステムに設定された運営者メールアドレス宛にメールを送信し、送信結果表示画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックすると前のページに戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずに問い合わせサブページを閉じる。

### (4) 送信結果表示画面

送信結果表示画面では問い合わせの送信結果を表示する。

以下に、送信結果表示画面の例を示す。

お問い合わせ(完了)

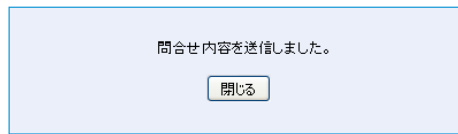


図 4.17-4 送信結果表示画面

「閉じる」ボタンをクリックすると問い合わせサブページを閉じる。

#### 4.18. アカウント管理サブページ

アカウント管理サブページは、アカウント管理者権限を持つユーザでログイン中のみ表示できる。

アカウント管理サブページは、

- アカウントの一覧表示
- アカウント新規登録
- アカウント更新
- アカウント削除
- ユーザグループの一覧表示
- グループ新規登録
- グループ更新
- グループ削除

を行う。

アカウント管理サブページは、共通インタフェースのヘッダ部にアカウント管理者でログイン中に表示される「アカウント管理」をクリックして表示する。

##### (1) アカウント一覧画面

アカウント管理サブページでははじめにアカウント一覧画面を表示する。

ここでは登録済みのアカウント全てを一覧表示する。

以下にアカウント一覧画面の例を示す。

	ID	ログインID	ユーザ名	権限			所属グループ
				アカウント	メタデータ		
				管理	管理	登録	
詳細	1	root	管理者	○	○	○	グループ1
詳細	132	test_admin	メタデータ管理者		○	○	グループ1
詳細	133	test_view	一般利用者				グループ3
詳細	134	test_edit	メタデータ編集者			○	グループ2

1

新規登録 キャンセル

図 4.18-1 アカウント一覧画面

一覧に表示するアカウントの項目は以下の通りとする。

- ID

- ログイン ID ユーザ名
- アカウント管理権限の有無
- メタデータ管理権限の有無
- メタデータ登録権限の有無
- ユーザが所属するグループ

一覧には最大 10 件のアカウントを表示し、10 件を超える場合はページ切り替えできるようにする。

「グループ一覧」タブをクリックするとグループ一覧画面に遷移する。

アカウントごとに用意する「詳細」ボタンをクリックすると当該アカウントのアカウント編集画面に遷移する。

「新規登録」ボタンをクリックするとアカウント登録画面に遷移する。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何も行わずにアカウント管理サブページを閉じる。

## (2) アカウント登録画面

アカウント登録画面は新たなアカウントを登録するための画面を表示する。

以下にアカウント登録画面の例を示す。

アカウント登録

ログインID*	<input type="text"/>
パスワード*	<input type="password"/>
(確認用)	<input type="password"/>
ユーザ名*	<input type="text"/>
業種	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/> @ <input type="text"/>
補足	<input type="text"/>
所属グループ	<input type="text"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ1</li> <li>グループ2</li> <li>グループ3</li> </ul>
アカウント管理権限	<input type="checkbox"/> 有り ※ アカウントの登録・更新・削除ができる権限です(管理者権限)。
メタデータ管理権限	<input type="checkbox"/> 有り ※ 全てのメタデータの更新・削除ができる権限です(管理者権限)。
メタデータ登録権限	<input type="checkbox"/> 有り ※ メタデータの登録および登録したメタデータの更新・削除ができる権限です。

図 4.18-2 アカウント登録画面

入力するアカウント項目は以下の通り。

- ログイン ID
- パスワード
- パスワード(確認用)
- ユーザ名
- 業種

- 住所
- 電話番号
- 補足
- 所属グループ(既存グループ一覧からの選択、複数可)
- アカウント管理権限(権限の有無をチェックボックスで選択)
- メタデータ管理権限(権限の有無をチェックボックスで選択)
- メタデータ登録権限(権限の有無をチェックボックスで選択)

「登録確認」ボタンをクリックするとアカウント登録内容確認画面に遷移する。

「リセット」ボタンをクリックすると入力内容をクリアする。

「キャンセル」ボタンをクリックすると登録を中止してアカウント一覧画面に遷移する。

### (3) アカウント登録内容確認画面

アカウント登録内容確認画面ではアカウント登録画面で入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下にアカウント登録内容確認画面の例を示す。

#### アカウント登録(確認)

ログインID*	test_test
ユーザ名*	テスト
業種	
住所	
電話番号	
メールアドレス	text@example.com
補足	
所属グループ	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">           グループ1            グループ2            グループ3         </div>
アカウント管理権限	<input type="checkbox"/> 有り
メタデータ管理権限	<input type="checkbox"/> 有り
メタデータ登録権限	<input checked="" type="checkbox"/> 有り

図 4.18-3 アカウント登録内容確認画面

「登録」ボタンをクリックするとアカウント情報登録機能呼び出してアカウントの登録を実行し、アカウント登録結果確認画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックするとアカウント登録画面に戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると登録を中止してアカウント一覧画面に遷移する。

### (4) アカウント登録結果確認画面

アカウント登録結果表示画面ではアカウントの登録結果を表示する。

以下に、アカウント登録結果表示画面の例を示す。

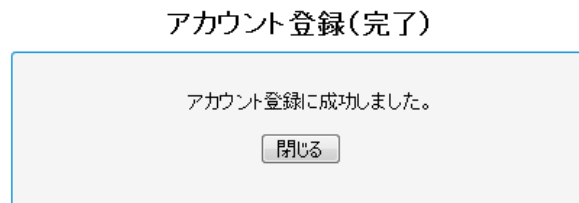


図 4.18-4 アカウント登録結果確認画面

「閉じる」ボタンをクリックするとアカウント一覧画面に遷移する。

#### (5) アカウント編集画面

アカウント編集画面は既存のアカウントの内容を編集するための画面を表示する。

以下にアカウント編集画面の例を示す。

アカウント情報編集

ログインID	test_test
パスワード (確認用)	<input type="password"/> <input type="password"/>
ユーザ名*	テスト
業種	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス	test @ example.com
補足	<input type="text"/>
所属グループ	<ul style="list-style-type: none"><li>グループ1</li><li>グループ2</li><li>グループ3</li></ul>
アカウント管理権限	<input type="checkbox"/> 有り ※ アカウントの登録・更新・削除ができる権限です(管理者権限)。
メタデータ管理権限	<input type="checkbox"/> 有り ※ 全てのメタデータの更新・削除ができる権限です(管理者権限)。
メタデータ登録権限	<input checked="" type="checkbox"/> 有り ※ メタデータの登録および登録したメタデータの更新・削除ができる権限です。

図 4.18-5 カウント編集画面

ログイン ID を変更することはできない。

編集可能なアカウント項目は以下の通り。

- パスワード
- パスワード(確認用)
- ユーザ名
- 業種



- 住所
- 電話番号
- 補足
- 所属グループ(既存グループ一覧からの選択、複数可)
- アカウント管理権限(権限の有無をチェックボックスで選択)
- メタデータ管理権限(権限の有無をチェックボックスで選択)
- メタデータ登録権限(権限の有無をチェックボックスで選択)

「更新確認」ボタンをクリックするとアカウント編集内容確認画面に遷移する。

「リセット」ボタンをクリックすると入力内容を登録済みの内容に戻す。

「キャンセル」ボタンをクリックすると編集を中止してアカウント一覧画面に遷移する。

「削除」ボタンをクリックするとアカウント削除確認画面に遷移する。

#### (6) アカウント編集内容確認画面

アカウント編集内容確認画面ではアカウント編集画面で入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下にアカウント編集内容確認画面の例を示す。

#### アカウント情報編集(確認)

ログインID*	test_test
ユーザー名*	テスト
業種	
住所	
電話番号	03-1234-5678
メールアドレス	test@example.com
補足	
所属グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ1</li> <li>グループ2</li> <li>グループ3</li> </ul>
アカウント管理権限	<input type="checkbox"/> 有り
メタデータ管理権限	<input type="checkbox"/> 有り
メタデータ登録権限	<input checked="" type="checkbox"/> 有り

図 4.18-6 アカウント編集内容確認画面

「更新」ボタンをクリックするとアカウント情報更新機能呼び出してアカウントの更新を実行し、アカウント編集結果確認画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックするとアカウント編集画面に戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると編集を中止してアカウント一覧画面に遷移する。

(7) アカウント編集結果確認画面

アカウント編集結果表示画面ではアカウントの編集結果を表示する。

以下に、アカウント編集結果表示画面の例を示す。

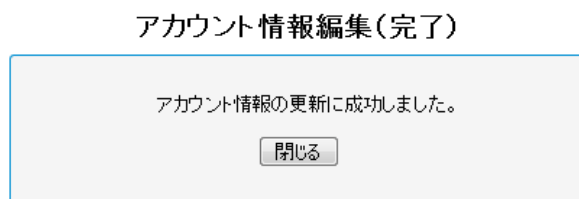


図 4.18-7 アカウント編集結果確認画面

「閉じる」ボタンをクリックするとアカウント一覧画面に遷移する。

(8) アカウント削除確認画面

アカウント削除確認画面ではアカウントの削除を確認する。

以下にアカウント削除確認画面の例を示す。

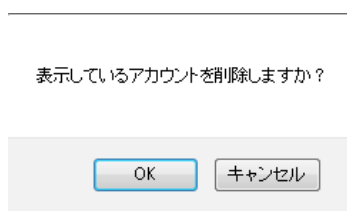


図 4.18-8 アカウント削除確認画面

「OK」ボタンをクリックするとアカウント削除機能呼び出して削除を実行し、アカウント一覧画面に遷移する。

「キャンセル」ボタンをクリックすると削除を中止してアカウント編集画面に戻る。



図 4.18-10 グループ登録画面

入力するグループ項目は以下の通り。

- グループ名
- 説明

「登録確認」ボタンをクリックするとグループ登録内容確認画面に遷移する。

「リセット」ボタンをクリックすると入力内容をクリアする。

「キャンセル」ボタンをクリックすると登録を中止してグループ一覧画面に遷移する。

#### (11) グループ登録内容確認画面

グループ登録内容確認画面ではグループ登録画面で入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下にグループ登録内容確認画面の例を示す。

グループ登録(確認)

グループ名*	グループ4
説明	<input type="text"/>

図 4.18-11 グループ登録内容確認画面

「登録」ボタンをクリックするとユーザグループ情報登録機能呼び出してグループの登録を実行し、グループ登録結果確認画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックするとグループ登録画面に戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると登録を中止してグループ一覧画面に遷移する。

#### (12) グループ登録結果確認画面

グループ登録結果表示画面ではグループの登録結果を表示する。

以下に、グループ登録結果表示画面の例を示す。

グループ登録(完了)

グループ登録に成功しました。

図 4.18-12 グループ登録結果確認画面

「閉じる」ボタンをクリックするとグループ一覧画面に遷移する。

### (13) グループ編集画面

グループ編集画面は既存のグループの内容を編集するための画面を表示する。

以下にグループ編集画面の例を示す。

グループ情報編集

グループ名*	グループ4
説明	<input type="text"/>

図 4.18-13 グループ編集画面

編集可能なグループ項目は以下の通り。

- グループ名
- 説明

「更新確認」ボタンをクリックするとグループ編集内容確認画面に遷移する。

「リセット」ボタンをクリックすると入力内容を登録済みの内容に戻す。

「キャンセル」ボタンをクリックすると編集を中止してグループ一覧画面に遷移する。

「削除」ボタンをクリックするとグループ削除確認画面に遷移する。

### (14) グループ編集内容確認画面

グループ編集内容確認画面ではグループ編集画面で入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下にグループ編集内容確認画面の例を示す。

グループ情報編集(確認)

グループ名*	グループ5
説明	<input type="text"/>

図 4.18-14 グループ編集内容確認画面

「更新」ボタンをクリックするとアカウントグループ情報更新機能を呼び出してグループの更新を実行し、グループ編集結果確認画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックするとグループ編集画面に戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると編集を中止してグループ一覧画面に遷移する。

### (15) グループ編集結果確認画面

グループ編集結果表示画面ではグループの編集結果を表示する。

以下に、グループ編集結果表示画面の例を示す。

### グループ情報編集(完了)

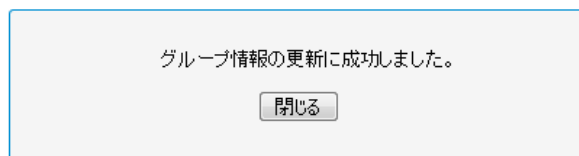


図 4.18-15 グループ編集結果確認画面

「閉じる」ボタンをクリックするとグループ一覧画面に遷移する。

#### (16) グループ削除確認画面

グループ削除確認画面ではグループの削除を確認する。

以下にグループ削除確認画面の例を示す。

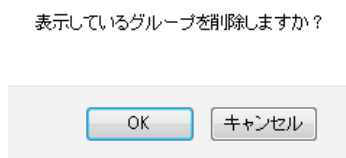


図 4.18-16 グループ削除確認画面

「OK」ボタンをクリックするとアカウントグループ削除機能呼び出して削除を実行し、グループ一覧画面に遷移する。

「キャンセル」ボタンをクリックすると削除を中止してグループ編集画面に戻る。

#### 4.19. システム設定サブページ

システム設定サブページは、アカウント管理者権限を持つユーザでログイン中のみ表示できる。

システム設定サブページは、

- ヘッダ・フッタ情報の表示
- ヘッダ・フッタ情報の編集
- リンク情報の表示
- リンク情報の編集

を行う。

システム設定サブページは、共通インタフェースのヘッダ部にアカウント管理者でログイン中に表示される「設定」をクリックして表示する。

##### (1) ヘッダ・フッタ情報画面

ヘッダ・フッタ情報画面では現在設定されているヘッダ・フッタ情報をヘッダ・フッタ情報取得機能により取得し表示する。

ヘッダ・フッタ情報の画面例を以下に示す。

ヘッダー・フッター情報	リンク情報
-------------	-------

ヘッダー情報	
タイトル	災害リスク情報ゲートウェイ

フッター情報	
組織名	Copyright(c)独立行政法人防災科学技術研究所
住所	〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
電話番号	Tel 029-851-1611

図 4.19-1 ヘッダ・フッタ情報画面

ヘッダ・フッタ情報画面には以下の内容を表示する。

- ヘッダ部に表示するタイトル
- フッタ部に表示する運営者の組織名
- フッタ部に表示する運営者の住所
- フッタ部に表示する運営者の電話番号

「編集」をクリックするとヘッダ・フッタ情報編集画面に遷移する。

「キャンセル」をクリックするとシステム設定サブページを閉じる。

##### (2) ヘッダ・フッタ情報編集画面

ヘッダ・フッタ情報編集画面は現在設定されているヘッダ・フッタ情報を編集するための画面を表示する。

ヘッダ・フッタ情報編集画面の例を以下に示す。

## ヘッダー・フッター編集

ヘッダー情報	
タイトル	災害リスク情報ゲートウェイ

フッター情報	
組織名	Copyright(c)独立行政法人防災科学技術研究所
住所	〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
電話番号	Tel 029-851-1611

図 4.19-2 ヘッダ・フッタ情報編集画面

ヘッダ・フッタ情報画面では以下の内容を編集可能とする。

- ヘッダ部に表示するタイトル
- フッタ部に表示する運営者の組織名
- フッタ部に表示する運営者の住所
- フッタ部に表示する運営者の電話番号

「更新確認」ボタンをクリックするとヘッダ・フッタ情報編集内容確認画面に遷移する。

「リセット」ボタンをクリックすると編集前の状態に戻す。

「キャンセル」ボタンをクリックすると何もせずにヘッダ・フッタ情報画面に戻る。

### (3) ヘッダ・フッタ情報編集内容確認画面

ヘッダ・フッタ情報編集内容確認画面ではヘッダ・フッタ情報編集画面で入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下にヘッダ・フッタ情報編集内容確認画面の例を示す。

ヘッダー・フッター編集(確認)

ヘッダー情報	
タイトル	災害リスク情報ゲートウェイ

フッター情報	
組織名	Copyright(c)独立行政法人防災科学技術研究所
住所	〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
電話番号	Tel 029-851-1611

図 4.19-3 ヘッダ・フッタ情報編集内容確認画面

「更新」ボタンをクリックするとヘッダ・フッタ情報更新機能を呼び出してヘッダ・フッタ情報の更新を実行し、ヘッダ・フッタ情報編集結果確認画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックするとヘッダ・フッタ情報編集画面に戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると編集を中止してヘッダ・フッタ情報画面に遷移する。



(4) ヘッダ・フッタ情報編集結果確認画面

ヘッダ・フッタ情報編集結果表示画面ではヘッダ・フッタ情報の編集結果を表示する。  
以下に、ヘッダ・フッタ情報編集結果表示画面の例を示す。

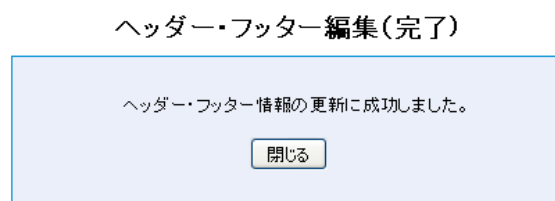


図 4.19-4 ヘッダ・フッタ情報編集結果確認画面

「閉じる」ボタンをクリックするとヘッダ・フッタ情報画面に遷移する。

(5) リンク情報画面

リンク情報画面では現在設定されているリンク情報を外部リンク取得機能により取得し表示する。  
リンク情報の画面例を以下に示す。

No	リンク名	リンクURL
1	防災科学技術研究所	http://www.bosai.go.jp/
2	国土地理院	http://www.gsi.go.jp/
3	気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
4		
5		

編集 キャンセル

図 4.19-5 リンク情報画面

リンク情報画面には以下の内容を表示する。

- ヘッダ部に表示する外部リンク1のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク1の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク2のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク2の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク3のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク3の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク4のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク4の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク5のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク5の URL

「編集」をクリックするとリンク情報編集画面に遷移する。  
「キャンセル」をクリックするとシステム設定サブページを閉じる。

#### (6) リンク編集画面

リンク情報編集画面は現在設定されているリンク情報を編集するための画面を表示する。  
リンク情報編集画面の例を以下に示す。

**リンク情報編集**

No	リンク名	リンクURL
1	防災科学技術研究所	http://www.bosai.go.jp/
2	国土地理院	http://www.gsi.go.jp/
3	気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
4		
5		

図 4.19-6 リンク編集画面

リンク情報画面では以下の内容を編集可能とする。

- ヘッダ部に表示する外部リンク1のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク1の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク2のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク2の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク3のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク3の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク4のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク4の URL
- ヘッダ部に表示する外部リンク5のタイトル
- ヘッダ部に表示する外部リンク5の URL

「更新確認」ボタンをクリックするとリンク情報編集内容確認画面に遷移する。  
「リセット」ボタンをクリックすると編集前の状態に戻す。  
「キャンセル」ボタンをクリックすると何もせずにリンク情報画面に戻る。

#### (7) リンク編集内容確認画面

リンク情報編集内容確認画面ではリンク情報編集画面で入力した内容を表示し、入力内容が正しいかどうかの確認を行う。

以下にリンク情報編集内容確認画面の例を示す。

## リンク情報編集（確認）

No	リンク名	リンクURL
1	防災科学技術研究所	http://www.bosai.go.jp/
2	国土地理院	http://www.gsi.go.jp/
3	気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
4		
5		

図 4.19-7 リンク編集内容確認画面

「更新」ボタンをクリックすると外部リンク更新機能呼び出してリンク情報の更新を実行し、リンク情報編集結果確認画面に遷移する。

「戻る」ボタンをクリックするとリンク情報編集画面に戻る。

「キャンセル」ボタンをクリックすると編集を中止してリンク情報画面に遷移する。

### (8) リンク編集結果確認画面

リンク情報編集結果表示画面ではリンク情報の編集結果を表示する。

以下に、リンク情報編集結果表示画面の例を示す。

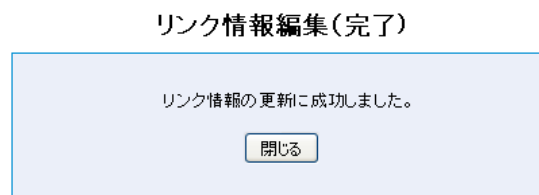


図 4.19-8 リンク編集結果確認画面

「閉じる」ボタンをクリックするとリンク情報情報画面に遷移する。

#### 4.20. メタデータ管理サブページ

メタデータ管理サブページは、メタデータ管理者権限を持つユーザでログイン中のみ表示できる。

メタデータ管理サブページでは、全てのメタデータを対象としてメタデータの一覧表示・登録・更新・削除を行う。

メタデータ管理サブページは、共通インタフェースのヘッダ部にメタデータ管理者でログイン中に表示される「メタデータ管理」をクリックして表示する。

メタデータ管理サブページは他のサブページとは異なり、新しいウィンドウで表示する。

##### (1) メタデータ一覧画面

メタデータ管理サブページでははじめにメタデータ一覧画面を表示する。

メタデータ一覧画面には登録されている全てのメタデータを一覧表示する。

メタデータ一覧					管理者 ログイン中 [ログアウト]
(590件)					新規登録...
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 >>					
キーワード:		問合せ先:	公開設定: 全て	絞り込み	表示件数: 50件 並び替え: 登録順(降順)
サムネイル	タイトル	要約	問合せ先	更新日時	公開設定
	基盤地図情報 10mメッシュ標高モデル	基盤地図情報 数値標高モデル 10mメッシュ[標高] データを陰影図として表現。		システム登録日時: 2013/06/14 19:15:34 メタデータ更新日: データ更新日:	ユーザグループに公開 - グループ 1 - グループ 2 - グループ 3
	大船渡市 道路データ	大船渡市 道路データ		システム登録日時: 2012/03/07 0:00:00 メタデータ更新日: データ更新日: 2012-03-07	非公開
	釜石市DMデータ 画像	釜石市DMデータ	釜石市役所	システム登録日時: 2013/06/06 17:20:13 メタデータ更新日: データ更新日: 2012-03-06	常に公開
	釜石市DMデータ	釜石市DMデータ	釜石市役所	システム登録日時: 2013/08/07 17:28:28 メタデータ更新日: データ更新日: 2012-03-07	ログインユーザに公開
	土地利用方針図(未崎地区)	復興計画に基づき、地域ごとに土地利用や事業実施に向けた合意形成を図るため、説明会などを開催し、市民の皆さんとともに各地域の実情に応じた復興に向けたまちづくりに取り組みます。	大船渡市役所 災害復興局	システム登録日時: 2013/08/13 18:53:11 メタデータ更新日: データ更新日: 2013-8-10	常に公開

図 4.20-1 メタデータ一覧画面

一覧には以下の項目を表示する。

- サムネイル画像
- タイトル
- 要約
- 問い合わせ先名称
- 更新日時
- 公開設定

一覧には初期状態で 1 ページに最大 50 件のメタデータを表示する。

登録されているメタデータが 50 件を超える場合は、ページャを表示する。  
また、1 ページあたりの表示件数は以下から選択して変更できるようにする。

- 20 件
- 50 件
- 100 件
- 200 件

一覧に表示されるメタデータの順序は以下から選択して変更できるようにする。

- 登録順降順
- 登録順昇順
- 登録日時降順
- 登録日時昇順

一覧に表示されるメタデータを以下の条件を指定して絞込できるようにする。

- キーワード(タイトルおよび要約に対する部分一致条件)
- 問い合わせ先(問い合わせ先名称に対する部分一致)
- 公開設定(常に公開、ログインユーザに公開、グループに公開、非公開から1つ選択)

一覧に表示されているメタデータのタイトルをクリックするとメタデータ編集画面に遷移する。  
画面内の「新規登録」をクリックするとメタデータ登録画面に遷移する。

## (2) メタデータ登録画面

メタデータ登録画面はメタデータを新たに登録するための画面を表示する。

メタデータ登録画面は 2 段階で構成され、はじめの画面ではメタデータファイルをアップロードして登録するための機会を提供する。

以下にメタデータ登録画面(ファイルアップロード)の例を示す。

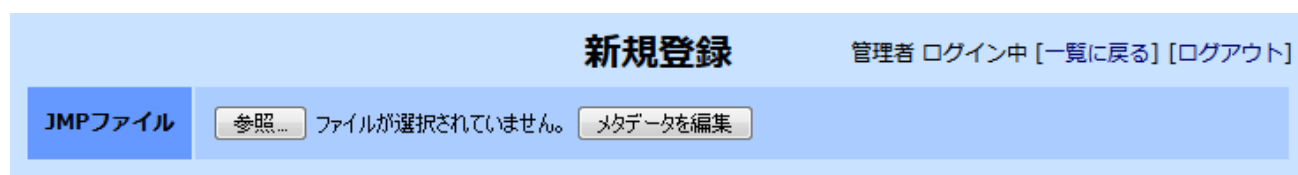


図 4.20-2 メタデータ登録画面(ファイルアップロード)

メタデータファイルをアップロードして新規に登録する場合は、ファイルを指定したのち「メタデータを編集」ボタンをクリックする。

新規に入力して登録する場合は「メタデータを編集」ボタンをクリックする。

「メタデータを編集」ボタンをクリックするとメタデータの内容を編集するためのメタデータ登録画面に遷移する。

\* は入力することが望ましい項目です。 メタデータ登録 [管理者 ログイン中](#) [[一覧に戻る](#)] [[ログアウト](#)]

災害区分 *	地震
サムネイルファイル	<input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。
地図データファイル	<input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。
公開設定	常に公開
作成者アカウント設定	root

ファイル識別子 *	<input type="text"/>
言語 *	jpn (ex. jpn)
文字集合 *	UTF_8
親識別子	<input type="text"/>
階層レベル	<input type="text"/>
階層レベル名	<input type="text"/>
問合せ先	<input type="text"/>

～中略～

測定値の単位	<input type="text"/>
単位の名称	<input type="text"/>
単位の種類	<input type="text"/>
誤差統計	<input type="text"/>
測定値	<input type="text"/>
データ品質要素型	<input type="text"/>
系譜	<input type="text"/>
説明	<input type="text"/>

図 4.20-3 メタデータ登録画面

メタデータ登録画面はメタデータの構造(JMP2.0)に合わせたメタデータ項目を入力するためのフォームを提供する。メタデータファイルをアップロードした場合は、アップロードされたメタデータの内容を予め設定しておく。

「登録」ボタンをクリックすると、メタデータ登録機能(パラメータポスト形式)を呼び出して入力された値から生成したメタデータをメタデータデータベースに登録する。

### (3) メタデータ更新画面

メタデータ更新画面は、登録済みのメタデータの内容を編集するための画面を表示する。

メタデータ更新画面はメタデータの構造(JMP2.0)に合わせたメタデータ項目を入力するためのフォームを提供する。

以下にメタデータ更新画面の例を示す。

\* は入力することが望ましい項目です。 **メタデータ更新** [管理者 ログイン中](#) [[一覧に戻る](#)] [[ログアウト](#)]

災害区分 *	地震
サムネイルファイル	<input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。
地図データファイル	<input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。
公開設定	常に公開
作成者アカウント設定	test_edit

ファイル識別子 *	http://hazardmap.service-section.com/geoserver/hazardmap/metadata/h03203_003.xml
言語 *	jpn (ex. jpn)
文字集合 *	UTF_8
親識別子	
階層レベル	データ集合
階層レベル名	
問合せ先	

～中略～

測定値の単位	
単位の名称	
単位の種類	
誤差統計	
測定値	
データ品質要素型	
系譜	
説明	

図 4.20-4 メタデータ更新画面

メタデータの各項目には編集対象のメタデータの内容を予め設定しておく。

「更新」ボタンをクリックすると、メタデータ更新機能(パラメータポスト形式)を呼び出して入力された値から生成したメタデータで登録済みのメタデータを更新する。

「削除」ボタンをクリックすると、削除の実行可否を確認するダイアログを表示し、削除を実行する場合はメタデータ削除機能を呼び出してメタデータデータベースから当該メタデータを削除する。

#### 4.21. アクセス制限管理サブページ

アクセス制限管理サブページは、メタデータ管理者権限を持つユーザでログイン中のみ表示できる。

アクセス制限管理サブページでは、全てのメタデータを対象としてメタデータのアクセス制限の有無の設定およびアクセス制限されたメタデータにアクセスできるホスト・リファラの設定を行う。

アクセス制限管理サブページは、共通インタフェースのヘッダ部にメタデータ管理者でログイン中に表示される「アクセス制限管理」をクリックして表示する。

アクセス制限管理サブページは他のサブページとは異なり、新しいウィンドウで表示する。

##### (1) メタデータアクセス制限設定画面

アクセス制限管理サブページでは、はじめにメタデータアクセス制限設定画面を表示する。

メタデータアクセス制限設定画面には登録されている全てのメタデータを一覧表示し、メタデータ毎のアクセス制限の有無を設定する。

[許可ホストの設定を行う]
メタデータ管理者 ログイン中 [ログアウト]

### アクセス制限プロキシ - メタデータアクセス制限設定

※ アクセス制限を行うメタデータのチェックボックスをONにして「制限の設定を保存する」を押してください。  
 ※ 背景が黄色 (■) のチェックボックスはアクセス制限が設定済みであることを示しています。  
 ※ 制限を解除する場合はチェックボックスをOFFにします。  
 ※ 保存せずにページを切り替えた場合は設定が無効になります。ページ毎に保存を行って下さい。

(707件)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 >>

キーワード: 
問合せ先: 
公開設定: 全て
絞り込み
表示件数: 50件
並び替え: 登録順(昇順)

制限	タイトル	要約	問合せ先	公開設定
<input type="checkbox"/>	 あめリスク温水予測 (2004年10月9日)	あめリスクによる2004年10月9日の浸水予測図です。	防災科学研究所	ログインユーザに公開
<input type="checkbox"/>	 あめリスク流速予測 (2004年10月9日)	あめリスクによる2004年10月9日の流速予測図です。	防災科学研究所	ログインユーザに公開
<input checked="" type="checkbox"/>	 あめリスク総合危険度予測 (2004年10月9日)	あめリスクによる2004年10月9日の総合危険度予測図です。	防災科学研究所	常に公開
<input checked="" type="checkbox"/>	 地すべり地形分布図	地すべり変動によって形成された地形的痕跡である「地すべり地形」を空中写真の実体視判読によってマッピングし、地形図上にその分布状況を示した図面です。この分布図によって、過去に地すべり変動を起こした場所やその規模、変動状況などの詳細を把握することができます。	独立行政法人 防災科学技術研究所	ログインユーザに公開
<input type="checkbox"/>	 数値地図25000(土地条件)	昭和30年代から調査・刊行されている1/25000土地条件図を基に、地形分類(斜面、変形地、台地・段丘、山麓堆積地形、低地の微高地、凹地・浅い谷、低地の一般面、鏡水地形、水部、人工地形、遡急線等、火山地形)及び等地盤高線などの地物をベクタ形式でデータ化したものです。	国土交通省 国土地理院	常に公開

図 4.21-1 メタデータアクセス制限設定画面

一覧には以下の項目を表示する。

- 制限の有無(チェックボックス)
- サムネイル画像
- タイトル
- 要約
- 問い合わせ先名称
- 公開設定



一覧には初期状態で1ページに最大50件のメタデータを表示する。  
登録されているメタデータが50件を超える場合は、ページャを表示する。  
また、1ページあたりの表示件数は以下から選択して変更できるようにする。

- 20件
- 50件
- 100件
- 200件

一覧に表示されるメタデータの順序は以下から選択して変更できるようにする。

- 登録順降順
- 登録順昇順
- 登録日時降順
- 登録日時昇順

一覧に表示されるメタデータを以下の条件を指定して絞込できるようにする。

- キーワード(タイトルおよび要約に対する部分一致条件)
- 問い合わせ先(問い合わせ先名称に対する部分一致)
- 公開設定(常に公開、ログインユーザに公開、グループに公開、非公開から1つ選択)

一覧に表示されているメタデータの制限の有無(チェックボックス)を設定し、「制限の設定を保存する」をクリックするとサーバに設定を保存する。

保存されるのは常に現在表示されているメタデータのみとし、保存せずにページ切り替え等を行なった場合は設定はリセットされるものとする。

画面右上の「許可ホストの設定を行う」をクリックすると許可ホスト設定画面に遷移する。

一覧中のサムネイルをクリックすると地図表示ページを新しいウィンドウで表示する。

一覧中のタイトルをクリックするとメタデータ詳細ページを表示する。

## (2) 許可ホスト設定画面

許可ホスト設定画面ではアクセス制限されたメタデータへのアクセスが許可されているホスト・リファラを一覧表示し、既存の値の変更、削除および新たな許可ホスト・リファラの追加を行う。

## アクセス制限プロキシ - 許可ホスト設定

- ※ アクセス制限されたメタデータのアクセスを許可するホストまたはリファラを設定します。
- ※ ホスト名/IPアドレスは指定されたホスト（IPアドレス）からのアクセスを許可します。
- ※ リファラは指定されたリファラからのアクセスを許可します。
- ※ 許可を削除するにはホスト名/IPアドレスとリファラの2つともを空欄にします。

ホスト名/IPアドレス	リファラ	メモ
221.246.157.126		
	http://info-bosai.jp/CatalogueService/drieww/	

設定を追加

設定を保存する

図 4.21-2 許可ホスト設定画面

設定1つにつきホスト名/IP アドレスかリファラまたはその両方が設定できるものとする。

メモには許可したホスト・リファラに関する任意のメモを入力できるものとする。

ホスト名/IP アドレスとリファラの両方を空欄にした場合は削除されるものとする。

「設定を追加」ボタンをクリックすると空の入力項目が1行追加されること。

「設定を保存する」をクリックするとサーバに設定を保存する。

画面右上の「メタデータのアクセス制限設定を行う」をクリックするとメタデータアクセス制限設定画面に遷移する。

## 5. メタデータデータベース

以降に、災害リスク情報クリアリングハウスのメタデータデータベースのテーブル構造を示す。  
メタデータデータベースは PostgreSQL9.2 上に作成されるものとする。

### 5.1. メタデータテーブル

#### (1) 説明

メタデータテーブルは、メタデータ本体(XML)と地図データが扱う災害区分を格納する。

#### (2) テーブル構造

表 5.1-1 xmldata テーブル

テーブル名	xmldata			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
id	serial	-	×	主キー
metadata	xml	なし	×	JMP2.0 準拠のメタデータ(XML テキスト)
disastertype	integer	なし	×	災害区分コード※1
createtime	timestamp	now()	×	メタデータを登録した日時
updatetime	timestamp	now()	×	メタデータを更新した日時
dataclass	integer	なし	○	未使用
type	text	なし	○	未使用(廃止予定)
value1	text	なし	○	未使用(廃止予定)
value2	text	なし	○	未使用(廃止予定)

※1 地図データに最も適合する以下の災害区分コードのいずれか。

- 0:なし
- 1:地震
- 2:津波・高潮
- 3:火山
- 4:風水
- 5:土砂
- 6:氷雪
- 7:その他

#### (3) 関連機能

- CSW 機能
- 拡張検索機能
- 新着データ取得機能
- データランキング取得機能
- おすすめデータ取得機能

- 関連データ取得機能
- 同時参照データ取得機能
- マイデータ取得機能
- メタデータ管理機能
- データ評価機能

## 5.2. メタデータ公開設定テーブル

### (1) 説明

メタデータ公開設定テーブルは、メタデータごとの公開状態を格納する。

### (2) テーブル構造

表 5.2-1 openmode テーブル

テーブル名	openmode			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataaid	integer	なし	×	公開するメタデータ metadata テーブルの ID の参照
mode	integer	なし	×	公開モード※1
target	integer	なし	○	メタデータ公開対象のユーザグループの ID 公開モードが 2(ユーザグループに公開)の 場合のみ指定

※1 公開対象を識別する公開モードコードのいずれか。

0:常に公開

1:ログインユーザにのみ公開

2:指定ユーザグループのユーザのみ公開

-1:非公開

### (3) 関連機能

- CSW 機能
- 拡張検索機能
- 新着データ取得機能
- データランキング取得機能
- おすすめデータ取得機能
- 関連データ取得機能
- 同時参照データ取得機能
- メタデータ管理機能
- データ評価機能

### 5.3. キーワードテーブル

#### (1) 説明

キーワードテーブルには、キーワードのあいまい検索で使用するキーワードを格納する。

キーワードテーブルにはキーワード辞書としての辞書項目をキーワード単位に格納する。

#### (2) テーブルの構造

表 5.3-1 keyword テーブル

テーブル名	keyword			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
ID	serial	-	×	主キー
name	text	なし	×	キーワードの表記
yomi	text	なし	○	キーワードのよみ
rome	text	なし	○	キーワードのローマ字表記
createtime	timestamp	now()	×	テーブルにデータが登録された日時
category	integer	なし	×	キーワードカテゴリ(現在未使用のため値は1固定とする)

#### (3) 関連機能

- 拡張検索機能
- キーワードランキング取得機能
- 履歴管理機能

## 5.4. データ関連度テーブル

### (1) 説明

データ関連度テーブルには、災害リスク情報のメタデータ間の関連度を、メタデータ項目ごとに数値化した値を格納する。

### (2) テーブルの構造

表 5.4-1 datarelevancy テーブル

テーブル名	datarelevancy			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataID	integer	なし	×	関連度を定義する基準の災害リスク情報メタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
relid	integer	なし	×	関連度を定義する対象の災害リスク情報メタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
title	double precision	なし	×	タイトルの類似性を数値化した値
abstract	double precision	なし	×	要約の類似性を数値化した値
purpose	double precision	なし	×	目的の類似性を数値化した値
bbox	double precision	なし	×	地理範囲の重なりを数値化した値
category	double precision	なし	×	カテゴリの一致を数値化した値
orgname	double precision	なし	×	問い合わせ先機関の類似性を数値化した値
dataorgname	double precision	なし	×	データの問い合わせ先機関の類似性を数値化した値
keyword	double precision	なし	×	キーワードの一致を数値化した値
dataclass	double precision	なし	×	データ分類の一致を数値化した値
disastertype	double precision	なし	×	災害区分の一致を数値化した値
reluser	double precision	なし	×	同一ユーザによる同一セッション内における参照を数値化した値
total	double precision	なし	×	上記関連度の合計値

### (3) 関連機能

- おすすめデータ取得機能
- 関連データ取得機能
- 関連度計算機能

## 5.5. メタデータアクセス履歴テーブル

### (1) 説明

メタデータアクセス履歴テーブルは、メタデータを参照した履歴を参照単位に格納する。

### (2) テーブルの構造

表 5.5-1 dataaccess テーブル

テーブル名	dataaccess			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataID	integer	なし	×	参照された災害リスク情報メタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
userid	text	なし	○	アクセスしたユーザの ID
remotehost	text		○	アクセスしたリモートホスト名またはアドレス
type	integer		×	参照タイプコード※1
accesstime	timestamp	now()	×	アクセスした日時
sessionid	text		○	アクセス時のセッション ID
referer	text		○	アクセス元のリファラ

※1 参照タイプコードは参照の形態によって分けられた以下のいずれかのコード。

- 1: メタデータ詳細の参照
- 2: 地図上へのプレビューによる参照
- 3: 利用システムへ送信
- 4: 災害リスク情報実データの参照

### (3) 関連機能

- データランキング取得機能
- おすすめデータ取得機能
- 同時参照データ取得機能
- 履歴管理機能



## 5.6. メタデータアクセス履歴集計テーブル

### (1) 説明

メタデータアクセス履歴集計テーブルは、メタデータアクセス履歴テーブルからメタデータ ID ごとに集計したアクセス件数を格納する。

### (2) テーブルの構造

表 5.6-1 dataaccesssum テーブル

テーブル名	dataaccesssum			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataID	integer	なし	×	参照された災害リスク情報メタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
type	integer		×	参照タイプコード※1
summary	integer		×	参照された回数の合計

※1 参照タイプコードは参照の形態によって分けられた以下のいずれかのコード。

- 1: メタデータ詳細の参照
- 2: 地図上へのプレビューによる参照
- 3: 利用システムへ送信
- 4: 災害リスク情報実データの参照

### (3) 関連機能

- データランキング取得機能
- おすすめデータ取得機能
- 同時参照データ取得機能
- 履歴管理機能

## 5.7. メタデータアクセス履歴集計（日毎）テーブル

### (1) 説明

メタデータアクセス履歴集計（日毎）テーブルは、メタデータアクセス履歴テーブルからメタデータ ID ごと、アクセス日毎に集計したアクセス件数を格納する。

### (2) テーブルの構造

表 5.7-1 dataaccessdaily テーブル

テーブル名	dataaccessdaily			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataID	integer	なし	×	参照された災害リスク情報メタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
accesstime	timestamp	なし	×	アクセス日、時刻は全て 00:00:00 とする
type	integer	なし	×	参照タイプコード※1
summary	integer	なし	×	参照された回数の合計

※1 参照タイプコードは参照の形態によって分けられた以下のいずれかのコード。

- 1: メタデータ詳細の参照
- 2: 地図上へのプレビューによる参照
- 3: 利用システムへ送信
- 4: 災害リスク情報実データの参照

### (3) 関連機能

- データランキング取得機能
- おすすめデータ取得機能
- 同時参照データ取得機能
- 履歴管理機能

## 5.8. キーワード指定履歴テーブル

### (1) 説明

キーワード指定履歴テーブルは、災害リスク情報クリアリングハウスに対してキーワードを条件として検索を行った際に指定されたキーワードの履歴を検索が行われた単位に格納する。

### (2) テーブル構造

表 5.8-1 keywordspecify テーブル

テーブル名	keywordspecify			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
requestid	text	なし	×	検索リクエストを識別する ID
keywordID	integer	なし	×	指定されたキーワード keyword テーブルのカラム ID の参照
userid	text	なし	○	検索を行ったユーザの ID
remotehost	text	なし	○	検索を行ったりリモートホスト名またはアドレス
type	integer	なし	×	条件区分コード※1
result	integer	なし	×	検索されたデータの件数
specifytime	timestamp	now()	×	検索を行った日時
condition	text	なし	×	検索リクエストに指定されたクエリ
sessionid	text		○	検索時のセッション ID
referer	text		○	検索元のリファラ

※1 条件区分コードはキーワードを条件として指定した区分を表す以下のコードのいずれか。

- 1: AND 条件
- 2: OR 条件
- 3: NOT 条件

### (3) 関連機能

- キーワードランキング取得機能
- 履歴管理機能

## 5.9. データ評価テーブル

### (1) 説明

データ評価テーブルは、災害リスク情報に対してユーザが与えた評価を格納する。

### (2) テーブル構造

表 5.9-1 rating テーブル

テーブル名	rating			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataID	integer	なし	×	評価が与えられた災害リスク情報メタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
userid	text	なし	○	評価を与えたユーザの ID
remotehost	text	なし	○	評価を与えたリモートホスト名またはアドレス
value	integer	なし	×	評価値※1
ratetime	timestamp	now()	×	評価を与えた日時
sessionid	text		○	評価時のセッション ID
referer	text		○	評価元のリファラ

※1 評価値は以下のコードいずれか。

- 5: とても役に立つ
- 4: 役に立つ
- 3: 普通
- 2: あまり役に立たない
- 1: 役に立たない
- 0: 不要

### (3) 関連機能

- 拡張検索機能
- おすすめデータ取得機能
- データ評価機能

## 5.10. ロックテーブル

### (1) 説明

ロックテーブルはシステムの内部処理の実行の競合を制御するためのロック情報を格納する。

### (2) テーブル構造

表 5.10-1 locktable テーブル

テーブル名	locktable			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
category	text	なし	×	ロックカテゴリ
lockid	text	なし	×	ロックを識別するユニークな ID
locktime	timestamp	なし	×	ロックを行なった日時

### (3) 関連機能

- 関連度計算機能

## 5.11. メタデータ定型情報テーブル

### (1) 説明

メタデータ定型情報テーブルは、ユーザごとのメタデータの初期値を格納する。

### (2) テーブル構造

表 5.11-1 usermdtmp テーブル

テーブル名	locktable			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
id	serial	-	×	主キー
updatetime	timestamp	なし	×	定型情報を更新した日時
tempdata	xml	なし	×	JMP2.0 準拠のメタデータ(XML テキスト)
userid	text	なし	×	利用者アカウントのログイン ID

### (3) 関連機能

- メタデータ定型情報取得機能

- メタデータ定型情報保存機能

## 5.12. メタデータ同時アクセス履歴集計テーブル

### (1) 説明

メタデータ同時アクセス履歴集計テーブルは、メタデータアクセス履歴テーブルから同一セッションでアクセスされたメタデータのアクセス件数を格納する。

### (2) テーブルの構造

表 5.12-1 alsoviewed テーブル

テーブル名	alsoviewed			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataID	integer	なし	×	参照された災害リスク情報メタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
alsoviewid	integer	なし	×	metadataID と同一セッションで参照されたメタ データの ID metadata テーブルのカラム ID の参照
viewcount	integer	なし	×	alsoviewid が参照された回数

### (3) 関連機能

- 同時参照データ取得機能

### 5.13. アクセス制限管理テーブル

(1) 説明

アクセス制限管理テーブルは、メタデータごとのアクセス制限の有無を格納する。

(2) テーブルの構造

表 5.13-1 restriction テーブル

テーブル名	restriction			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
metadataID	integer	なし	×	制限の有無を設定するメタデータ metadata テーブルのカラム ID の参照
viewcount	integer	なし	×	制限モード※1

※1 制限モードは以下のコードいずれか。

0: 制限しない

1: 制限する

(3) 関連機能

- アクセス制限管理機能



## 5.14. 許可ホスト管理テーブル

### (1) 説明

許可ホスト管理テーブルは、アクセス制限されたメタデータへのアクセスが許可されたホスト・リファラの情報を格納する。

### (2) テーブルの構造

表 5.14-1 allowhosts テーブル

テーブル名	allowhosts			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
no	integer	なし	×	設定画面での表示順序
hostname	text	なし	○	許可するホスト名または IP アドレス
referer	text	なし	○	許可するリファラ URL
comment	text	なし	○	任意のコメント

### (3) 関連機能

- アクセス制限管理機能

## 6. アカウントデータベース

以降に、災害リスク情報クリアリングハウスのアカウントデータベースのテーブル構造を示す。  
メタデータデータベースは PostgreSQL9.2 上に作成されるものとする。

### 6.1. アカウントテーブル

#### (1) 説明

アカウントの基本情報を格納する。

#### (2) テーブル構造

表 6.1-1 account テーブル

テーブル名	account			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
id	integer	serial	×	アカウント id。
loginanme	varchar(64)		×	アカウント名。
password	varchar(64)		×	パスワード。
valid	boolean		×	有効フラグ。 TRUE: 有効。 FALSE: 無効。
validuntil	timestamp		○	有効期限。 NULL の場合は無期限。
accountstatus	integer		×	アカウント状態フラグ。 0: 削除状態。
accountstatuslimit	timestamp		○	アカウント状態期限。 NULL の場合は無期限。
accountstatusmessage	text		○	アカウント状態通知メッセージ。
passowrdstatus	integer		×	パスワード有効フラグ。 0: 無効。 1: 有効。
passwordstatuslimit	timestamp		○	パスワード有効期限。 NULL の場合は無期限。

## 6.2. アカウントプロフィールテーブル

### (1) 説明

アカウントのプロフィールを格納する。

### (2) テーブル構造

表 6.2-1 profile テーブル

テーブル名	profile			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
accounted	integer		×	アカウント ID。
createtime	timestamp	now()	×	作成日時。
updatetime	timestamp	now()	×	更新日時。
username	text		×	ユーザ名。
occupation	text		○	業種。
address	text		○	連絡先住所。
tel	text		○	連絡先電話番号。
email	text		○	連絡先メールアドレス。
description	text		○	備考。

### 6.3. ユーザグループテーブル

(1) 説明

ユーザグループ情報を保管する。

(2) テーブル構造

表 6.3-1 accountgroup テーブル

テーブル名	accountgroup			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
id	serial	-	×	ユーザグループ ID。
name	varchar(64)		×	ユーザグループ名。
valid	boolean		×	有効フラグ。 TRUE:有効。 FALSE:無効。
validuntil	timestamp		○	有効期限。 NULL の場合は無期限。
description	text		○	備考。

## 6.4. ユーザグループリンクテーブル

### (1) 説明

アカウントとユーザグループを結びつけるリンク情報を格納する。

### (2) テーブル構造

表 6.4-1 accountgrouplink テーブル

テーブル名	accountgrouplink			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
accountid	integer		×	アカウント ID。
accountgroupid	integer		×	ユーザグループ ID。

## 6.5. アカウント権限テーブル

### (1) 説明

アカウントの管理権限を格納する。

accounttype カラムと accountid カラムに一致するすべてのアカウントに対して、id カラムのアカウントに対する権限 (permission 権限) を付与する。

### (2) テーブル構造

表 6.5-1 account テーブル

テーブル名	accountpermission			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
id	integer		×	権限対象 id。 -1:すべてのアカウント 0以上の数値:アカウント id
accounttype	integer		×	権限付与対象種類。 0:アカウント 1:ユーザグループ
accountid	integer		×	権限付与対象 id。accounttype が 0の場合はアカウント ID。 1の場合はユーザグループ ID。
createtime	timestamp		○	作成日時。
permission	integer		×	権限レベル。※1

※1 6ビット数値により管理権限の有無を表現する。

0ビット目:閲覧権限

1ビット目:登録権限

2ビット目:更新権限

3ビット目:削除権限

4ビット目:有効付与権限

5ビット目:権限付与権限

例外として、-1の場合は、管理者(すべての権限を持つ)とする。※6ビット全てが有効の場合の63とは異なる。

## 6.6. メタデータ権限テーブル

### (1) 説明

メタデータの管理権限を格納する。

accounttype カラムと accountid カラムに一致するすべてのアカウントに対して、id カラムのメタデータに対する権限レベル(permission 権限)を付与する。

### (2) テーブル構造

表 6.6-1 metadatapermission テーブル

テーブル名	metadatapermission			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
id	integer		×	権限対象 id。 -1:すべてのメタデータ 0以上の数値:メタデータ id
accounttype	integer		×	権限付与対象種類。 0:アカウント 1:ユーザグループ
accountid	integer		×	権限付与対象 id。accounttype が 0の場合はアカウント ID。 1の場合はユーザグループ ID。
createtime	timestamp		○	作成日時。
permission	integer		×	権限レベル。※1

※1 6ビット数値により管理権限の有無を表現する。

0ビット目:閲覧権限

1ビット目:登録権限

2ビット目:更新権限

3ビット目:削除権限

4ビット目:有効付与権限

5ビット目:権限付与権限

例外として、-1の場合は、管理者(すべての権限を持つ)とする。※6ビット全てが有効の場合の63とは異なる。

## 7. 住所データベース

以降に、災害リスク情報クリアリングハウスの住所データベースのテーブル構造を示す。  
メタデータデータベースは PostgreSQL9.2 上に作成されるものとする。

### 7.1. 住所テーブル

#### (1) 説明

住所テーブルは住所データ(県、市区町村)を格納する。

#### (2) テーブル構造

表 7.1-1 address テーブル

テーブル名	address			
カラム名	型	デフォルト	NULL 許可	説明
id	integer	なし	×	主キー
level	integer	なし	×	行政レベル※1
code	text	なし	×	県コードまたは市区町村コード
addresss	text	なし	×	住所文字列
bbox	box	なし	×	行政界の外接矩形

※1 県または市区町村を識別する次のいずれかのコード

1: 県

2: 市区町村

#### (3) 関連機能

- 住所検索機能



## 8. システム設定ファイル

以降に災害リスク情報クリアリングハウスのシステム設定ファイルの定義を示す。

### 8.1. メタデータデータベース情報設定ファイル

(1) ファイル名

dbcp.properties

(2) 格納場所

[コンテキストのパス]/WEB-INF/classes/

(3) 目的

メタデータデータベースに接続するための情報を格納する。

(4) ファイルフォーマット

以下の構造の Java プロパティファイル

表 8.1-1 dbcp.properties

```
driverClassName=org.postgresql.Driver
url=jdbc:postgresql://localhost/metadata_csw
username=postgres
password=
initialSize=2
maxActive=512
maxIdle=2
maxWait=5000
validationQuery=select 1
```

このファイルは上記の内容固定とする。

(5) 関連機能

- CSW 機能

(6) その他

ファイルの内容は変更してはならない。

文字コードは UTF-8。

### 8.2. 住所データベース情報設定ファイル

(1) ファイル名

niedcsw\_address.properties

(2) 格納場所

[コンテキストのパス]/WEB-INF/classes/

(3) 目的

住所データベースに接続するための情報を格納する。

(4) ファイルフォーマット

以下の構造の Java プロパティファイル

表 8.2-1 niedcsw\_address.properties

<code>georect.dbur  = jdbc:postgresql://localhost/georect?user=postgres&amp;password=''</code>
--

このファイルは上記の内容固定とする。

(5) 関連機能

- 住所検索機能

(6) その他

ファイルの内容は変更してはならない。

### 8.3. ヘッダ・フッタ情報設定ファイル

(1) ファイル名

headerfooter.properties

(2) 格納場所

[コンテキストのパス]/WEB-INF/conf/

(3) 目的

トップページに表示するヘッダー、フッター情報を格納する。

(4) ファイルフォーマット

以下の構造の Java プロパティファイル

表 8.3-1 headerfooter.properties

<code>header.title = &lt;ヘッダーのタイトル&gt;</code>
<code>footer.contact_name = &lt;フッターの問合せ先名称&gt;</code>
<code>footer.contact_address = &lt;フッターの問合せ先住所&gt;</code>

footer.contact\_telno = <フッターの問合せ先電話番号>

- ヘッダータイトル - ヘッダーに表示するタイトル。
- フッターの問合せ先名称 - フッターに表示する問合せ先の名称。
- フッターの問合せ先住所 - フッターに表示する問合せ先の住所。
- フッターの問合せ先電話番号 - フッターに表示する問合せ先の電話番号。

(5) 関連機能

- システム設定機能

(6) その他

システム設定機能で設定を行うため、ファイルを直接編集してはならない。

文字コードは UTF-8。

設定ファイルのパーミッションは、tomcat 実行ユーザで読み書き許可の設定をすること。

## 8.4. リンク情報設定ファイル

### (1) ファイル名

link.properties

### (2) 格納場所

[コンテキストのパス]/WEB-INF/conf/

### (3) 目的

トップページに表示するリンク情報を格納する。

### (4) ファイルフォーマット

以下の構造の Java プロパティファイル

表 8.4-1 link.properties

```
link.name1 = <リンク先名称 1>
link.url1 = <リンク先 URL 1>
link.name2 = <リンク先名称 2>
link.url2 = <リンク先 URL 2>
. . .
link.name5 = <リンク先名称 5>
link.url5 = <リンク先 URL 5>
```

リンク先名称 - リンク先の名称。

リンク先 URL - リンク先の URL。

### (5) 関連機能

- システム設定機能

### (6) その他

システム設定機能で設定を行うため、ファイルを直接編集してはならない。

リンク先情報は、5件固定。

文字コードは UTF-8。

設定ファイルのパーミッションは、tomcat 実行ユーザで読み書き許可の設定をすること。

## 8.5. 問い合わせメール設定ファイル

### (1) ファイル名

MailTransfer.properties

### (2) 格納場所

[コンテキストのパス]/WEB-INF/classes/

(3) 目的

問合せ先の内容をメール送信するための情報を格納する。

(4) ファイルフォーマット

以下の構造の Java プロパティファイル

表 8.5-1 MailTransfer.properties

mail.smtp.host = <メール送信サーバ名>
mail.host = <接続するホスト名>
mail.sendto_address = <送信先メールアドレス>
mail.from_address = <送信元メールアドレス>
mail.from_name = <送信元名>
mail.subject = <メールタイトル>

- メール送信サーバ名 - SMTP サーバ名。
- 接続するホスト名 - SMTP サーバ名と同じ。
- 送信先メールアドレス - メール送信先アドレス。複数ある場合はカンマで区切る。
- 送信元メールアドレス - メール送信元アドレス。
- 送信元名 - メール送信元名。
- メールタイトル - 送信メールのタイトル。

(5) 関連機能

- 問い合わせ機能

(6) その他

設定はテキストエディタでファイルを直接編集する。  
文字コードは UTF-8。

## 8.6. 分散検索サーバ設定ファイル

(1) ファイル名

distributed\_nied\_servers.properties

(2) 格納場所

[コンテキストのパス]/WEB-INF/classes/

(3) 目的

CSW による分散検索を行うサーバの URL 等を設定する

(4) ファイルフォーマット

以下の構造の Java プロパティファイル

表 8.6-1 distributed\_servers.properties

server-1, <リクエスト先 URL 1>, <ラベル 1>
server-2, <リクエスト先 URL 2>, <ラベル 2>
...
server-n, <リクエスト先 URL n>, <ラベル n>

リクエスト先 URL - 分散検索先のサーバの CSW の URL。

ラベル - 分散検索先のサーバの識別名

(5) 関連機能

- CSW 機能
- 拡張検索機能

(6) その他

設定はテキストエディタでファイルを直接編集する。

## 8.7. ゲートウェイ画面設定ファイル

(1) ファイル名

drigw.properties

(2) 格納場所

[コンテキストのパス]/WEB-INF/classes/

(3) 目的

ゲートウェイ画面の各種設定を行う

(4) ファイルフォーマット

以下の構造の Java プロパティファイル

表 8.7-1 drigw.properties

FID_PREFIX=<ファイル識別子接頭語>
-------------------------

ファイル識別子接頭語 - メタデータ新規登録時のファイル識別子自動生成で使用する接頭語。半角英数字記号

のみ。

(5) 関連機能

- メタデータ新規登録画面

(6) その他

設定はテキストエディタでファイルを直接編集する。

## 9. コード定義

以降に、災害リスク情報クリアリングハウスで使用するコードの定義を示す。

### 9.1. 災害区分コード

メタデータの関連する災害の区分を識別するコード

表 9.1-1 災害区分コード

コード	意味
1	地震
2	津波・高潮
3	火山
4	風水
5	土砂
6	氷雪
7	その他

### 9.2. 公開モードコード

メタデータの公開設定に使用するコード

表 9.2-1 公開モードコード

コード	意味
0	常に公開
1	ログインユーザにのみ公開
2	指定ユーザグループのユーザのみ公開
-1	非公開

### 9.3. 参照タイプコード

メタデータのアクセス履歴の分類に使用するコード。

表 9.3-1 参照タイプコード

コード	意味
1	メタデータ詳細の参照
2	地図上へのプレビューによる参照
3	利用システムへ送信
4	災害リスク情報実データの参照



#### 9.4. 条件区分コード

キーワードの検索条件指定履歴の指定方法の識別に使用するコード

表 9.4-1 条件区分コード

コード	意味
1	AND 条件
2	OR 条件
3	NOT 条件

#### 9.5. 評価コード

メタデータの評価に使用するコード

表 9.5-1 評価コード

コード	意味
5	とても役に立つ
4	役に立つ
3	普通
2	あまり役に立たない
1	役に立たない
0	不要

#### 9.6. サービス区分コード

地図データ提供サービスの区分に使用するコード

表 9.6-1 サービス区分コード

コード	意味
WMS	OGC Web Map Service
WFS	OGC Web Feature Service
WCS	OGC Web Coverage Service
XYZ	XYZ タイル地図
TMS	OGC Tile Map Service
JSON	JSON 形式のデータ提供
KML	KML 形式のデータ提供
GML	GML 形式のデータ提供
SHP	Shape 形式のデータ提供
WEB	Web サイトによるサービス

## 10. メタデータスキーマ定義

拡張項目を含むメタデータスキーマ定義は以下の通り。

### 10.1. 名前空間

名前空間 URI

`http://schemas.info-bosai.jp/ch/jmpex`

接頭辞

`jmp20ex`

### 10.2. スキーマ定義

スキーマ定義は以下の通りとする。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema
  targetNamespace="http://schemas.info-bosai.jp/ch/jmpex/"
  xmlns:jmp20ex="http://schemas.info-bosai.jp/ch/jmpex/"
  xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  elementFormDefault="qualified" version="1.0">
<!--
=====
Japan Metadata Profile Classes
=====
-->
<!-- ===== MD_Metadata ===== -->
<xs:complexType name="MD_Metadata">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="identificationInfo">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:_MD_Identification"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element name="dataQualityInfo" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:DQ_DataQuality" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element name="distributionInfo" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:MD_Distribution"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element name="referenceSystemInfo" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:MD_ReferenceSystem" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element name="fileIdentifier" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

```

```

    <xs:element name="language" type="jmp20ex:LanguageType"/>
    <xs:element name="characterSet" type="jmp20ex:MD_CharacterSetCode"/>
    <xs:element name="parentIdentifier" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"
/>
    <xs:element name="hierarchyLevel" type="jmp20ex:MD_ScopeCode" minOccurs="0" maxO
ccurs="unbounded"/>
    <xs:element name="hierarchyLevelName" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="
0" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element name="contact" type="jmp20ex:CI_ResponsibleParty"/>
    <xs:element name="dateStamp" type="jmp20ex:Date"/>
    <xs:element name="metadataStandardName" type="jmp20ex:CharacterString" default="
JMP" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="metadataStandardVersion" type="jmp20ex:CharacterString" defaul
t="2.0" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_Metadata" type="jmp20ex:MD_Metadata"/>
<!-- ===== MD_Identification ===== -->
<xs:complexType name="_MD_Identification" abstract="true">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="citation" type="jmp20ex:CI_Citation"/>
        <xs:element name="abstract" type="jmp20ex:nonNullString"/>
        <xs:element name="purpose" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="status" type="jmp20ex:MD_ProgressCode" minOccurs="0" maxOccurs
="unbounded"/>
        <xs:element name="pointOfContact" type="jmp20ex:CI_ResponsibleParty" minOccurs="
0" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element name="resourceConstraints" minOccurs="0">
            <xs:complexType>
                <xs:sequence>
                    <xs:element ref="jmp20ex:MD_Constraints" maxOccurs="unbounded"/>
                </xs:sequence>
            </xs:complexType>
        </xs:element>
        <xs:element name="descriptiveKeywords" minOccurs="0">
            <xs:complexType>
                <xs:sequence>
                    <xs:element ref="jmp20ex:MD_Keywords" maxOccurs="unbounded"/>
                </xs:sequence>
            </xs:complexType>
        </xs:element>
        <xs:element name="graphicOverview" minOccurs="0">
            <xs:complexType>
                <xs:sequence>
                    <xs:element ref="jmp20ex:MD_BrowseGraphic" maxOccurs="unbounded"/>
                </xs:sequence>
            </xs:complexType>
        </xs:element>
        <xs:element name="aggregationInfo" minOccurs="0">
            <xs:complexType>
                <xs:sequence>
                    <xs:element ref="jmp20ex:MD_AggregateInformation" maxOccurs="unbound
ed"/>
                </xs:sequence>
            </xs:complexType>
        </xs:element>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
</xs:element>
</xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="_MD_Identification" type="jmp20ex:_MD_Identification" abstract="true"/
>
<!-- ===== MD_BrowseGraphic ===== -->
<xs:complexType name="MD_BrowseGraphic">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="fileName" type="jmp20ex:nonNullString"/>
        <xs:element name="fileDescription" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/
>
    >

```

```

        <xs:element name="fileType" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_BrowseGraphic" type="jmp20ex:MD_BrowseGraphic"/>
<!-- ===== MD_DataIdentification ===== -->
<xs:complexType name="MD_DataIdentification">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:_MD_Identification">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="spatialRepresentationType" type="jmp20ex:MD_SpatialRepresentationTypeCode" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="spatialResolution" type="jmp20ex:MD_Resolution" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="language" type="jmp20ex:LanguageType" maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="characterSet" type="jmp20ex:MD_CharacterSetCode" maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="topicCategory" type="jmp20ex:MD_TopicCategoryCode" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="extent" type="jmp20ex:EX_Extent" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_DataIdentification" type="jmp20ex:MD_DataIdentification" substitutionGroup="jmp20ex:_MD_Identification">
    <xs:annotation>
        <xs:documentation>
            *** -- if MD_Metadata.hierarchyLevel isn't "dataset" (005), then topicCategory is not mandatory
            *** -- if MD_Metadata.hierarchyLevel equals "dataset" (005), then
                (count (extent.geographicElement.EX_GeographicBoundingBox)
                 + count (extent.geographicElement.EX_CoordinateBoundingBox)
                 + count (extent.geographicElement.EX_GeographicDescription) &gt;= 1)
            *** let level = MD_Metadata:hierarchyLevel
            *** let isDataSet (t : String) : Boolean = ( t = 'dataset' or t = '005')
            *** if (isDataSet(level)) then (
            *** self.extent-&gt;count(EX_GeographicDescription) + self.extent-&gt;count(EX_GeographicBoundingBox) &gt;= 0
            *** ) else (
            *** self.topicCategory-&gt;size() &gt;= 0
            *** )
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
</xs:element>
<!-- ===== MD_RepresentativeFraction ===== -->
<xs:complexType name="MD_RepresentativeFraction">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="denominator" type="jmp20ex:positiveInteger"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_RepresentativeFraction" type="jmp20ex:MD_RepresentativeFraction"/>
<!-- ===== MD_Resolution ===== -->
<xs:complexType name="MD_Resolution">
    <xs:choice>
        <xs:element name="equivalentScale" type="jmp20ex:MD_RepresentativeFraction"/>
        <xs:element name="distance" type="jmp20ex:Distance"/>
    </xs:choice>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_Resolution" type="jmp20ex:MD_Resolution"/>
<!-- ===== MD_Keywords ===== -->
<xs:complexType name="MD_Keywords">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="keyword" type="jmp20ex:nonNullString" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element name="type" type="jmp20ex:MD_KeywordTypeCode" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>

```

```

    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="MD_Keywords" type="jmp20ex:MD_Keywords"/>
  <!-- ===== MD_Constraints ===== -->
  <xs:complexType name="MD_Constraints">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="useLimitation" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0" ma
xOccurs="unbounded"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="MD_Constraints" type="jmp20ex:MD_Constraints"/>
  <!-- ===== LI_Lineage ===== -->
  <xs:complexType name="LI_Lineage">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="statement" type="jmp20ex:CharacterString"/>
      <xs:element name="processStep" minOccurs="0">
        <xs:complexType>
          <xs:sequence>
            <xs:element ref="jmp20ex:LI_ProcessStep" maxOccurs="unbounded"/>
          </xs:sequence>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
      <xs:element name="source" minOccurs="0">
        <xs:complexType>
          <xs:sequence>
            <xs:element ref="jmp20ex:LI_Source" maxOccurs="unbounded"/>
          </xs:sequence>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="LI_Lineage" type="jmp20ex:LI_Lineage"/>
  <!-- ===== DQ_ConformanceResult ===== -->
  <xs:complexType name="DQ_ConformanceResult">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="jmp20ex:_DQ_Result">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="specification" type="jmp20ex:CI_Citation"/>
          <xs:element name="explanation" type="jmp20ex:nonNullString"/>
          <xs:element name="pass" type="jmp20ex:DQ_PassCode"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DQ_ConformanceResult" type="jmp20ex:DQ_ConformanceResult" substitution
Group="jmp20ex:_DQ_Result"/>
  <!-- ===== DQ_QuantitativeResult ===== -->
  <xs:complexType name="DQ_QuantitativeResult">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="jmp20ex:_DQ_Result">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="valueUnit" type="jmp20ex:UnitOfMeasure"/>
          <xs:element name="errorStatistic" type="jmp20ex:CharacterString" minOccu
rs="0"/>
          <xs:element name="value" type="jmp20ex:Value" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DQ_QuantitativeResult" type="jmp20ex:DQ_QuantitativeResult" substituti
onGroup="jmp20ex:_DQ_Result"/>
  <!-- ===== DQ_Result ===== -->
  <xs:complexType name="_DQ_Result" abstract="true"/>
  <xs:element name="_DQ_Result" type="jmp20ex:_DQ_Result" abstract="true"/>
  <!-- ===== DQ_Element ===== -->
  <xs:complexType name="DQ_Element">

```

```

    <xs:sequence>
      <xs:element name="evaluationMethodDescription" type="jmp20ex:CharacterString" mi
nOccurs="0"/>
      <xs:element name="typeOfQualityEvaluation" type="jmp20ex:DQ_TypeOfQualityEvaluat
ionCode"/>
      <xs:element name="result">
        <xs:complexType>
          <xs:sequence>
            <xs:element ref="jmp20ex:_DQ_Result" maxOccurs="2"/>
          </xs:sequence>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DQ_Element" type="jmp20ex:DQ_Element"/>
  <!-- ===== DQ_DataQuality ===== -->
  <xs:complexType name="DQ_DataQuality">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="scope" type="jmp20ex:DQ_Scope"/>
      <xs:element name="lineage" minOccurs="0">
        <xs:complexType>
          <xs:sequence>
            <xs:element ref="jmp20ex:LI_Lineage"/>
          </xs:sequence>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
      <xs:element name="report" minOccurs="0">
        <xs:complexType>
          <xs:sequence>
            <xs:element ref="jmp20ex:DQ_Element" maxOccurs="unbounded"/>
          </xs:sequence>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DQ_DataQuality" type="jmp20ex:DQ_DataQuality">
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>
        *** -- "report" or "lineage" role is mandatory if scope.DQ_Scope.level = 'd
ataset' (005)
        *** if (self.scope.level = 'dataset' or self.scope.level = '005') then
              (self.lineage-&gt;size() + self.report-&gt;size() &gt; 0)
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  <!-- ===== DQ_Scope ===== -->
  <xs:complexType name="DQ_Scope">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="level" type="jmp20ex:MD_ScopeCode"/>
      <xs:element name="extent" type="jmp20ex:EX_Extent" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="levelDescription" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DQ_Scope" type="jmp20ex:DQ_Scope">
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>
        *** -- "levelDescription" is mandatory if "level" not equal "dataset" (005)
or "series" (006)
        *** if (self.level &lt;&gt; 'dataset' and self.level &lt;&gt; '005' and sel
f.level &lt;&gt; 'series' and self.level &lt;&gt; '006') then self.levelDescription-&gt;notE
mpty()
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  <!-- ===== RS_Identifier ===== -->

```

```

<xs:complexType name="RS_Identifier">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jmp20ex:MD_Identifier"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RS_Identifier" type="jmp20ex:RS_Identifier" substitutionGroup="jmp20ex:MD_Identifier"/>
<!-- ===== MD_ReferenceSystem ===== -->
<xs:complexType name="MD_ReferenceSystem">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="referenceSystemIdentifier" type="jmp20ex:RS_Identifier"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_ReferenceSystem" type="jmp20ex:MD_ReferenceSystem"/>
<!-- ===== MD_Identifier ===== -->
<xs:complexType name="MD_Identifier">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="authority" type="jmp20ex:CI_Citation" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="code" type="jmp20ex:nonNullString"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_Identifier" type="jmp20ex:MD_Identifier"/>
<!-- ===== MD_Medium ===== -->
<xs:complexType name="MD_Medium">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="name" type="jmp20ex:MD_MediumNameCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="mediumNote" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_Medium" type="jmp20ex:MD_Medium"/>
<!-- ===== MD_DigitalTransferOptions ===== -->
<xs:complexType name="MD_DigitalTransferOptions">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="onLine" type="jmp20ex:CI_OnlineResource" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element name="offLine" type="jmp20ex:MD_Medium" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_DigitalTransferOptions" type="jmp20ex:MD_DigitalTransferOptions"/>
<!-- ===== MD_Distribution ===== -->
<xs:complexType name="MD_Distribution">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="distributionFormat">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:MD_Format" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element name="transferOptions" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:MD_DigitalTransferOptions" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
</xs:element>
</xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_Distribution" type="jmp20ex:MD_Distribution"/>
<!-- ===== MD_Format ===== -->
<xs:complexType name="MD_Format">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="name" type="jmp20ex:nonNullString"/>
    <xs:element name="version" type="jmp20ex:nonNullString"/>
  </xs:sequence>

```

```

</xs:complexType>
<xs:element name="MD_Format" type="jmp20ex:MD_Format"/>
<!--

```

---

## JMP2.0 Data Type Classes

---

```

-->
<!-- Type EX_Extent Classes -->
<!-- ===== EX_TemporalExtent ===== -->
<xs:complexType name="EX_TemporalExtent">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="extent" type="jmp20ex:TimeDuration"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="EX_TemporalExtent" type="jmp20ex:EX_TemporalExtent"/>
<!-- ===== EX_VerticalExtent ===== -->
<xs:complexType name="EX_VerticalExtent">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="minimumValue" type="jmp20ex:Real"/>
    <xs:element name="maximumValue" type="jmp20ex:Real"/>
    <xs:element name="unitOfMeasure" type="jmp20ex:UomLength"/>
    <xs:element name="verticalDatum">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:SC_VerticalDatum"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="EX_VerticalExtent" type="jmp20ex:EX_VerticalExtent"/>
<!-- Class SC_VerticalDatum -->
<xs:complexType name="SC_VerticalDatum">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="datumID" type="jmp20ex:RS_Identifier"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="SC_VerticalDatum" type="jmp20ex:SC_VerticalDatum"/>
<!-- ===== EX_BoundingPolygon ===== -->
<xs:complexType name="EX_BoundingPolygon">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jmp20ex:_EX_GeographicExtent">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="polygon" type="jmp20ex:Surface" maxOccurs="unbounded"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="EX_BoundingPolygon" type="jmp20ex:EX_BoundingPolygon" substitutionGroup="jmp20ex:_EX_GeographicExtent"/>
<!-- ===== EX_Extent ===== -->
<xs:complexType name="EX_Extent">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="description" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="verticalElement" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:EX_VerticalExtent" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element name="temporalElement" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:EX_TemporalExtent" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

```



```

        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element name="geographicElement" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:_EX_GeographicExtent" minOccurs="unbounded"
/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="EX_Extent" type="jmp20ex:EX_Extent">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>
      *** self.description-&gt;size() +
          self.geographicElement-&gt;size() +
          self.temporalElement-&gt;size() +
          self.verticalElement-&gt;size() &gt; 0
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
<!-- ===== _EX_GeographicExtent ===== -->
<xs:complexType name="_EX_GeographicExtent" abstract="true">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="extentTypeCode" type="jmp20ex:EX_ExTypeCode" default="1" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="extentReferenceSystem" type="jmp20ex:RS_Identifier" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="_EX_GeographicExtent" type="jmp20ex:_EX_GeographicExtent" abstract="true"/>
<!-- ===== EX_GeographicBoundingBox ===== -->
<xs:complexType name="EX_GeographicBoundingBox">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jmp20ex:_EX_GeographicExtent">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="westBoundLongitude" type="jmp20ex:approximateLongitude"
/>
        <xs:element name="eastBoundLongitude" type="jmp20ex:approximateLongitude"
/>
        <xs:element name="southBoundLatitude" type="jmp20ex:approximateLatitude"
/>
        <xs:element name="northBoundLatitude" type="jmp20ex:approximateLatitude"
/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="EX_GeographicBoundingBox" type="jmp20ex:EX_GeographicBoundingBox" substitutionGroup="jmp20ex:_EX_GeographicExtent"/>
<!-- ===== EX_CoordinateBoundingBox ===== -->
<xs:complexType name="EX_CoordinateBoundingBox">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jmp20ex:_EX_GeographicExtent">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="westBoundCoordinate" type="jmp20ex:Real"/>
        <xs:element name="eastBoundCoordinate" type="jmp20ex:Real"/>
        <xs:element name="southBoundCoordinate" type="jmp20ex:Real"/>
        <xs:element name="northBoundCoordinate" type="jmp20ex:Real"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

    <xs:element name="EX_CoordinateBoundingBox" type="jmp20ex:EX_CoordinateBoundingBox" substitutionGroup="jmp20ex:_EX_GeographicExtent"/>
    <!-- ===== EX_GeographicDescription ===== -->
    <xs:complexType name="EX_GeographicDescription">
      <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:_EX_GeographicExtent">
          <xs:sequence>
            <xs:element name="geographicIdentifier" type="jmp20ex:MD_Identifier"/>
          </xs:sequence>
        </xs:extension>
      </xs:complexContent>
    </xs:complexType>
    <xs:element name="EX_GeographicDescription" type="jmp20ex:EX_GeographicDescription" substitutionGroup="jmp20ex:_EX_GeographicExtent"/>
    <!-- Type CI_Citation Classes -->
    <!-- ===== CI_Citation ===== -->
    <xs:complexType name="CI_Citation">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="title" type="jmp20ex:nonNullString"/>
        <xs:element name="date" type="jmp20ex:CI_Date" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element name="edition" type="jmp20ex:CharacterString" maxOccurs="1"/>
        <xs:element name="identifier" type="jmp20ex:MD_Identifier" maxOccurs="unbounded"/>
      </xs:sequence>
    </xs:complexType>
    <xs:element name="CI_Citation" type="jmp20ex:CI_Citation"/>
    <!-- ===== CI_Date ===== -->
    <xs:complexType name="CI_Date">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="date" type="jmp20ex:Date"/>
        <xs:element name="dateType" type="jmp20ex:CI_DateTypeCode"/>
      </xs:sequence>
    </xs:complexType>
    <xs:element name="CI_Date" type="jmp20ex:CI_Date"/>
    <!-- Type CI_ResponsibleParty Classes -->
    <!-- ===== CI_ResponsibleParty ===== -->
    <xs:complexType name="CI_ResponsibleParty">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="individualName" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="organisationName" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="positionName" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="contactInfo" type="jmp20ex:CI_Contact" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="role" type="jmp20ex:CI_RoleCode"/>
      </xs:sequence>
    </xs:complexType>
    <xs:element name="CI_ResponsibleParty" type="jmp20ex:CI_ResponsibleParty">
      <xs:annotation>
        <xs:documentation>
          *** -- Either "individualName", "organisationName" or "positionName" must be documented
          *** self.individualName->size() + self.organisationName->size() + self.positionName->size() > 0
        </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:element>
    <!-- ===== CI_Address ===== -->
    <xs:complexType name="CI_Address">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="deliveryPoint" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element name="city" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="administrativeArea" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="postalCode" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="country" type="jmp20ex:CI_CountryCode" default="jpn" minOccurs="0"/>
      </xs:sequence>
    </xs:complexType>

```

```

="0"/>
    <xs:element name="electronicMailAddress" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="CI_Address" type="jmp20ex:CI_Address"/>
<!-- ===== CI_OnlineResource ===== -->
<xs:complexType name="CI_OnlineResource">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="linkage" type="jmp20ex:URI"/>
    <xs:element name="protocol" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="applicationProfile" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="name" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="description" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="function" type="jmp20ex:CI_OnLineFunctionCode" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="CI_OnlineResource" type="jmp20ex:CI_OnlineResource"/>
<!-- ===== CI_Contact ===== -->
<xs:complexType name="CI_Contact">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="phone" type="jmp20ex:CI_Telephone" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="address" type="jmp20ex:CI_Address" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="onlineResource" type="jmp20ex:CI_OnlineResource" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="hoursOfService" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="contactInstructions" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="CI_Contact" type="jmp20ex:CI_Contact"/>
<!-- ===== CI_Telephone ===== -->
<xs:complexType name="CI_Telephone">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="voice" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element name="facsimile" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="CI_Telephone" type="jmp20ex:CI_Telephone"/>
<!--

```

---

### JMP2.0 Constraint types Classes

---

```

-->
<!-- ===== Classes ===== -->
<xs:complexType name="endTimeRange">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="end" type="jmp20ex:DateTime"/>
    <xs:element name="duration" type="xs:duration"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="endTimeRange" type="jmp20ex:endTimeRange"/>
<xs:complexType name="startEndTime">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="begin" type="jmp20ex:Date"/>
    <xs:element name="end" type="jmp20ex:Date"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="startEndTime" type="jmp20ex:startEndTime"/>
<xs:complexType name="startTimeRange">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="begin" type="jmp20ex:DateTime"/>
    <xs:element name="duration" type="xs:duration"/>
  </xs:sequence>

```

```

    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="startTimeRange" type="jmp20ex:startTimeRange"/>
<xs:simpleType name="URI">
  <xs:restriction base="xs:anyURI"/>
</xs:simpleType>
<xs:element name="URI" type="jmp20ex:URI"/>
<xs:complexType name="Surface">
  <xs:choice>
    <xs:element name="polygon" type="jmp20ex:polygon"/>
  </xs:choice>
</xs:complexType>
<xs:element name="Surface" type="jmp20ex:Surface"/>
<xs:complexType name="TimeDuration">
  <xs:choice>
    <xs:element name="beginEnd" type="jmp20ex:startEndTime"/>
  </xs:choice>
</xs:complexType>
<xs:element name="TimeDuration" type="jmp20ex:TimeDuration"/>
<xs:complexType name="Value">
  <xs:choice>
    <xs:element name="otherValue" type="jmp20ex:nonNullString"/>
  </xs:choice>
</xs:complexType>
<xs:element name="Value" type="jmp20ex:Value"/>
<xs:simpleType name="approximateLatitude">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Real">
    <xs:minInclusive value="-90.0"/>
    <xs:maxInclusive value="90.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="approximateLatitude" type="jmp20ex:approximateLatitude"/>
<xs:simpleType name="approximateLongitude">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Real">
    <xs:minInclusive value="-180.0"/>
    <xs:maxInclusive value="180.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="approximateLongitude" type="jmp20ex:approximateLongitude"/>
<xs:simpleType name="decimalLatitude">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Decimal">
    <xs:minInclusive value="-90.0"/>
    <xs:maxInclusive value="90.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="decimalLatitude" type="jmp20ex:decimalLatitude"/>
<xs:simpleType name="decimalLongitude">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Decimal">
    <xs:minInclusive value="-180.0"/>
    <xs:maxInclusive value="360.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="decimalLongitude" type="jmp20ex:decimalLongitude"/>
<xs:simpleType name="nonNegativeDecimal">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Decimal">
    <xs:minInclusive value="0.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="nonNegativeDecimal" type="jmp20ex:nonNegativeDecimal"/>
<xs:simpleType name="nonNegativeInteger">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Integer">
    <xs:minInclusive value="0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="nonNegativeInteger" type="jmp20ex:nonNegativeInteger"/>
<xs:simpleType name="nonNullString">

```

```

    <xs:restriction base="jmp20ex:CharacterString">
      <xs:minLength value="1"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:element name="nonNullString" type="jmp20ex:nonNullString"/>
<xs:simpleType name="positiveDecimal">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Decimal">
    <xs:minExclusive value="0.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="positiveDecimal" type="jmp20ex:positiveDecimal"/>
<xs:simpleType name="positiveInteger">
  <xs:restriction base="jmp20ex:Integer">
    <xs:minExclusive value="0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="positiveInteger" type="jmp20ex:positiveInteger"/>
<!--

```

---



---

### JMP2.0 Conceptual Schema Language Classes

---



---

```

-->
<!-- Basic datatypes -->
<!-- Number -->
<xs:simpleType name="Number">
  <xs:restriction base="xs:decimal"/>
</xs:simpleType>
<!-- Integer -->
<xs:simpleType name="Integer">
  <xs:restriction base="xs:integer"/>
</xs:simpleType>
<!-- Decimal -->
<xs:simpleType name="Decimal">
  <xs:restriction base="xs:decimal"/>
</xs:simpleType>
<!-- Real -->
<xs:simpleType name="Real">
  <xs:restriction base="xs:decimal"/>
</xs:simpleType>
<!-- Vector -->
<xs:simpleType name="Vector">
  <xs:list itemType="xs:decimal"/>
</xs:simpleType>
<!-- Character -->
<xs:simpleType name="Character">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:length value="1" fixed="true"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- CharacterString -->
<xs:simpleType name="CharacterString">
  <xs:restriction base="xs:string"/>
</xs:simpleType>
<!-- Date -->
<xs:simpleType name="Date">
  <xs:restriction base="xs:date"/>
</xs:simpleType>
<!-- Time -->
<xs:simpleType name="Time">
  <xs:restriction base="xs:time"/>
</xs:simpleType>
<!-- DateTime -->
<xs:simpleType name="DateTime">
  <xs:restriction base="xs:dateTime"/>
</xs:simpleType>
<!-- Boolean -->

```

```

<xs:simpleType name="Boolean">
  <xs:restriction base="xs:boolean"/>
</xs:simpleType>
<!-- Logical -->
<xs:simpleType name="Logical">
  <xs:union memberTypes="xs:boolean">
    <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="maybe"/>
        <xs:enumeration value="0.5"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
<!-- Probability -->
<xs:simpleType name="Probability">
  <xs:restriction base="xs:decimal">
    <xs:minInclusive value="0.0"/>
    <xs:maxInclusive value="1.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- Binary -->
<xs:simpleType name="BinaryBase64">
  <xs:restriction base="xs:base64Binary"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="BinaryHex">
  <xs:restriction base="xs:hexBinary"/>
</xs:simpleType>
<!-- UnlimitedInteger -->
<xs:simpleType name="UnlimitedInteger">
  <xs:union memberTypes="xs:nonNegativeInteger">
    <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="*/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
<!-- Sign -->
<xs:simpleType name="Sign">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:enumeration value="+"/>
    <xs:enumeration value="-"/>
    <xs:enumeration value="positive"/>
    <xs:enumeration value="negative"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- Multiplicity -->
<xs:complexType name="Multiplicity">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="range" type="jmp20ex:MultiplicityRange" maxOccurs="unbounded"/
>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
<xs:complexType name="MultiplicityRange">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="lower" type="xs:nonNegativeInteger"/>
    <xs:element name="upper" type="jmp20ex:UnlimitedInteger"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- URI Diverse -->
<xs:simpleType name="CodeListValue">
  <xs:restriction base="xs:string"/>
</xs:simpleType>
<xs:complexType name="Binary">
  <xs:choice>

```

```

        <xs:element name="BinaryBase64" type="jmp20ex:BinaryBase64"/>
        <xs:element name="BinaryHex" type="jmp20ex:BinaryHex"/>
    </xs:choice>
</xs:complexType>
<xs:simpleType name="Sequence_Number_">
    <xs:list itemType="xs:decimal"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Sequence_Real_">
    <xs:list itemType="xs:decimal"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Sequence_Integer_">
    <xs:list itemType="xs:integer"/>
</xs:simpleType>
<!-- Units of Measure -->
<xs:complexType name="UnitOfMeasure">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="name" type="jmp20ex:CharacterString"/>
        <xs:element name="measurementType" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="UomLength">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:UnitOfMeasure"/>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- Measure Classes -->
<xs:complexType name="Measure">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="value" type="jmp20ex:Real"/>
        <xs:element name="uom">
            <xs:complexType>
                <xs:sequence>
                    <xs:element name="UnitOfMeasure" type="jmp20ex:UnitOfMeasure"/>
                </xs:sequence>
            </xs:complexType>
        </xs:element>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Length">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:Measure"/>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Angle">
    <xs:simpleContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:Decimal"/>
    </xs:simpleContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Scale">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:Measure"/>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Area">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:Measure"/>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Velocity">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jmp20ex:Measure"/>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="MTime">
    <xs:complexContent>

```

```

        <xs:extension base=" jmp20ex:Measure" />
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Distance">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base=" jmp20ex:Measure" />
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Volume">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base=" jmp20ex:Measure" />
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- Record types -->
<xs:complexType name="RecordSchema">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="schemaName" type=" jmp20ex:CharacterString" />
        <xs:element name="element" type=" jmp20ex:RecordType" minOccurs="0" maxOccurs="un
bounded" />
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="RecordType">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="typeName" type=" jmp20ex:CharacterString" />
        <xs:element name="attributeTypes" type=" jmp20ex:Dictionary_AttributeName_TypeNam
e_"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Record">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="attributes" type=" jmp20ex:Dictionary_AttributeName_Any_"/>
        <xs:element name="recordType" type=" jmp20ex:RecordType" />
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Dictionary_AttributeName_Any_">
    <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
        <xs:element name="AttributeName" type=" jmp20ex:CharacterString" />
        <xs:element name="Any" />
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Dictionary_AttributeName_TypeName_">
    <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
        <xs:element name="AttributeName" type=" jmp20ex:CharacterString" />
        <xs:element name="TypeName" type=" jmp20ex:CharacterString" />
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- Namespace -->
<xs:complexType name="NameSpace">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="isGlobal" type=" jmp20ex:Boolean" />
        <xs:element name="acceptableClassList" type=" jmp20ex:Set_TypeName_"/>
        <xs:element name="name" type=" jmp20ex:GenericName" minOccurs="0" maxOccurs="unbo
unded" />
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Set_TypeName_">
    <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
        <xs:element name="TypeName" type=" jmp20ex:TypeName" />
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="LocalName">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="scope" type=" jmp20ex:NameSpace" />
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="TypeName">

```



```

    <xs:sequence>
      <xs:element name="scope" type="jmp20ex:Namespace"/>
      <xs:element name="aName" type="jmp20ex:CharacterString"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
<xs:complexType name="ScopedName">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="scope" type="jmp20ex:Namespace"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="MemberName">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="scope" type="jmp20ex:Namespace"/>
    <xs:element name="aName" type="jmp20ex:CharacterString"/>
    <xs:element name="attributeType" type="jmp20ex:TypeName"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="GenericName">
  <xs:choice>
    <xs:element name="LocalName" type="jmp20ex:LocalName"/>
    <xs:element name="TypeName" type="jmp20ex:TypeName"/>
    <xs:element name="ScopedName" type="jmp20ex:ScopedName"/>
    <xs:element name="MemberName" type="jmp20ex:MemberName"/>
  </xs:choice>
</xs:complexType>
<!--

```

---

### JMP2.0 Spatial Schema Classes

---

```

-->
<!-- ===== -->
<!-- positions -->
<!-- ===== -->
<xs:element name="pos" type="jmp20ex:DirectPositionType"/>
<!-- ===== -->
<xs:complexType name="DirectPositionType">
  <xs:simpleContent>
    <xs:extension base="jmp20ex:doubleList"/>
  </xs:simpleContent>
</xs:complexType>
<!-- ===== -->
<xs:simpleType name="doubleList">
  <xs:list itemType="xs:double"/>
</xs:simpleType>
<!-- ===== -->
<xs:element name="coord" type="jmp20ex:coord"/>
<!-- ===== -->
<xs:complexType name="coord">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="X" type="jmp20ex:Decimal"/>
    <xs:element name="Y" type="jmp20ex:Decimal" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="Z" type="jmp20ex:Decimal" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- ===== -->
<xs:element name="coordinates" type="jmp20ex:coordinates"/>
<!-- ===== -->
<xs:complexType name="coordinates">
  <xs:simpleContent>
    <xs:extension base="jmp20ex:CharacterString">
      <xs:attribute name="decimal" type="jmp20ex:CharacterString" default="."/ />
      <xs:attribute name="cs" type="jmp20ex:CharacterString" default="," />
      <xs:attribute name="ts" type="jmp20ex:CharacterString" default="&#x20;" />
    </xs:extension>
  </xs:simpleContent>
</xs:complexType>

```

```

<!-- ===== -->
<!-- Polygon -->
<!-- ===== -->
<xs:element name="LinearRing" type="jmp20ex:LinearRing" substitutionGroup="jmp20ex:Ring"
/>
<!-- ===== -->
<xs:complexType name="LinearRing">
  <xs:sequence>
    <xs:choice>
      <xs:element ref="jmp20ex:coordinates"/>
      <xs:element ref="jmp20ex:coord" minOccurs="4" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:element ref="jmp20ex:pos" minOccurs="4" maxOccurs="unbounded"/>
    </xs:choice>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- ===== -->
<xs:element name="polygon" type="jmp20ex:polygon"/>
<!-- ===== -->
<xs:complexType name="polygon">
  <xs:sequence>
    <xs:element ref="jmp20ex:exterior" minOccurs="0"/>
    <xs:element ref="jmp20ex:interior" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="exterior" type="jmp20ex:AbstractRingPropertyType"/>
<xs:element name="interior" type="jmp20ex:AbstractRingPropertyType"/>
<!-- ===== -->
<xs:complexType name="AbstractRingPropertyType">
  <xs:sequence>
    <xs:element ref="jmp20ex:Ring"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="Ring" abstract="true"/>
<!-- ===== -->
(Codelist は JMP2.0 と同一のため省略する)
</xs:schema>

```

ファイル extentions.xsd

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<xs:schema
  targetNamespace="http://schemas.info-bosai.jp/ch/jmpex/"
  xmlns:jmp20ex="http://schemas.info-bosai.jp/ch/jmpex/"
  xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  elementFormDefault="qualified" version="1.0">
  <!-- ===== -->
  Japan Metadata Profile Classes extentions
  <!-- ===== -->
  -->
  <!-- ===== MD_AggregateInformation ===== -->
  <xs:complexType name="MD_AggregateInformation">
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>Encapsulates the dataset aggregation information</xs:documenta
tion>
    </xs:annotation>
    <xs:sequence>
      <xs:element name="aggregateDataSetName" type="jmp20ex:CI_Citation" minOccurs="0"
/>
      <xs:element name="aggregateDataSetIdentifier" type="jmp20ex:MD_Identifier" minOc
curs="0"/>
      <xs:element name="associationType" type="jmp20ex:DS_AssociationTypeCode"/>

```

```

    <xs:element name="initiativeType" type="jmp20ex:DS_InitiativeTypeCode" minOccurs
="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="MD_AggregateInformation" type="jmp20ex:MD_AggregateInformation"/>
<!-- ===== LI_ProcessStep ===== -->
<xs:complexType name="LI_ProcessStep">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="description" type="jmp20ex:CharacterString"/>
    <xs:element name="rationale" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="dateTime" type="jmp20ex:DateTime" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="processor" type="jmp20ex:CI_ResponsibleParty" minOccurs="0" ma
xOccurs="unbounded"/>
    <xs:element name="source" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:LI_Source" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="LI_ProcessStep" type="jmp20ex:LI_ProcessStep"/>
<!-- ===== LI_Source ===== -->
<xs:complexType name="LI_Source">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="description" type="jmp20ex:CharacterString" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="scaleDenominator" type="jmp20ex:MD_RepresentativeFraction" min
Occurs="0"/>
    <xs:element name="sourceReferenceSystem" type="jmp20ex:MD_ReferenceSystem" minOc
curs="0"/>
    <xs:element name="sourceCitation" type="jmp20ex:CI_Citation" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="sourceExtent" type="jmp20ex:EX_Extent" minOccurs="0" maxOccurs
="unbounded"/>
    <xs:element name="sourceStep" minOccurs="0">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <xs:element ref="jmp20ex:LI_ProcessStep" maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="LI_Source" type="jmp20ex:LI_Source"/>

<!--
=====
JMP2.0 extended Code Lists
=====
-->
<!-- CodeList DS_AssociationTypeCode -->
<xs:simpleType name="DS_AssociationTypeCode">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:enumeration value="001"/><!-- crossReference、相互参照 -->
    <xs:enumeration value="002"/><!-- largeWorkCitation、より大きな製品の引用 -->
    <xs:enumeration value="003"/><!-- partOfSeamlessDatabase、継ぎ目の無いデータベー
スの一部 -->
    <xs:enumeration value="004"/><!-- source、情報源 -->
    <xs:enumeration value="005"/><!-- stereoMate、ステレオメイト -->
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="DS_AssociationTypeCode" type="jmp20ex:DS_AssociationTypeCode"/>
<!-- CodeList DS_InitiativeTypeCode -->
<xs:simpleType name="DS_InitiativeTypeCode">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:enumeration value="001"/><!-- campaign、作戦 -->

```

```

<xs:enumeration value="002"/><!-- collection、収集 -->
<xs:enumeration value="003"/><!-- exercise、演習 -->
<xs:enumeration value="004"/><!-- experiment、実験 -->
<xs:enumeration value="005"/><!-- investigation、調査 -->
<xs:enumeration value="006"/><!-- mission、任務 -->
<xs:enumeration value="007"/><!-- sensor、センサ -->
<xs:enumeration value="008"/><!-- operation、作業 -->
<xs:enumeration value="009"/><!-- platform、プラットフォーム -->
<xs:enumeration value="010"/><!-- process、処理過程 -->
<xs:enumeration value="011"/><!-- program、プログラム -->
<xs:enumeration value="012"/><!-- project、プロジェクト -->
<xs:enumeration value="013"/><!-- study、研究 -->
<xs:enumeration value="014"/><!-- task、タスク -->
<xs:enumeration value="015"/><!-- trial、試行 -->
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="DS_InitiativeTypeCode" type="jmp20ex:DS_InitiativeTypeCode"/>
<!-- CodeList CI_OnLineFunctionCode -->
<xs:simpleType name="CI_OnLineFunctionCode">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:enumeration value="001"/><!-- download、ダウンロード -->
    <xs:enumeration value="002"/><!-- information、情報 -->
    <xs:enumeration value="003"/><!-- offlineAccess、オフラインアクセス -->
    <xs:enumeration value="004"/><!-- order、注文 -->
    <xs:enumeration value="005"/><!-- search、検索 -->
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:element name="CI_OnLineFunctionCode" type="jmp20ex:CI_OnLineFunctionCode"/>
</xs:schema>

```